

第四十四回 帝國議會 貴族院議事速記錄第二十四號

大正十年三月二十三日(水曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第二十四號 大正十年三月二十三日

午前十時開議

第一 會計檢查院法中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第二 職業紹介法案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (報告)

第一讀會ノ續 (委員長)

第三 大正十年度歲入歲出總豫算案並大正十年度各特別會計歲入歲出豫算案 (衆議院送付)

第一讀會ノ續 (委員長)

第四 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要ス (衆議院送付)

第一讀會ノ續 (委員長)

第五 臨時軍事費豫算追加案 (第一號) (衆議院送付)

會議 (委員長)

第六 大正九年度歲入歲出總豫算追加案 (第二號) (衆議院送付)

會議 (委員長)

第七 大正九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案 (特別第一號) (衆議院送付)

會議 (委員長)

第八 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要ス (衆議院送付)

會議 (委員長)

第九 關稅定率法中改正法律案 (政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第十 製鐵業獎勵法中改正法律案 (政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第十一 會計法改正法律案 (政府提出、衆議院送付)

第一讀會

明治三十九年法律第三十四號中改正法律案 (政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第十二 法律案 (政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第十三 臨時國庫證券法中改正法律案 (政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第十四 國有財產法案 (政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第十五 明治三十八年法律第十七號中改正法律案 (政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第十六 貯蓄銀行法案 (政府提出、衆議院送付)

第一讀會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

昨二十二日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

執達吏規則中改正法律案

民事訴訟費用法案

刑事訴訟費用法案

公有水面埋立法案

黃燐燐寸製造禁止法案

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正九年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)、大正九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特別第一號)、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

請願委員會特別報告第六號

會計法改正法律案修正報告書

會計檢查院法中改正法律案可決報告書

明治三十九年法律第三十四號中改正法律案可決報告書

臨時國庫證券法中改正法律案可決報告書

明治三十八年法律第十七號中改正法律案可決報告書

貯蓄銀行法案修正報告書

銀行條例中改正法律案可決報告書

第十七 銀行條例中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第十八 水道條例中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第十九 供託法中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第二十 簡易生命保險特別會計法中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第二十一 樺太ノ地方制度ニ關スル法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第二十二 埼玉縣下郡界變更ニ關スル法律案 (衆議院提出) 第一讀會ノ續 (委員長)

第二十三 植木等の税金改定案 (衆議院提出) 第一讀會ノ續 (委員長)

第二十四 銀行條例中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第二十五 水道條例中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第二十六 供託法中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第二十七 銀行條例中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第二十八 水道條例中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第二十九 供託法中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第三十 簡易生命保險特別會計法中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第三十一 樺太ノ地方制度ニ關スル法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第三十二 埼玉縣下郡界變更ニ關スル法律案 (衆議院提出) 第一讀會ノ續 (委員長)

第三十三 植木等の税金改定案 (衆議院提出) 第一讀會ノ續 (委員長)

第三十四 銀行條例中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第三十五 水道條例中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

第三十六 供託法中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

水道條例中改正法律案可決報告書

地方鐵道法中改正法律案可決報告書

地方鐵道補助法中改正法律案修正報告書

職業紹介法案可決報告書

供託法中改正法律案可決報告書

朝鮮私設鐵道補助法案可決報告書

樺太地方鐵道補助法案可決報告書

小田原電氣鐵道株式會社所屬軌道經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案可決報告書

樺太ノ地方制度ニ關スル法律案可決報告書

埼玉縣下郡界變更ニ關スル法律案可決報告書

簡易生命保險特別會計法中改正法律案可決報告書

國有財產法案可決報告書

同日特別委員伯爵林博太郎君外三名ヨリ會計法改正法律案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

關稅定率法中改正法律案

製鐵業獎勵法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

刑法中改正法律案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

○子爵前田利定君 此際本員ハ動議ヲ提出イタシタイト存ジマス、ソレハ昨
日ノ貴族院彙報ヲ見マスルト、大正十年度歲入歲出總豫算追加案第三號、大

正十年度歲入歲出總豫算追加案第四號、大正十年度特別會計歲入歲出豫算追
加案第三號、是ガ参考送付ニナツテ居リマス、思ヒマスルノニ、不日衆議院ヨ

リ此豫算案ガ貴族院ノ方ニ送付セラル、デアラウト思フノデアリマス、普通
ノ順序デ申シマスルナラバ、衆議院ヨリ送付ヲ御受ケニナリマシタ節ニハ、
此ノ本會議ニ懸ケマシテ、審査期限ヲ定メタ後ニ豫算委員ノ方ニ御付託ニナ
ルト云フノガ順序デアリマス、併ナガラ會期切迫ノ折柄、前例モアルヤニ

存ジマスルノデ、是等ノ諸案ガ衆議院ヨリ貴族院ノ方ニ送付サレタ場合ニ於
キマシテハ、直ニ豫算委員ノ方ニ御廻シニナルト云フコトヲ、豫メ御許シヲ
願ツテ置キタイ思フノデアリマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス
〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 前田子爵ニ伺ヒマスガ、今審査期限ヲ附セズシテ
ト云フ御積リデアッタ存ジマスガ、其御言葉ガナカッタヤウデアリマス
○子爵前田利定君 審査期限ハ定メマセヌ

○男爵阪谷芳郎君 唯今前田子爵ノ御話ノ豫算案ハ、軍法會議ノ結果ニ依ル
…過日本院ヲ通過シマシタ法律案ノ結果ニ依ル簡單ナモノデアリマス、前
例モアリマスデゴザイマスカラ、前田子爵ノ動議ニ賛成イタシマス

○江木千之君 前田子爵ニ賛成

○議長(公爵德川家達君) 唯今前田子爵ノ述ベラレマシタコトハ、第十五回
議會ニ前例モゴザイマスノデ差支ナイト存ジマスガ、一應採決イタシマス、
前田子爵ノ動議ノ通リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 日程第一、會計検査院法中改正法律案、政府提出、
衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、林伯爵

〔「左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ」〕
會計検査院法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十年三月二十二日

右特別委員長

伯爵林博太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵林博太郎君 會計検査院法中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ簡單ニ御報

告申上ゲマス、此ノ會計検査ノ周到ヲ期シテ會計法ガ今回改正ニナリマシタ
ニ伴ヒマシテ、之ヲ自然改正ニ相成ッタノデゴザイマス、從來決算ノ報告ガ非
常ニ遅レマシテ、我々議員トシテ之ヲ審査スルノニ頗ル不都合ヲ感ジタノデ

アリマス、此多年ノ問題ヲ解決サレマシテ、今後ハ一年早クナツテ決算ガ迅速ニ議會ニ出テ來ルト云フコトヲ期スル爲ニ、茲ニ主ナル改正ガ起フタノデアリマス、即チ検査院ノ中ガ從來二部組織デアツタノヲ二部組織ニ改メタ次第デアリマス、從ツテ役員ノ増員ト云フコトモ起ツテ來タノデアリマス、又日本銀行ノ出納管理ガ單ニ此預金ト云フコトニナツタ以上ハ、是ニ應ズル所ノ検査院ノ仕事モ亦變ツテ來ルノハ已ムヲ得ナインデアリマス、日本銀行ト政府トノ關係ガ、此預金ト云フコトニ依リマシテ民事的トナツタノデアリマス、勿論會計検査院ハ日本銀行ニ於テ之ヲ審査スルト云フコトノ權限竝ニ其仕事ハ致スノデアリマスルケレドモ、若シ會計ノ審査ノ結果トシテ不都合ナ點ナドガアッタナラバ、今度ハ民事上ノ關係ニ依ルノデアル以上ハ、是ハ大藏省ニ申請シテ、大藏大臣ニ依テ相當ノ措置ヲ執ツテ貰フト云フヤウナ改正モ起ツタノデアリマス、又國務大臣ガ、今度ハ競爭入札以外ニ隨意契約等ノコトガ出來ルコトニナリマシタノデアリマスルカラシテ、又ソレ等ニ對スル監視ト云フコトモ必要ガ起ツテ來タノデアリマス、要スルニ會計法ノ改正ニ伴ヒマシテ、是等ノ有益ナル改善ヲ促シタ次第ゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ、是ハ全會一致ヲ以テ可決ニ相成リマシタ次第ゴザイマス、此段御報告ニ及ビマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發議モナイト存ジマスカラ本案ニ付テ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○内田嘉吉君 職業紹介法案特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ニ付マシテハ二回委員會ヲ開キマシテ、詳細ニ政府委員ヨリ説明ヲ聽キ又質問ヲ致シタノデゴザイマス、其結果全會一致ヲ以テ可決スベキモノト認メタノデゴザイマス、唯今審査ノ要領ヲ御報告ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一ニ本案制定ノ要旨ハ、職業ノ紹介ハ社會事業ノ重要ナル事項ゴザイマシテ、既ニ本邦ニ於テモ或程度迄實施イタシテ居リマスルガ、更ニ法律ヲ以テ之ヲ定メ益此事業ヲ普及イタシタイト云フ考デゴザイマス、要スルニ失業ヲ防止イタス上ニ於テ此事業ノ如キモノハ目下ノ需要ニ必要ヲ認メル所ゴザイマス、機關ト致シマシテハ市町村ヲ以テ之ニ充ツル豫定ニナツテ居リマス、市町村ガ進ンデ此仕事ヲ經營イタシマスカ、又場合ニヨリマシテハ中央政府ヨリ指定ヲ致シマシテ之ヲ設置イタサセルコトモアリマスル、其他市町村以外ノ公益團體等ニ於キマシテ此ノ職業紹介所ヲ設ケタイト云フ場合ニ於

キマシテハ、行政官廳ノ認可ヲ得テ之ヲ設置スルコトヲ許ス譯デアリマス、何レニ致シマシテモ此ノ職業紹介ニ關シマシテハ無料ト云フコトヲ原則ト致シテ居ルノデゴザイマス、デ唯今營利的ノ職業紹介所ガ尙ホ多々ゴザイマスル、全國ニ約八千六百箇所モゴザイマスルガ、之ニ對シマシテハ俄ニ之ヲ廢止スルト云フ譯ニモ參リマセヌノデ、公益ノ市町村其他ノ職業紹介所ガ普及イタシマスルノヲ待ツテ、適當ナル措置ヲ執ツテ漸次廢止ヲ致シタイト云フ考デ居ルサウデアリマス、ソレニ付マシテハ別ニ勅令ヲ以テ制定ヲ致ス筈デゴザイマスル、第二ニハ本案ノ職業ヲ紹介イタシマスル勞務ノ種類ニ付マシテハ、各種工業ニ關スルモノハ一般ニ之ヲ包含イタシマスルガ、海上ノ勞働ニ付マシテハ別ニ國際條約ノ決定等モゴザイマシテ、海洋航海ニ從事スル船舶ノ乗組員ハ之ヲ除外スルコトニナツテ居リマス、其他職業ノ種類ニヨリマシテハ市町村等ノ紹介所ニ於テ紹介ヲ致シマスルコトノ不適當ノモノモアルヤウデアリマシテ、是等ニ付マシテハ追テ詳細ニ命令ヲ以テ決定ヲ致ス筈デゴザイマスル、次ニ經費デアリマスルガ、經費ハ先程申述ベシマシタ通リ無料デ紹介ヲ致スト云フコトニ原則ニナツテ居リマス、而シテ市町村ニ於テハ市町村ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨スル譯デアリマスガ、元來ハ國ノ事務ヲ市町村ニ於テ執行イタシマスルノデ、之ニ對シマシテハ國家カラ二分ノ一以内ノ補助ヲ支給イタスト云フコトニ相成ツテ居リマス、斯ウ市町村ニ此ノ職業紹介所ノ仕事ヲ施設イタサセマスルニ付テハ、聯絡統一ト云フコトガ最モ必要デアリマス、又職業紹介委員會ト云フモノモ置クコトニ相成ツテ居リマス、而シテ此ノ事務局ニ付マシテハ目下直ニ之ヲ實行致シマセヌノデ、職業紹介所ノ設置ガ尙ホ普及イタシマスルノヲ待ツテ中央並ニ地方ニ凡ソ五箇所ニ事務局ヲ設置スル豫定デアルサウデゴザイマス、現在ノ所ニ於キマシテハ中央事務局ノ仕事ハ内務省内ノ地方局ニ於テ之ヲ扱ヒ、其一部分ノ仕事ハ勞資協調會ニ於テ之ヲ取扱ハサセル豫定デアルサウデアリマス、又地方ノ事務局ノ仕事ハ知事若クハ郡長ヲシテ之ニ當ラセル豫定ニ相成ツテ居リマス、委員會ハ勞務者、使用者、官吏又ハ此道ニ經驗ノアル人ヲ寄セテ九人乃至十五人ノ人ヲ以テ委員會ヲ組織スル豫定デアリマス、ソレカラ仕事ノ種類、即チ職業紹介所ニ於テ致シマスル仕事ノ種類ニ付マシテハ、色々質問モアリマシタガ、要スルニ本案ハ豫要スルニ現在實行シテ居ル制度ヲ完備サセルト云フヤウナ豫定デアリマス、

尤モ質問ノ中ニハ身元引受ヲスルカシナイカト云フ問題ガゴザイマシタガ、是ハ現在ノ市等ニ於テ經營イタシテ居リマスル職業紹介所ニ於テハ身元引受ヲ致シテ居リマセヌノデ、此點ハ從來ノ通リニ身元引受ヲセナイト云フコトニ於テ經營スルト云フ豫定デアリマス、其他種々質問モゴザイマシテ、殊ニ條約等ノ關係ニ付マシテ質問モゴザイマシタガ、要スルニ尙ホ華盛頓會議ニ於テ決定イタシマシタル條約案竝ニ勸告ハ未ダ手續ヲ經テ居リマセヌノデ、此法律ニ定メテアリマスル處ノ趣旨ガ直ニ右條約案竝ニ勸告ノ趣旨デアルト云フコトハ申上グラレマセヌガ、要スルニ歸スル所ハ、同一ニ相成ルト云フ譯デゴザイマスル、將來條約案若クハ勸告ガ實行イタサレマシテモ、本案ノ制定ニ付マシテハ差支ヲ生ゼス譯デゴザイマスル、而シテ又職業紹介ニ關シテ、無料ノ施設ヲサセタイト云フ勸告ノ趣旨ハ大體ニ於テ、本件ニモ採用ヲイタシマシタ、而シテ有料若クハ營利ノ職業紹介ニ關シマシテハ、別ニ勅令ヲ以テ定メマシテ、其間ニ何等ノ抵觸ヲ致サヌト云フコトニ説明ヲ承知イタシタノデゴザイマスル、左様ナ説明ヲ聽キマシテ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シタノデゴザイマスルガ、此決議ノ場合ニ二三ノ希望ガゴザイマシタ、其第一ハ職業紹介所ノ仕事ノ如キハ公衆ニ直接ニ接觸ヲ致スノデゴザイマシテ、之ニ關係スル人ガ其宜シキヲ得マセヌト云フト、折角ノ施設ノ效果ヲ生ゼヌコドニナルノデアルカラシテ、十分其人ヲ得ルコトニ付テハ、當局者ニ於テ効果アラシムルニハ、前ニ事務局ヲ設置シタ方ガ宜クハナイカト云フコトノ努力メテ貰ヒタイト云フノガ一ツ、又職業紹介事務局ヲ置クト云フコトハ、後ニ之ヲ實行スルト云フ政府ノ話デアルケレドモ、寧ロ此ノ職業紹介ノ仕事ヲ效果アラシムルニハ、前ニ事務局ヲ設置シタ方ガ宜クハナイカト云フコトノ希望ヲ述ベラレタ方モゴザイマス、ソレカラ無料ノ職業紹介ハ結構デアルケレドモ營利的若クハ有料ノ職業紹介ニ付テハ成ベク華盛頓ノ勞働總會ノ決議ノ趣旨ニ依テ成ベク早ク之ヲ廢止スルヤウニシタラ宜カラウト云フヤウナ希望モ出マシタ、又職業紹介所ノ數ガ少ナイト云フト效果モ甚ダ薄イ譯デアリマスカラ、成ベク速ニ經費ノ許ス限リ職業紹介所ヲ普及スルヤウニ致サセタイ、又職業紹介所ニ於テ仕事ヲスル上ニ於テハ圓滑ニ事務ノ運ブヤウニシテ貰ハヌト云フト、折角ノ此ノ職業紹介所公營ノ效果ガナクナツテ仕舞フデアラウト云フヤウナ希望モアリマシテ、ソレニ對シマシテハ政府ニ於テモ大體同意ヲ表セラレテ、各委員カラ申述ベラレマシタ希望ハ政府ニ於テモ十分考慮ヲ加ヘルト云フコトノ回答ヲ得タ次第デゴザイマスル、デ要スルニ本案ハ豫

算ニモ關係ノアルモノデゴザイマスルノデ、速ニ可決決定セラレムコトヲ希
望イタシマス
○議長(公爵徳川家達君) 別ニ發言モナイト認メマスカラ採決イタシマス、
本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ】

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○内田嘉吉君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマ
セヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ】

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案全部ヲ問題ニ供シマ
ス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ】

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○内田嘉吉君 贊成イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌ
カ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ】

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議ノ通リ、
御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ】

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ於テ御異議ガナケレバ日程ノ第三、第四、
第五、三案束ネテ委員長ノ報告ヲ煩ハシマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ】

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三、大正十年度歲入歲出總豫算案並大正十
年度各特別會計歲入歲出豫算案、第四、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ
爲スヲ要スル件、第五、臨時軍事費豫算追加案第一號、會議、委員長報告、
豫算委員長前田子爵

一大正十年度歲入歲出總豫算案

一大正十年度各特別會計歲入歲出豫算案

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總ア衆議院議決案ノ通可決スヘキモ
ノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十年三月十七日

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕

豫算委員長 子爵前田利定

○子爵前田利定君 唯今日程ニ上ボッテ居リマスル 大正十年度歲入歲出總豫
算外三案ニ對シマシテ、豫算委員會ニ於キマシテ是マデ審議イタシマシタ經
過並結果ヲ御報告申上ダマス、便宜上先づ結果ヨリ申上ダマス、豫算委員會
ニ於キマシテハ右四案ニ對シマシテ審議ノ結果、衆議院議決案ノ通リニ何等
ノ削減修正ヲ試ミルコトナク全部可決相成リマシタ、此際ニ於キマシテ大正
十年度豫算ノ梗概ヲ御参考ニ申述ベタイト思ヒマス、政府ノ説明スル所ニ依
リマスト云フト、十年度豫算ノ編成ニ關シマシテ、恰モ財界變轉ノ期ニ際シ
タ所カラ、財政經濟ノ前途ニ付テ多大ノ考慮ヲ要スルコトヨリ、專ラ財政ノ
將來ニ於ケル鞏固ヲ圖ルト云フ目的、用ヲ節シ費ヲ省イテ成ベク新規ノ計
畫ヲ抑制ヲ致サレタト云フコトニアリマス、成程大正十年度ノ豫算ヲ見マス
ト云フト、總額ニ於キマシテ十五億六千餘萬圓デアリマシテ、前年度即チ大正
九年度ノ實行豫算ニ比べテ見マスト、二億二千七百餘萬圓ノ増加ニナッテ居リ
マス、併ナガラ仔細ニ之ヲ點検イタシテ見マスト云フト、何等新規ノ事業、
新經綸ト認ムベキヤウナモノガ、目ニ立ツヤウナモノガ無イノデアリマス、
併ナガラ其中ニ就テ目新シキモノヲ強ヒテ求メマスト云フト、社會教育ノ施
設並ニ思想問題ニ付テノ善導ニ要スル經費ヲ多少見出シマスケレドモ、是ト
テモ口ヲ合セマシテ七十一萬圓ニ過ギナイノデアリマス、斯様ナ次第アリ

マシテ、形ハ龐大ナル所ノ豫算デアリマスケレドモ、其中味ハ至ツテ小ナルモノデアリマス、是モ物價騰貴上既定計畫並ニ新規計畫ノ上ニ於テモ其累ヲ被ッテ居ルコトガ甚大デアルノデアリマス、政府ノ説明スル所ハ眞ニ其實情ヲ語ツテ居ルモノト思フノデアリマス、右ノ次第デアリマシタガ故ニ、豫算委員會ニ於キマシテハ、歲出ノ方面ニ付マシテハ、餘リ問題ハ出ナカッタノデアリマス、而シテ歲入ノ方面ニ於キマシテハ、慎重ナル審議ヲ致ス上ニ付マシテ、質問ガ續出サレタノデアリマス、即チ之ヲ簡明ニ申上グマスレバ、歲入ノ見積リ方ガ過大デアル、過大ニ見積ツタガ故ニ將來豫期スル如キ收入ガ這入ッテ來ナイデアラウ、然ル時ニハ豫算ノ實行ガ覺束ナイコトニナルデアラウ、一方ニ於テハ歲入ガ減少シ而シテ物價騰貴ノ爲ニ益、歲出ノ増加ヲ來スト云フコトニナツテハ、將來ニ於テ財政ガ行詰リハセヌカ、斯ウ云フノガ一ツ、今一ツニハ政府ノ執ツテ居ル所ノ公債政策ニ付テノ疑義デアリマシテ、政府ガ募債スニガ爲ニ金融市場ヲ壓迫スルコトハナイカ、又豫期スル如キ募債ガ實際ニ於テ實行ガ出來ルカドウカト云フコトガ最モ注目サレタル所ノ點デアッタノデアリマス、政府ノ説明スル所ニ依リマスト、決シテ歲入ノ見積リハ過大デハナインデアル、成程大正十年度ノ歲入ノ中ノ租稅收入ニ付テ言ヘバ、大正十年度ニ於テハ約七億五千萬圓デアル、之ヲ前年度ノ實收見積額ニ比ベテ見ルト云フト、七千二百萬圓餘ノ增加ニナツテ居ル、併ナガラ其中ニハ增稅ノ結果當然增收シ得ベキモノ、又其他ノ關係ニ付テ當然增收ベキモノガアルカラシテ、ソレ等ノモノヲ差引クト云フト、實際ニ於テハ三千五百萬圓寧口減少ニ付テモ、將來必ズシモ減收スルト云フコトハナイノミナラズ、戰時並ニ戰後ノ資本ガ大ニ活動シテ居ルカラシテ、物ニ依テハ寧口增收スルモノモアルカラ、決シテ歲入ノ見積リハ過大デハナイ、斯ウ云フコトヲ申サレテ居ルノデアリマス、若モ政府ノ此説明ヲ是認スルト致シタナラバ、歲入ノ見積リノ支辨シ得ルノデアリマスカラ、實際ニ於テハ一億八千萬圓ガ大正十年度ニ於策ニ付テ政府ノ説明スル所ニ依リマスト、大正十年度ノ募債總額ハ二億九百萬圓デアルノデアリマスガ、其中ノ二千七百萬圓ハ借入金其他ノ方法ニ依テ支辨シ得ルノデアリマスカラ、實際ニ於テハ一億八千萬圓ガ大正十年度ニ於付ニテ考ヘテ見マシテモ、此位ノ募債額ハ十分アルト思フノデアリマス、ソ

レガ爲ニ市場ヲ壓迫スルト云フコトハナインミナラズ、募債モ必ズ實行ガ出来ルト云フ確信ヲ有ツテ居ルノデアル、尙ホ又既定計畫ニ付テハ成ベク費用ヲ節約シテ其遂行ニ努力ヲスル、ソレト共ニ新規ノ計畫ニ付テハ緩急ヲ考ヘ、輕重ヲ考ヘ、機ニ應シ變ニ臨ンデ抑制其宜シキヲ得タナラバ、決シテ將來ニ於テ我ガ財政ハ行詰ルト云フコトハナイ、斯ウ申サレテ居ルノデアリマス、政府ノ説明スル所ヲ是認スルト致シタナラバ此點モ取越苦勞ニ終ルノデアリマス、併ナガラ豫算委員會ニ於キマシテモ、分科會上ニ於キマシテモ此點ニ付マシテハ人ヲ異ニシ時ヲ異ニシテ質問ガ繰返サレタノデアリマス、果セルカナ豫算採決ニ臨ミマシテ警告的希望決議ガ出マシテ、此歲入並ニ將來ノ財政ニ付テノ心配ノ餘リニ、十分ニ政府ニ警告スル所ノ附帶決議ガ出タノデアリマスルガ、是ハ後段ニ申述ベルコトニ致シマス、尙ホ大正十年度ノ豫算全體ニ瓦リマシテノ内容、數字ハ、諸君ニ於カレマシテモ、十分ニ御調査済ノコトデアラウト考ヘマスカラ、此際ソレヲ申述ベルコトハ省略イタシマス、次ニ豫算委員會ノ經過ヲ申述ベヤウト思ヒマス、本會議ヨリ豫算委員ニ此豫算案ヲ御付託ニナリマシタ翌日、即チ二月ノ十六日ヨリ三月ノ七日マデ即チ二十日ノ間ニ豫算委員總會ヲ開キマシタコトガ實ニ十七回デアルノデアリマス、而シテ其十七回ノ豫算委員總會ニ於キマシテハ、總テ質問應答ヲ繰返サレタノデアリマス、私思ヒマスルノニ貴族院ガアッテ以來、斯様ニ長ク總會ガ續イテ質問應答ガ繰返サレタルコトハ空前ノコトデアルト思フノデアリマス、而シテ三月ノ八日ヨリ三月ノ十五日マデハ分科ノ審議ノ爲ニ、分科ノ方ニ之ヲ付託致シタノデアリマス、然ル所各分科ニ於キマシテハ三月十五日マニシテ見積ツテアルト云フコトデアリマス、然ル所各分科ニ於キマシテハ三月十五日マニ付テモ、將來必ズシモ減收スルト云フコトハナインミナラズ、戰時並ニ戰後ノ資本ガ大ニ活動シテ居ルカラシテ、物ニ依テハ寧口增收スルモノモアルカラ、決シテ歲入ノ見積リハ過大デハナイ、斯ウ云フコトヲ申サレテ居ルノデアリマス、若モ政府ノ此説明ヲ是認スルト致シタナラバ、歲入ノ見積リノ支辨シ得ルノデアリマスカラ、實際ニ於テハ一億八千萬圓ガ大正十年度ニ於策ニ付テ政府ノ説明スル所ニ依リマスト、大正十年度ノ募債總額ハ二億九百萬圓デアルノデアリマスガ、其中ノ二千七百萬圓ハ借入金其他ノ方法ニ依テ支辨シ得ルノデアリマスカラ、實際ニ於テハ一億八千萬圓ガ大正十年度ニ於付ニテ考ヘテ見マシテモ、此位ノ募債額ハ十分アルト思フノデアリマス、ソ

而シテ其質問ハ皆有用ナモノデアリマシテ、或ハ政治ノ要諦ヲ説キ、時弊ヲ論ジ、内政ニ、外事ニ、或ハ過去現在ヨリ遠キ將來ニ及ンデ言及サレマシタモノデアリマシテ、皆有用ノモノデゴザイマスケレドモ、會期切迫ノ今日遺漏ナク之ヲ諸君ニ御紹介申上グマス時間モゴザイマセヌコトハ甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、併ナガラ幸ニモ速記録ハ全部出揃ッテ居ルコトデアリマスルカラ、何卒其詳細ナルコトハ速記録ニ就テ御覽ヲ願フコトニ致シマシテ此ノ豫算委員會ヲ通ジマシテ、大々的質問ガニツアリマシタ、其ニ大質問ヲ爰ニ御紹介致シマシテ、他ハ省略ヲ致シタイト存ズルノデアリマス、二大質問ノ第一ハ滿鐵ニ關スル所ノ質疑デアリマス、第二ハ學校昇格ノ問題ニ關スル質疑デアリマス、此ニツノ質疑ニ付マシテハ、多クノ時ヲ割キ、多クノ委員ヨリ質問ガ百出、千出シタノデアリマス、先ヅ滿鐵ニ關スル所ノ質疑ヨリ其大要ヲ御紹介イタサウト思フノデアリマス、委員ノ一人ハ國家ノ爲ニ最近特ニ痛心ニ堪ヘヌコトガアル、ソレハ綱紀ガ弛廢シテ、動トモスルト云フト醜怪ナル所ノ事柄ガ續出シテ、官紀ガ動モスレバ地ニ委スルト云フヤウナ虞ガアルコトハ、誠ニ痛嘆ニ堪ヘヌ次第デアルト云フコトヲ前提ニ申サレマシテ、就中滿鐵ニ關スル所ノ問題、又滿鐵ノ經營ニハ關シナイケレドモ取引所ノ問題、阿片問題、是等ノ問題ニ對シテハ、世間カラ群疑ノ焦點ニ立ッテ居ル問題デアル、此真相ハ此際明ニシナケレバナラナイ、併ナガラソレニ先ヅ此滿鐵ニ對シテ直接ニ監督スル所ノ關東廳ニ於テ之ヲ監督スル所ノ機能アルカドウカ、若シ機能ガアリトシタナラバ、果シテ實際ニ於テ其機能ヲ發揮シ得テ居ルカ、ドウカト云フコトヲ先づ以テ第一ノ質問トサレタノデアリマス、之ニ對シマシテ、關東長官ハ職責上、關東廳ハ滿鐵會社ニ對シテ監督スベキ所ノ官廳デアル、併ナガラ實際上ニ付テ之ヲ言へバ、誠ニ十分ナル監督ガ出來ノ役員、社員ハ數多イケレドモ、關東廳ニ於テハ人員ハ誠ニ至ッテ少ナインデノ重役ノ任免ハ中央政府ニ於テ直接ニ之ヲ行フノデアル、又滿鐵ニ屬スル所ノ都合ノ惡イ次第ニナッテ居ルト云フコトヲ率直ニ答ヘラレタノデアリマス、同委員ハ總理大臣ニ對シマシテ、此滿鐵問題ニ付テハ世間器タル聲ヲ聞イ

テ居ル、就中塔蓮炭坑ノ買收、鳳山丸ノ買收、是等ノ如キモノハ殆ド明白ナル事實ノヤウニ自分ハ考ヘル、總理大臣ハ是等ノ事實ヲバ了知セラレルヤ否ヤ、此質問ニ對シマシテ總理大臣ハ答ヘラレマスニハ、自分ハ十分ニマダ其事件ニ付テ承知シテ居ラナイ、併ナガラ若シ左様ナコトガアルト云フコトデアルナラバ捨テ置クコトハ出來ナイコトデアルカラシテ、十分ニ取調べテ戒飭ヲスベキコトハ戒飭シナケレバナルマイト云フコトヲ申サレタノデアリマス、ソレニ基キマシテ同委員ハ元滿鐵社員タル所ノ山田某ナル者ノ手記ヲ朗讀サレマシテ、サウシテ司法權ノ活動ヲ政府ニ對シテ促サレタノデアリマス、總理大臣ハ其ノ山田某ナルモノノ記述ガ悉ク之ヲ信ズル譯ニハ參ラヌ、何分ニモ片言デアルカラシテ十分ニ直ニ其通りデアルト思ハレヌノデアル、併ナガラ左様ナ事柄ハ勿論捨テ置クコトハ出來ナイ事柄デアルカラシテ、之ニ對シテ適當ナル措置ヲシテ、公明正大ナル措置ヲ執ルト云フコトヲ申サレタノデアリマス、同委員ノ御希望ニ依リマシテ委員會ニ御諮リヲ致シマシテ、此ノ山田某ナル者ノ手記ハ豫算委員會ノ議事速記録第六號ノ追録トシテ諸君子御手許ニ配布ヲシテ置キマシタ、念ノ爲ニ申添ヘテ置キマス、又他ノ一委員ヨリハ滿鐵ノ事業ノ方針ハ今日ノ儘デ捨テ置クト云フコトハ宜シクアルマイト考ヘル、ドウシテモ満鐵ノ事業方針ニ付テ大刷新ヲ行ハナケレバナラヌト思フガ、政府ノ所見如何ト云フ質問ガ出タノデアリマス、之ニ對シマシテ總理大臣ハ勿論不正ノコトガアルト云フコトデアルナラバ、十分ニソレヲ糾弾シ、措置シナケレバナラヌコトハ申スマデモナイ、又事業ノ方針ニ付テモ緊縮一點張デモヨクアルマイト思フガ、又放慢ニ流レルヤウナ經營ノヤリ方デモヨクアルマイト思フ、ソレ等ノ點ニ付テハ何トカ考慮ノ上ニ刷新ヲスル考デアルト云フコトヲ申サレタノデアリマス、之ニ對シマシテ質問應答ガ繰返サレタコトデアリマスノデ、ソレヲ遺漏ナク申上グルコトハ甚ダ困難デアリマス、何分ニモ此滿鐵ニ關スル所ノ質疑ハ五日間ノ委員會ニ跨リマシテ質問應答ガ繰返サレタコトノデアルト云フコトハ誠ニ遺憾ニ堪ヘヌ次第デアル、先づ第一ニ滿鐵質疑デアリマス、是ハ豫算委員會ヲ開キマス前ニ諸君モ御承知ノ通リ二月九日ニ高等教育機關ニ關スル建議案ト云フモノガ當議場ニ出マシタ位デアリマシテ、定メシ此問題ニ付マシテハ、質問者モ多ク質問ノ時間モ多ク要スルコトト私ハ考ヘテ居タ譯デアリマス、然ル所豫算委員會ノ一人ヨリ御希望ガアリマシテ、此問題ニ付テハ十分遺憾ナク質問ヲ致シタイト思ヒマスカラ、適當ナ

ル所ノ時日ヲ費シ質問ヲスルヤウニ取計テ費ヒタイト云フ御希望ガ御提出ニナリマシテ、委員會ニ御諮詢致シマシタ、委員會ニ於キマシテモ御異存ゴザイマセヌニ依リマシテ、二月二十二日二十四日二十五日ノ三日間、此ノ學校昇格問題ニ關スル所ノ質疑ノ時間ニ割當テタ次第ニアリマス、質問セラレル前ニ當リマシテ委員會ノ光景ハ、誠ニ緊張イタシテ居リマシテ、而シテ質問ヲサレル方々ハ何レモ熱辯ヲ縱横ニサレタノニアリマス、今其質問ヲ之ヲ分類致シテ見マスト云フト、先づ第一ノ質問ト致シマシテハ、先般ナサレタル所ノ建議案ノ趣意ガ能ク了解サレテ居ラレルカドウカ、固ヨリ我々共ハ穩ナルコトヲ好ムノニアリ、故ニ穩ナル建議案ト云フ形式ヲ以テ其體様ニ致シテ居ルノデアルケレドモ、政府ニ於テハ其末ニ走ラナイデ、其ノ本ヲ宜ク顧ミテ貰ヒタイト云ヒ、尙ホ又文相ノ食言ニ付テ如何ニ之ヲ處置サレルノニアルカト云フ御質問ニアリマス、之ニ對シマシテ總理大臣ハ建議ノ趣意ハ建議案ノ文面ニ現ハレタル所ノ意味ニ依リ適當ノ處置ヲ取ルヨリ外仕方ガナイト思フノデアル、文相ヲ食言ト言ハレルケレドモ、自分ハ文相ハ食言ノ事實ハナイトスウ思フ、文相ハ希望ヲバ、學校關係者ニ斯ミシヤウト云フコトヲ通ゼラレタカ知レスケレドモ、併ナガラソレハ多ク言フ中ノコトデアッテ、之ヲ以テ直ノデアル、文相ヲ食言ト言ハレルケレドモ、自分ハ文相ハ食言ノ事實ハナイトスウ思フ、文相ガ約束ヲシタトカ食言ヲシタト云フモノデナイト自分ハ思フノニアリマス、尙ホ此點ニ付マシテモ押問答ガアリマシタ末ニ、總理大臣ノテ建議ノ趣意ヲ解釋スル譯ニハ行カナイノニアル、故ニソレドヘ内部ノコトデアル糾シタ根源ニ迴ツテ此問題ヲ適當ニ解釋スルト云フコトガ建議ノ御趣意ニ添フモノデアルト政府ハ斯ウ信ジタノニアル、故ニソレドヘ内部ノコトデアルケレドモ、委員ヲ設ケテ著々其成案ヲ急イデ居ル次第ニアリマス、斯ク申サレタノニアリマス、尙ホ此點ニ付マシテモ押問答ガアリマシタ末ニ、總理大臣ノ申サレマスニハ、質問者ノ言ハレルヤウナ謎ミタヤウナコトデ、謎デハ立憲政治ト云フモノハ運用ガ出來ナイト云フコトヲ申サレマシテ、此問題ハ此程度ニ於テ物分レニナツタノニアリマス、是ガ昇格第一日ノ質問ノ要領デアリマス、昇格問題ノ第二日ニ於キマシテ、或一委員ヨリハ學校昇格ニ關スル所ノ豫算ヲ大正十年度ノ追加豫算トシテ御提出ニナル御考デアルカドウカ、之ニ對シテハ總理大臣ハ根本ノ案ガ出來ナイ以上ニハ豫算ニハ出ストモアリマス、昇格問題ノ第二日ニ於キマシテ、或一委員ヨリハ學校昇格ニ關スル所ノ豫算ヲ大正十年度ノ追加豫算トシテ御提出ニナル御考デアルカドウカ、之ニ對シテハ總理大臣ハ根本ノ案ガ出來ナイ以上ニハ豫算ニハ出ストモアリマス、是ガ昇格第一日ノ質問ノ要領デアリマシタ、或一委員ヨリハ豫算ニハ出ストモ、此際言明スルコトハ出來ナイト云フ御答デアリマシタ、又或委員ヨリハ、文部大臣ニ對シマシテ我々ハ本豫算ヲ審議決定スル上ニ付テモ、ノ思フヤウニ行カナイ問題デアル、閣議モアルシ、種々ノ機關ヲ經由シナケレバ實現ノ出來ナイコトデアルカラシテ、苟モ常識ノアル者ハ假令文相ノ希望ヲ聽イタト致シテモ、ソレヲ以テ直ニ昇格ガ實行シ得ルモノト即断スルノハ是ハ間違フテ居ル、兎ニモ角ニモ文相ノ食言ノ事實ガナイノニアルカラ、之ニ付テハ何等ノ處置ヲ執ルコトガ出來ナイト云フ御答デアリマシタ、此問題ニ付マシテハ、質問ガ繰返サレ、應答ガ之ニ對シテ繰返サレマシタガ、遂ニ押問答ニ過ギナイノデ、進捗ハ致シマセヌノニアルカラ、之ニ付テハ先般ノ建議案ノ趣旨ト云フモノハ、大正十年度ニ於テ昇格ヲサセルト云フ所ノ文相ノ言明ニ對シテ適當ナル處置ヲ執ルト云フノニアル、實際ニ付テ考ヘテ見ルノニ、大正十年度ニ於テ學校ヲ昇格サレルト云フコトハ、到底不可能ノコトデアル、サウシテ見レバ文相ノ言明ヲ取消スヨリ外ニ途ガナインオニアリマス、尙ホ委員會ノ一人ヨリハ專門學校ト云フモノハ自分ハ必要ナモノデアルト思フガ、此ノ專門學校中ヨリ五六ノ學校ガ昇格ヲシテ大學ニナツタ曉ニ於テハ、專門學校ヲ減少スル

ル、文相ノ言明ヲ取消スト致シタナラバ、決シテ我々ハ彈劾ヲスル積リデハナイケレドモ、其結果ニ於テハ彈劾ト同様ナル現象ガ茲ニ起ツテ來ナケレバナラニヤウニ考ヘマス、又第二ハ弛廢シタ所ノ教育界ノ風紀ヲ肅正シ、振興スルト云フコトモ建議ノ第二ノ趣意デアル、之ニ付テノ政府ノ所見如何ト云フコトニアリマシタ、總理大臣ハ之ニ對シテソレハ質問者ノ御自分ノ是ハ御解釋デアル、政府ニ於テハ建議ノ提起者ガ爲シタル所ノ説明、文面ニ現レタル所ノコトニ付テ解釋スルヨリ外ニ仕方ナナイノニアル、質問者ノ御演説ヲ基礎トシテ建議ノ趣意ヲ解釋スル譯ニハ行カナイノニアル、詰リ學校問題ノ斯ク紛トデアリマシタ、總理大臣ハ之ニ對シテソレハ質問者ノ御自分ノ是ハ御解釋デアル、政府ニ於テハ建議ノ提起者ガ爲シタル所ノ説明、文面ニ現レタル所ノコトニ付テ解釋スルヨリ外ニ仕方ナナイノニアル、質問者ノ御演説ヲ基礎トシテ建議ノ趣意ヲ解釋スル譯ニハ行カナイノニアル、故ニソレドヘ内部ノコトデアル糾シタ根源ニ迴ツテ此問題ヲ適當ニ解釋スルト云フコトガ建議ノ御趣意ニ添フモノデアルト政府ハ斯ウ信ジタノニアル、故ニソレドヘ内部ノコトデアルケレドモ、委員ヲ設ケテ著々其成案ヲ急イデ居ル次第ニアリマス、斯ク申サレタノニアリマス、尙ホ此點ニ付マシテモ押問答ガアリマシタ末ニ、總理大臣ノ申サレマスニハ、質問者ノ言ハレルヤウナ謎ミタヤウナコトデ、謎デハ立憲政治ト云フモノハ運用ガ出來ナイト云フコトヲ申サレマシテ、此問題ハ此程度ニ於テ物分レニナツタノニアリマス、是ガ昇格第一日ノ質問ノ要領デアリマス、昇格問題ノ第二日ニ於キマシテ、或一委員ヨリハ學校昇格ニ關スル所ノ豫算ヲ大正十年度ノ追加豫算トシテ御提出ニナル御考デアルカドウカ、之ニ對シテハ總理大臣ハ根本ノ案ガ出來ナイ以上ニハ豫算ニハ出ストモアリマス、是ガ昇格第一日ノ質問ノ要領デアリマシタ、或一委員ヨリハ豫算ニハ出ストモ、此際言明スルコトハ出來ナイト云フ御答デアリマシタ、又或委員ヨリハ、文部大臣ニ對シマシテ我々ハ本豫算ヲ審議決定スル上ニ付テモ、ノ思フヤウニ行カナイ問題デアル、閣議モアルシ、種々ノ機關ヲ經由シナケレバ實現ノ出來ナイコトデアルカラシテ、苟モ常識ノアル者ハ假令文相ノ希望ヲ聽イタト致シテモ、ソレヲ以テ直ニ昇格ガ實行シ得ルモノト即断スルノハ是ハ間違フテ居ル、兎ニモ角ニモ文相ノ食言ノ事實ガナイノニアルカラ、之ニ付テハ何等ノ處置ヲ執ルコトガ出來ナイト云フ御答デアリマシタ、此問題ニ付マシテハ、質問ガ繰返サレ、應答ガ之ニ對シテ繰返サレマシタガ、遂ニ押問答ニ過ギナイノデ、進捗ハ致シマセヌノニアルカラ、之ニ付テハ先般ノ建議案ノ趣旨ト云フモノハ、大正十年度ニ於テ昇格ヲサセルト云フ所ノ文相ノ言明ニ對シテ適當ナル處置ヲ執ルト云フノニアル、實際ニ付テ考ヘテ見ルノニ、大正十年度ニ於テ學校ヲ昇格サレルト云フコトハ、到底不可能ノコトデアル、サウシテ見レバ文相ノ言明ヲ取消スヨリ外ニ途ガナインオニアリマス、尙ホ委員會ノ一人ヨリハ專門學校ト云フモノハ自分ハ必要ナモノデアルト思フガ、此ノ專門學校中ヨリ五六ノ學校ガ昇格ヲシテ大學ニナツタ曉ニ於テハ、專門學校ヲ減少スル

譯デアルガ、何等差支ハナイカドウカト云フ質問ニ對シテ、文部大臣ハソレ
ハヤリ方ノ如何ニ依ルコトデアル、學校ノ組織ノ如何ニ依テハ、必ズシモ專
門學校ノ數ヲ減少スルヤウナ虞ハナイト云フコトヲ申サレタノデアリマ
ス、尙ホ又同委員ハ學校昇格ヲ決スルトシテモ其財源ヲドウナサルノデアリ
カ、隨分此學校ノ昇格ト云フコトノ問題ヲ外ニ考ヘテ見テモ、義務教育ノ延
長、或ハ視學官ノ改善或ハ又小學校教員ノ俸給ヲ國庫デ以テ負擔スルト云フ
ヤウナ議論モ大ニ行ハレテ居ル今日デアルガ、ソレ等ノモノヲ差置イテモ學
校昇格ヲ急トスルノデアルカ、ドウカ、ト云フヤウナル御質問應答ガアッタノ
デアリマス、是ガ第二日ノ狀況デアルノデアリマス、第三日ニ於キマシテハ、
段々質問戰ガ露骨ニナリマシテ、或委員ノ方ヨリハ此建議案ノ趣旨ト云フモ
ノハ、問責デアルノデアル、問責ノ趣旨デアルノデアル、ソレヲ政府ノ方ニ
於テハ問責デナイト云フノハドウ云フ譯デアルカ、之ニ對シマシテ總理大臣
ハ自分ハ此建議ノ趣旨ハ善意ニ解釋シテ、是ハ問責ニ非ズト解釋ヲシテ居ル
ノデアル、斯様ナ問答ガ繰返ヘサレマシテ、恰モ政府ト質問者トノ間ニ白兵
戰ガ行ハレタノデアリマス、次デ或一員ハ決然トシテ申サレマスノニ、此ノ
建議案ノ趣旨ノ説明ヲ致サヌ前ナラバ格別デアル、既ニ此ノ建議案ノ趣旨ヲ
説明シタ以上ニ於テハ矢ハ弦上ヲ離レタノデアル、貴族院ハ貴族院トシテノ
結末ヲ付ケナケレバナラナイノデアル、ガ此際ニ尙ホ一應政府ノ考ヲ確メテ
置クガ、此ノ建議案ノ趣旨ハ問責デアルノデアルガ、ソレヲ御採用ニナルノ
カ、ナラヌノカ、承ッテ置キタイト云フコトデアリマシタ、之ニ對シマシテ總
理大臣ハソレハ自分ノ考ト根本カラ相違シテ居ルノデアル、自分ハ何處マデ
モ建議案ノ趣旨ハ問責ニ非ズト解釋シテ居ルノデアル、即チ紛糾ラ釀シタ所
ニ對スル所ノ奉公ノ途デアル、斯ウ信ジテ居ルノデアル、左様ナ御答ガアリ
マシテ、委員會ハ誠ニ悽惨タル光景ヲ呈シタノデアリマス、或委員ハ最後ニ
質問ヲ打切ラレタ後ニ、此問題ニ付テハ至誠ヲ披瀝シタ餘リ、或ハ陳述中ニ
非禮ノコトガアッタカモ知レヌ、非禮ノ言葉ガ御互ニ交換サレタカモ知レナイ
ケレドモ、是ハ事情已ムヲ得ヌコトデアルカラシテ、閣員ニ於カレテモ了解
ヲシテ貴ヒタイト云フ御挨拶ガアリマシタ、之ニ付テ文部大臣モ同様ナ御挨
拶ガアッタノデアリマス、私ハ其當時誠ニ是ハ美シイ紳士ノ禮デアルト思ウタ

ノデアリマス、左様ナ次第デアリマシテ、委員會ハ誠ニ恰モ支那ノ詩ニアリ
マスヤウニ、山雨將ニ臻ラムトシテ風樓ニ満ツト云フヤウナ内ニ、豫算委員
會ヲ散會ヲ告ゲタノデアリマス、果セル哉未ダ幾許ノ日ヲ經ナイ内ニ風敷ニ
アルノデアリマス、右様ナ大キナ質問ガ通過シマシタ後ハ所謂大風一過デア
リマシテ、十六日ノ……十七日ノ豫算委員總會ニ於キマシテモ格別ナル質問
モ出マセスデ、衆議院議決案ノ通リニ各案ガ可決ニ相成ツタ次第デアルノデア
リマス、而シテ其ノ可決ニナリマスル前ニ當リマシテ、或一委員ヨリ此四ツ
ノ豫算案ヲ協賛スルニ當ツテ、斯様ナル所ノ警告的希望決議ヲ附シタイト思
フ、斯様ナ希望ヲ申述ブルト云フコトヲ理由ニシテ協賛ヲ與ヘタイノデアル
ト云フコトヲ申サレマシテ、一ツノ警告的希望決議ヲ御朗讀ニナッタノデアリ
マス、其ノ希望決議ヲ茲ニ朗讀イタシマス

「近來國家ノ綱紀ノ漸ク弛廢シ外國威ノ進暢ヲ礙ゲ内民心ノ安定ヲ缺キ征利
私ヲ計リ義勇奉公ノ氣節將ニ萎靡セントス國家ノ大患之ニ過グルモノナク近來單
淘ニ深憂ニ堪ヘザルモノアリ政府ハ速ニ適切ノ方途ニ由リ時弊ヲ矯正シ庶
政ヲ釐革シ公正ヲ主トシ民心ヲシテ倦怠ナカラシメンコトヲ望ム」
斯様ナ警告的希望決議デアリマス、是ハ御説明ヲ申上ゲルマデモナク近來單
淘ニ深憂ニ堪ヘザルモノアリ政府ハ速ニ適切ノ方途ニ由リ時弊ヲ矯正シ庶
政ヲ釐革シ公正ヲ主トシ民心ヲシテ倦怠ナカラシメンコトヲ望ム」
私ヲ計リ義勇奉公ノ氣節將ニ萎靡セントス國家ノ大患之ニ過グルモノナク近來單
淘ニ深憂ニ堪ヘザルモノアリ政府ハ速ニ適切ノ方途ニ由リ時弊ヲ矯正シ庶
政ヲ釐革シ公正ヲ主トシ民心ヲシテ倦怠ナカラシメンコトヲ望ム」
内ニ於キマシテモ民心ノ安心ヲ缺クヤウナ次第ニナリマスノデアリマシテ、
シテモ、刑事犯罪ノ問題ガ出テ居ルノデアリマス、斯様ニ國家ノ綱紀ガ漸ク
弛廢イタシマシテハ、自然外交ノ上ニ於キマシテモ差障リヲ生ジマスルシ、
掃フト云フコトニナルノデアリマシテ、誠ニ國家ノ大患之ニ過グルモノナハ
イ次第デアリマス、此ノ希望決議ハ抽象的ニ起草サレタノデアリマスケレド
モ、試ニ之ヲ例示的ニ申シマスレバ例ヘバ満鐵ノ如キ、是ハ諸君申上ゲルマ
デモナク國家の事業ヲ營ンデ居ル機關ト申シテモ差支ナイノデアリマス、而
シテ其歴史カラ申シテモ、満洲經營ノ使命ノ上カラ申シマシテモ、亦資本額
ノ上カラ申シマシテモ、之ニ肩ヲ並ブルモノハナイ位ノ大キナ國家的機關デ
アルノデアリマス、然ルノニ此大ナル所ニ國家的機關ヲ委託サレテ居リマス
所ノ重役ガ若シモ道途傳フルヤウナ、又山田某ノ手記ニ現ハレテ居リマスヤ

ウナ不正ナコトヲ若シ爲シタコトガ眞デアリマシタナラバ、如何デアリマセウ、此大ナル所ノ國家的機關ハ徒ニ不正ノコトヲ爲ス所ノ機關ニ化シテシマフノデアリマス、若シ左様デアリマシタナラバ、如何ニ倫理ヤ修身ノ教師ガ口ヲ酸クシテ講釋ヲ致シマシタ所ガ、義勇奉公ノ氣節ヲ涵養サセルト云フコトハ徒爾ニ屬シテシマフコトハ明カナコトデアルノデアリマス、故ニ政府ニ於キマシテハ速ニ司直ノ府ヲシテ司法ノ淨玻璃ノ鏡ニ照シマシテ、正邪曲直、是非善惡ヲ明ニサレマシテ、善ノ尊ムベク、惡ノ憎ムベキモノ、勸善懲惡ノ事柄ヲ國民ノ前ニ實物教訓トシテ示サル、ト云フコトガナカツタナラバ、到底此ノ國民ノ心ヲ安定サセルコトガ出來ナイノミナラズ、國家ニ對スル所ノ奉公ノ精神ヲ涵養スルコトハ、到底出來ナイコトデアルト思フノデアリマス、此ノ建議案ノ御提出ニナリマシタ趣旨モ其點ニアルト思フノデアリマスガ、豫算委員會ニ於キマシテハ、全會一致ヲ以チマシテ此ノ希望決議ニハ贊同ヲサレタノデアリマス、而シテソレニ續イテ、各案ガ可決通過サレタ次第デアリマス、尙ホ此際ニ申添ヘテ置キマスコトハ、各分科主査ヨリ豫算總會ニ御報告ニナリマシテ、而シテ豫算委員總會ノ希望決議トシテ、矢張本會ノ方ニ報告シテ賈ヒタイト云フ所ノ御希望デアリマシタ、委員總會ニ諸リマシタ所ガ、ソレヲ是認サレマシタニ依リマシテ、其ノ希望決議ヲ此ニ順次ニ御披露ヲ申シマス、其第一ハ

「大正十年度ノ歲計豫算ヲ審査スルニ、歲出ハ近年頻ニ膨脹ノ趨勢ヲ止メズ、將來物價騰貴ニ伴フ不足、軍艦補充費社會事業費等幾多増加ヲ來スベキモノアリ、反之歲入ハ昨年春以來、經濟界ノ激動、次デ一般商工業ノ不況貿易ノ激減、失業者ノ增加等ニ伴ヒ、將來減退ヲ來スノ趨勢ヲ呈スルニ至レリ、之ニ加フルニ政府ノ財政計畫ハ、今後年々巨額ノ公債發行ヲ必要トスルモノニシテ大正十年度歲計豫算ノ實行ハ、頗ル困難ナルモノト思考セラル、尙ホ同年度豫算總額ハ未曾有ノ巨額ニ上リ、我邦ノ經濟力ニ比シ已ニ過大ノ感アリ、特ニ其豫算金額ノ半額ハ之ヲ陸海軍費ニ供用スルニ至リテハ、假令國防上已ムヲ得ザルモノアリトスルモ、將來國家經濟ノ發展上頗ル惡影響ヲ及ボスモノナキヲ保シ難シ、又各特別會計豫算並近時府縣市町村費經濟ニ於テモ、歲出ノ激增ニヨリ著シク民力壓迫ノ狀況アルヲ免レズ、右ノ次第ナルヲ以テ政府ニ於テ、大正十年度豫算實行上極メテ慎重ノ注意ヲ拂ヒ、豫算内ニ於テモ充分節約ニ力ムベキハ勿論、將來豫算編成ニ就テハ

ウナ不正ナコトヲ若シ爲シタコトガ眞デアリマシタナラバ、如何ニ倫理ヤ修身ノ教師ガ口ヲ酸クシテ講釋ヲ致シマシタ所ガ、義勇奉公ノ氣節ヲ涵養サセルト云フコトハ徒爾ニ屬シテシマフコトハ明カナコトデアルノデアリマス、故ニ政府ニ於キマシテハ速ニ司直ノ府ヲシテ司法ノ淨玻璃ノ鏡ニ照シマシテ、正邪曲直、是非善惡ヲ明ニサレマシテ、善ノ尊ムベク、惡ノ憎ムベキモノ、勸善懲惡ノ事柄ヲ國民ノ前ニ實物教訓トシテ示サル、ト云フコトガナカツタナラバ、到底此ノ國民ノ心ヲ安定サセルコトガ出來ナイノミナラズ、國家ニ對スル所ノ奉公ノ精神ヲ涵養スルコトハ、到底出來ナイコトデアルト思フノデアリマス、此ノ建議案ノ御提出ニナリマシタ趣旨モ其點ニアルト思フノデアリマスガ、豫算委員會ニ於キマシテハ、全會一致ヲ以チマシテ此ノ希望決議ニハ贊同ヲサレタノデアリマス、而シテソレニ續イテ、各案ガ可決通過サレタ次第デアリマス、尙ホ此際ニ申添ヘテ置キマスコトハ、各分科主査ヨリ豫算總會ニ御報告ニナリマシテ、而シテ豫算委員總會ノ希望決議トシテ、矢張本會ノ方ニ報告シテ賈ヒタイト云フ所ノ御希望デアリマシタ、委員總會ニ諸リマシタ所ガ、ソレヲ是認サレマシタニ依リマシテ、其ノ希望決議ヲ此ニ順次ニ御披露ヲ申シマス、其第一ハ

是ハ本年度豫算ニ於キマシテ、款項ヲ約メマシテ、サウシテ是迄數項ニ分カタレテアリマシタ所ノモノヲ、一項ニ詰メタノデアリマス、是ハ斯ウ致シマスルト云フト、節約ヲスル上ニ付テ、大變ニ便利デアルノデアリマスガ、ソレト同時ニ弊害トシマシテハ、自然流用ノ自由ニナルト云フコトモアリマスノデ、ソレニ付テ戒メタ希望決議デアルノデアリマス、第三

「一、現在ノ高等專門學校ニ關シ、臨時教育會議決定ノ趣旨ニ大ナル變更ヲ加ヘントスル場合ニ於テハ、該會議ノ如キ有力ナル調査機關ノ審議ニ付セラレシコトヲ望ム」

是ハ學校昇格問題等ニ對スル事柄デアラウト思フノデアリマス、今一つハ

「二、大正十年度文部省豫算ハ主トシテ高等教育ノ方面ニ重キヲ置キ普通教育ヲ閑却セルノ嫌アリ、政府ハ現下一般一國民ノ智德ヲ增進スルノ緊要ナルニ顧ミ、次年度以降ニ於テハ普通教育ノ發達改善ニ一層ノ力ヲ致サレンコトヲ望ム」

次ニハ陸海軍ニ關シマス所ノ希望決議デアリマス

「一般會計各省所管內豫備金ノ性質ニ屬スルモノヲ置クハ、穩當ヲ顧クヲ以テ、陸軍省所管歲出臨時部物件費補足ハ、本年度限ノ費途トシテ之ヲ認ムルモ、右ニ關シテハ政府ハ左ニ掲タル事項ヲ確守センコトヲ望ム

一、陸軍ニ對スル臨機ノ處置ニシテ本年度ニ限定シ、後年度再ビ斯ノ如キ費用目ヲ掲ゲザルコト

二、大藏省政府委員ノ言明シタル五科目ニ限り必要已ムヲ得ザルニ際シ補足シ、他ノ費用途ノ補足ニ充當セザルコト

三、事實上若クハ結果ニ於テ款項流用ノ形跡ヲ留メザラシムルコト」

是ハ總豫算ノ歲出臨時部陸軍ノ歲出臨時部ノ第十七款ノ物件費補足トシテ千萬圓ガ計上サレテ居ルノデアリマス、是ハ恰モ陸軍省所管ノ豫算ニ對シマシテハ一種ノ豫備費ノヤウナ形ヲ現シテ居ルノデアリマシテ、豫算ノ形式ニ於キマシテハ新例デアルノデアリマス、是ハ唯今希望決議モゴザイマシタ通リニ、本年度ダケハ之ヲ認メルケレドモ、次年度カラハ、斯様ナコトヲ警告シタノノ形式上面白クナイカラ、止メニシナケレバナラヌト云フコトヲ警告シタノデアリマス、而シテ其費途ニ付マシテモ、限定ヲシテ他ニ流用シナイヤウニ防イダノ、デアリマス、海軍ニ關シマシテ

「一、近年我ガ海軍ノ經費ハ異常ノ膨脹ヲ致セリ、當局ハ我ガ財政ノ前途ニ鑑ミ銳意費用節減ノ途ヲ講ゼラレンコトヲ望ム

二、液體燃料問題ハ我ガ海軍ノ前途ニ横ハリ重大ノ意義ヲ有ス、當局ハ銳意其解決ニ努メラレンコトヲ望ム」

次ハ農商務省所管デアリマス

「森林ノ經營其宜シキヲ得ルト否トハ國策上重要ノ關係ヲ有ス、北海道ニ於ケル廣大ナル森林ハ實ニ我ガ重要ナル國家的資源ナレバ政府ハ内地森林ト同様統一的計畫ノ下ニ於テ速カニ適切ナル施設方針ヲ定メ經營上遺憾ナキコトヲ期セラルベシ」

是ハ林政統ニ付テノ希望決議デアリマス、是迄北海道ノ森林ハ農商務省ニ於テ、内地ノ森林同様ニ統一的ニ經營サレテ居ラナカッタノデアリマス、是ハ林政統ノ急務ナルコトヲ説イタ結果、斯ウ云フ希望決議ガ出タノデアリマス、次ニハ遞信省所管デアリマスガ

「交通通信機關ノ機能ヲ發揮シ、完全ニ其效果ヲ收ムルハ我產業貿易ノ發達上必要ナルノミナラズ一般社會ニ於テ殊ニ其切要ヲ感ズル所ナリ、當局者ハ銳意此點ニ力ヲ致シ一般社會ヲシテ満足セシメラレンコトヲ望ム」

是ハ申上ゲル迄モナイ、小サナ問題ト致シマシテハ、電信ノ遲達、其他信書類ノ配達ガ大變ニ遅レマシテ、ソレガ爲ニ種々ナル不都合ヲ釀スコトガアルノデアリマス、ソレ等モ勿論是ハ含ンデ居ルノデアリマス、次ニハ是ハ鐵道省ニ關シマス事柄デアリマス

「鐵道省所管十年計畫ノ豫算ハ大正九年度豫算ノ執行及本年度豫算追加ノ實狀ニ鑑ミ、大正十一年度以降ノ年割額ニ對シ更ニ精密ナル調査ヲ遂ゲ適

當ナル計畫ヲ立テラレ度、又ハ鐵道ノ改良ニ關シ遺憾ナキ施設ヲナサンコトヲ望ム」

是ハ關東廳ニ對スル希望決議デアリマス

「南滿洲鐵道株式會社業務ノ監督其宜シキヲ得ザルモノアルハ遺憾ノ至ナリ、政府ハ宜シク其監督機關ヲ整備シ業務ノ刷新ヲ期セラレムコトヲ望ム」

是ハ先程申上グマシタ通リニ關東廳ハ満鐵直接ノ監督官廳デアリマスガ、其監督ヲナスベキ十分ナル機能ガ備ツテ居ラヌノデアリマス、ソレハ關東長官ノ質問ニ對スル率直ナル答辯デ明カニナツテ居ル事柄デアルノデアリマシテ、十分ニ其監督ノ機關ヲ整備シテ、是等ノ大會社ニ對スル監督上ノ遺憾ヲナカラシメムトスル希望決議デアルノデアリマス、以上ヲ以テマシテ大正十年度歲入歲出總豫算外三案ノ豫算委員會ニ於ケル審議ノ經過並ニ結果ノ報告ヲ完了

イタシマシタ

○議長（公爵德川家達君） 是ヨリ通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス、坂本男爵

〔男爵坂本俊篤君演壇ニ登ル〕

○男爵坂本俊篤君 私ハ大正十年度歲入歲出總豫算ヲ協賛イタシマスルニ臨ミマシテ、唯今委員長ヨリ報告ニナリマシタル通り、第四分科ニ於キマシテ希望條件ヲ提出イタシマシテ、滿場委員ノ御贊同ヲ得マシタ事柄ノ内容ヲ聊カ茲ニ披瀝イタシマシテ、當局大臣ノ辯明ヲ請ヒ、併セテ大戰後世界海軍ノ變動ニ對シマシテ、帝國海軍ガ將來取ラムトスル所ノ大體ノ方針ニ付テ、當局ノ所見ヲ伺ヒタイト存ジマス、其第一ハ唯今委員長ヨリ朗讀ニナリマシタ海軍經費節減ノ事柄デゴザイマス、我ガ海軍ハ大戰五箇年ノ間に於テ、約五倍ノ激増ヲ致シタノデアリマス、是ハ各國ノ例ニ照シマシテ、誠ニ驚異イタスベキ現象デアルノデアリマス、サリナガラ仔細ニ其内容ヲ點檢イタシ、其因テ來ル所ヲ尋ねマスレバ、又斯様ナ經費ニ達スルコトモ已ムヲ得ナイ理由ガアルノデアリマス、如何トナレバ多年我ガ國民ノ翹望イタシマシタ所ノ、此八隻二隊ノ所謂俗ニ八八艦隊ノ計畫ナルモノガ、茲ニ完成ヲ告ゲルコトニナリマシテ、十六年度マデニ瓦ル所ノ豫算ハ當初起算イタシマシテ無慮十八億ニ達スルノデアリマス、是ヨリ大正九年度マデノ繼續費ヲ控除イタシマシテ、茲ニ十一億餘ノ繼續費ヲ餘スノデアリマスガ、此ノ繼續費ニ對シマシテ年度割ニ於テカラ、一般物價騰貴並ニ海軍ノ豫算ガ近年ノ軍器ノ發達ニ伴ヒマシ

テ、其膨脹ヲ來シマシタ事柄ニ原因スルノデアリマシテ、本年ノ豫算ニ於キ
マシテモ殆ド五億ニ垂ントスル所ノ豫算ニ達シタノデアリマス、世間ノ
一部論者ニハ此厖大ナル所ノ豫算ヲ見テ、如何ニモ軍費ノ過重ニ驚イテ何等
カ豫算ノ上ニ輕減ヲ致サナケレバナラヌヤウナ説ヲ爲ス者モゴザイマス
ルガ、併ナガラ是ハ靜ニ此理由ヲ考ヘマシタナラバ、自ラ水解スルコトデア
ラウト思ヒマス、ト申シマスルノハ是ハ先ニ協贊イタシマシタル所ノ海軍
計畫ノ遂行ニ伴フ所ノ豫算デアリマシテ、是ハ既ニ協贊ヲ與ヘタ以上ハ此計
畫ニ伴フ所ノ此厖大ナル豫算ハ、是ハ國民ガ忍バナケレバナラヌモノデアル
ノデアリマス、例ヘバ橋ヲ中途マデ架ケテモ何ノ役ニ立タヌノデアリマス、
若シ其橋ノ建造費ノ厖大ナルニ驚イテ之ヲ云々シマスルコトニナリマスレ
バ、寧ロ其橋ヲ架ケル以前ニ於テ此計畫ヲ贊スル際ニ述べナケレバナラヌ議
論デアラウト思ヒマス、サリナガラ斯様ナ五億ニモ垂ントスル所ノ豫算ニ對
シマシテハ、國民ガ軍費ノ過重ヲ感ジマスルコトハ、是ハ尤ナルコトデア
リマスルカラ、此事柄ニ顧ミマシテ當局大臣ハ宜シク經費節減ノコトニ付テ、
最モ注意ヲ致サナケレバナラヌコトデアラウト思ヒマス、私ハ嘗テ英國ノ大
將「チャーチル」ガ若シ英國ノ海軍ニ一隻ノ艦艇ノ必要以上ノ勢力ガアッタナ
ラバ、自分ハ其責ニ任ジナケレバナラヌト云フコトヲ記憶イタシタノデアリ
マスガ、多年ノ宿望タル所ノ此ノ海軍計畫ヲ完成サレマシタ、其局ニ居ル所
ノ加藤海相ハ若シ一錢一厘ノ冗費ガアリマシタナラバ、之ヲ省キ又一錢一厘
ノ節約スベキモノガアレバ之ヲ節約セラレル責任ガ御有リニナルコトト存
ジマス、而シテ此節約ハ如何ナル項目ニ向ツテ施サルベキカト考ヘマスレバ私
ノ考ヘマス所ニ依ルト、主トシテ是ハ廢艦ノ處分ガ先づ以テ第一ノコトデア
ラウト考ヘマス、英國ハ戰後ノ經濟ト致シマシテ、百四十隻餘ニ瓦ル廢艦ヲ
斷行イタシマシタ、又最近ノ報告ニ依リマスルト、十二時ノ砲ヲ備ヘル所ノ
入ルノデアリマス、併ナガラ是ハ英國ニシテ初メテ行ハルベキモノデアリマ
シテ帝國ニ於テ左様ナコトハ行ヒ兼スルト致シマシテモ、此點ハドウシテモ
御遂行ヲ望マナケレバナラヌ、且ツ英國デハ種々斯様ナコトヲ申シテ居リマ
ス、國民ガ虛偽ノ上ニ安心ヲスルコトハ、甚ダ面白クナイト申シマスルノハ、
戰鬪力ノ足リナイ艦船ヲ備ヘテ其艦船ガ何十萬噸アリ何百萬噸アルト云フコ

トデ安心スル如キハ最モ危険ノコトデアルカラ、是ハ宜シク其實力ニ應ジテ
早ク艦籍ヨリ去ツテ、サウシテ國民ヲシテ戰鬪力ノ實在ヲ知ラシムルト云フコ
トハ必要デアル、是ハ尤ナル所見デアリマシテ、今後軍備制限等ニ付テ各
國ガ艦艇ノ數字ヲ以テ比較スル場合ニ於テハ大ニ考慮シナケレバナラヌ問題
デアルト思フ、又軍港要港ノ整理ノコトデアリマスガ、世界大戰ノ後ハ各國
ノ形勢ニ重大ナル所ノ變化ヲ及ボシタノデアリマス、東洋ニ於キマシテモ矢
張其通りデ、大戰前ニ於テ必要ノアッタ軍港ヤ要港モ今日ニ於テハ或ハ軍港
又ハ要港トシテ存在スル必要ガナイモノガアルカモ知レヌ、斯様ナモノニ對
シテハ相當ノ御整理ガアッテ然ルベキモノカト考ヘマス、又工廠ノ整理デアリ
マスガ、各海軍工廠ハ最モ經費ヲ要スル所デアリマシテ、又軍艦ノ製造等ニ付
マシテ、之ヲ民間ノ製造ニ比較イタシマシテ其價等ヲ比較シテモ頗ル廉價ニ
シテハ相當時御整理ガアッテ然ルベキモノカト考ヘマス、又工廠ノ整理デアリ
マスガ、各海軍工廠ハ最モ經費ヲ要スル所デアリマシテ、又軍艦ノ製造等ニ付
基盤ニ疑ガアルノデアリマスカラ、是ハドウ致シマシテモ、此民間ノ工場ニ
於テ、所謂、算盤、秤ノ目ヲセセツテ鎰銖ヲ争ウテ造ル程度ニ至ツテ、初メテ此
ノ經費節減ノ實ガ舉ガルノデアラウト思ヒマスカラ、其工廠ノ整理ノ方面ニ
於テモ大ニ力ヲ盡サレル餘地ガアラウト思ヒマス、又豫備艦ノ制度ニ依テ人
員ノ減少等ニ至ツテ大ニ節減ノ餘地ガアラウト思ヒマス、尙ホ一般ノ行政整理
ト云フ如キ、山本内閣當時ニ斷行サレタ經費ハ、今日ノ海軍經費ニ比ベレバ
五分ノ一ノ程度ニアルノデアリマシテ、今日行政ノ整理ハソレヨリ以上ノ餘
裕ガアルコトト思フノデアリマスカラ、是等モ整理ノ中ニ數ヘラレテ宜シカ
ラウト考ヘマス、是等ノ事柄ハ國內的ノコトデアリマスガ、之ヲ國際的ニ致
シマシタナラバ如何ト云フコトガ茲ニ問題ヲ生ズルノデアリマス、彼ノ軍備
制限ト申シマスル事柄ハ國際聯盟ニ於テ種々研究中ニ屬スルノデアリマス
ガ、マダ國際聯盟、即チ斯様ナ方ノ事柄ハヤツト呱々ノ聲ヲ擧ゲタニ過ギナイ
ノデアリマス、是又聯盟中ニ有力ナル國ガ加ハラヌト云フヤウナ事情モゴザ
イマスカラ、此方面ニ於テカラシテ軍備制限ノ實ヲ擧ゲルト云フコトハ、是亦
急ニ望ムコトガ出來ナイ事柄ダラウト存シマスガ、併ナガラ茲ニ近來問題ニ
ノデアリマス、是又聯盟中ニ有力ナル國ガ加ハラヌト云フヤウナ事情モゴザ
ガラ是ハマダ公ナル問題トシテ取扱ハルベキ問題デハゴザイマスマイガ、或
ハ英國ノ如キハ戰後ノ經營ト致シマシテ、海軍ノ經費節減ヲ望ムコトノ切ナ
ルモノガゴザイマス、又米國モ稍之ニ應ゼムトスルヤウナ傾モゴザイマス

ガ、併ナガラ、彼ノ米國ノ案トナリ、マシタ「ボラー」ノ案ノ如キモノハ、例ヘバ唯今カラシテ五箇年ヲ限テ経費ヲ半減スルト云フガ如キ、各國ノ事情ヨリシテ、サウシテ斯様ナ提案ヲ致スト云フ事柄ハ、果シテ之ニ協賛ノ出來ルモノデアルヤ否ヤ、大ニ疑ハナケレバナラヌノデアリマス、要ハ是等ノ點ニ付テハ協定ノ要件如何ニアルモノト存ジマスガ、果シテ國際間ニ是等ノ問題ガ成リ得ルヤ否ヤト云フコトハ聊カ疑問トセネバナラヌ、併ナガラ嘗テ此席ニ於テ申述ベタコトモゴザイマスガ、此軍備ノ競争卽チ之ヲ細カク申シマスレバ、軍器ノ競争ト云フガ如キハ誠ニ無意味ノモノデアリマシテ、假ニ例ヲ以テ致シマスレバ、當年ノ一千二百萬圓ノ戰艦三笠モ今日ノ五千萬圓ノ長門モ相對的ノ勢力ニ於テハ何等變ハル所ガナイノデ、唯軍備競争ノ結果、當年ヨリ今日ニ至ツテ四倍ノ茲ニ負擔ヲ此軍器ノ上ニ於テ見出スト云フコトニ過ギスノデアリマスカラ、是等ノ事柄ヨリ、軍備ノ競争ノ甚ダ愚劣デアルト云フコトヨリ覺醒サレマシタ此一般ノ政治家ノ覺醒ハ、大ニ今日考慮スル必要ガアラウト存ジマス、尤此軍備ノコトハ四圍ノ事情ニ依テ定マルモノノデアリマシテ、一國ガ彼レ此レ決定スルコトハ出來ヌノデアリマスガ、其要點ハ各國ノ協調ノ程度如何ト云フモノニ屬スルノデアリマス、此點ニ付テ當局ノ考慮ヲ拂フ必要ガアルト存ジマスガ、其御考ハ如何デアリマセウ、ソレカラ其第二ハ先刻委員長ヨリ報告ニナリマシタ通リ液體燃料ノ問題デアリマス、此ノ液體燃料即チ石油ノ問題、是ハ國防問題ト同時ニ解決サレナケレバナラヌ問題デアル、即チ不可分ノ問題トシテ取扱ハナケレバナラヌ問題ト存ジマスガ、未ダ其點ニ付テ明確ナル御計畫ヲ伺ヒマスルコトノ出來ナイノハ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、御承知ノ通り此ノ液體燃料ヲ以テスル戰艦、ソレカラ石炭ト液體燃料ヲ以テスル即チ混燒ノ戰艦ト比較シマスレバ、其勢力ニ於テ又取扱上ニ於テカラ、是ハ同一ノ比デナイ、即チ我が戰艦ハ生レナガラシテ、英國ノ戰艦ト比較シテ此弱點ヲ有ツト云フコトハ、是ハ國防上實ニ容易ナラヌ問題デアリマシテ、此問題ヲ解決スルニハドウ致シテモ、石油即チ液體燃料ノ問題ヲ解決セネバナラヌノデアリマス、此問題ヲ解決イタシマスルノニハ、ドウ致シマシテモ、此油田ノ開發ト云フコトガ第一デアリマス、然ニ我國ノ油田ハ年々減少致シ生産高ガ少ナイ、前途ニ見込ガナイト云フガ如キ聲ヲ聞クノデアリマスガ、是ガ果シテサウデアルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ實際ノ所甚ダ不明デアリマス、今迄油田ノ無イト云フ所ニ油田ヲ發見ス

ル例モアリマシテ、大戰當時ニハ英國ノ如キハ今迄無イト思タ所カラ國民又ハ國家ノ力ヲ以テカラニ遂ニ油田ヲ發見スルト云フヤウナ實例モゴザイマス、我國ノ如キ油田ノ點ニ付テハ世界各國ノ中ニハ米露ヲ除イテハ天惠ヲ有スル國デアリマスカラ、若シ國家ガ之ニ力ヲ致シテ、國民ト共ニ油田開發ニ努力イタシマシタナラバ、今後油田ヲ開發スルコトガ出來ルカモ知レマセヌ、要ハ是ハ國家ノ力ヲ以テ先づ此點ニ努力致スト云フコトニ歸スルノデアリマス、海軍ハ年々巨額ノ石炭ヲ煙ニ致シ、又巨額ノ彈藥ヲ消費イタシテ訓練ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ燃料問題ノ如キ矢張是ハ軍器ト同様ニ取扱テ然ルベキ問題ト致シマスレバ、此費用ヲ割イテサウシテ油田開發ノ助成等ヲ致ス上ニ於テハ少シモ惜ムニ足ラヌコトト存ジマス、又其他海外ノ油田ノ獲得ト云フ如キコトモ、是亦今迄世界各國トモ争ッテ皆爲スコトデアリマスガ、獨リ我國ガ之ニ後レルト云フコトハ、甚ダ遺憾ノコトデアリマシテ、今ニ於テカラシテ之ヲ行ヒマセヌ時ニハ、最早世界ノ何レノ國ニモ是等ノ油管掌廳タル農商務ノ事柄デハゴザイマセヌ、關稅ノ關係モゴザイマス、又外交上ニ依テ油田開發、又米國等ニ於テハ近來禁輸ノ說等モゴザイマスレバ、自然是ハ國際的ノ關係ニモ及ブノデアリマスカラ、是等ノ官廳皆等シク之ニ力ヲ添ヘナケレバナラヌコトデアリマス、ドウカ關係ノ廣イコトデゴザイマスレバ、政府ノ力ヲ以テ茲ニ一大官民ノ調査ヲ開イテ、官民ノ智能ヲ集中イタシテ、此問題ヲ解決サレルヤウニ望ムノデアリマス、既ニ衆議院ニ於テモ燃料ニ付テハ、建議案モ通過イタシ、國民ノ聲トシテ齊シク之ヲ希望イタスコトアリマスレバ、本院ニ於カレテモ何卒當局ニ於テハ之ニ向ツテ十分努力アラムコトヲ希望スル次第デアリマス、最後ニ此世界ノ大戰後國際間ノ海權ノ消長ノ上ニ於テ非常ニ異動ヲ生ジタ事柄ニ付テ、將來我が海軍ハ如何ナル方針ヲ以テ進マレルカト云フコトニ付テ大體ノ方針ヲ伺ヒタイノデアリマス、四十一議會ノ終リニ於キマシテ本席ヨリ當時講和會議ノ議ガ纏リマシテ、其結果ニ依テ獨逸ノ海軍が殆ド世界ノ海軍ヨリ消滅スル狀態トナラムトスルニ際シマシテ、世界ノ海權ニ如何ニ均衡上ノ變化ヲ來シタカト云フコトニ付テ御尋シタコトヲ記憶イタシテ居リマスガ、果シテ二箇年ヲ隔タ今日ニ於テ世界ノ海權ノ中心ニ變動ヲ來シマシテ、大西洋ヨリ太平洋ニ移ラムトシツ、アルノデアリマス、英國ハ獨逸ノ海軍消滅ニ依リマシテ大西洋ノ南北ニ於テ

餘裕ヲ生ジテ、延イテ米國ハ大西洋方面ヨリ一部ノ艦隊ヲ東洋ニ派遣スルノ
餘裕ヲ見出シタノデアリマスガ、尙ホ最近ニナリマスト英米ノ間ニ何等カ此
海權ノ分配ニ付テ一ノ了解ヲ得テ、大西洋ハ英國ガ之ニ當リ、太平洋ハ米國
ガ之ヲ守備スルト云フガ如キ狀態ヲ呈シテ來タヤウニ見エマス、是ハ世界海
權ノ中心ノ移動ト致シテ、當然ノ歸屬デアリマス、又米國ノ東洋方面ニ於テ
政治的ニ、商業的ニ其權利ヲ保護スル上ニ於テ今日ノ事アルコトハ、當然デ
アリマスガ、又帝國ニ於キマシテモ、此新現象ニ對シテ米國ト手ヲ携ヘテ、此
太平洋ノ安寧ヲ維持スル上ニ於テ相當ノ考慮ガ拂ハレルコトガ必要デアリマ
ス、尙ホ帝國ノ海上ノ警備ニ付マシテハ、更ニ南洋方面ニ於テカラシテ、廣
大ナル所ノ面積ヲ擴大イタシタノデアリマスカラ、之ニ對シテ帝國ノ海軍ノ
任務ハ更ニ重キヲ加ヘタノデアリマス、此新現象ニ對シテカラニ、且ツ世界
大戰後此戰艦ノ建造等ニ付マシテハ、戰艦ヲ可トスルカ或ハ飛行機潛水艇ノ
發現ニ依テ水面上ノ戰艦ハ、或ハ是ハ消滅スルニ至ラムカト云フガ如キハ、
英國ノ海相アタリノ有力ナル權威アル說トシテ論議サレテ居リマス、所謂海
軍ハ是等ノ新現象ニ對シテ何等カ懷疑的ナル不安ノ感ヲ抱クヤウニナッテ來
タノデアリマス、又一面ニ國際聯盟、延イテ軍備制限ト云フガ如キ、是等ノ
方針ニ付テ、動搖ヲ來サムトスルノ狀況デアリマスガ、此際海軍大臣ニ於テ
我ガ海軍ニ對シテノ大方針ニ付テ、御辯明ヲ得マスコトハ我ミノ大ニ希望ス
ル所デアリマス、是等三點ニ付テ政府ノ御所見ノアル所ヲ伺ヒタイ爲ニ此演
壇ニ立ツタ次第デアリマス

〔國務大臣男爵加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) 唯今坂本男爵ヨリ經費節減、燃料問題ニ付
テ種々ナル御意見ヲ拜聽イタシマシタ、是等ノ御意見ハ委員會ニ於テ度々質
問應答ヲ致シタ問題デアリマス、茲ニ多ク申上ゲル必要モアルマイカト考ヘ
マスルガ、先づ經費節減ト云フ問題ニ付マシテハ、男爵ハ種々ナル事項ヲ御
擧ゲニナッテ、斯クスクノコトヲ斯様ニシタナラバ經費節減モ出來ルデアラウ
ト云フヤウナ御趣旨デアリマシタ、其中ニハ私共モ出來ルデアラウト考ヘテ
居ルモノモアルノデ、又甚ダ困難ナ問題デアラウト考ヘテ居ルモノモアルノ
デアリマス、併ナガラ要スルニ十年度ノ豫算ニ於キマシテ、此軍備費ガ非常
ニ膨脹イタシタト云フコトハ事實デアリマシテ、將來此比ヲ以テ進メバ非常
ナル經費ニナルト云フコトハ、恐ラクハ間違ノ無イコトデアラウト思フノデ

アリマス、爲ニ十一年度豫算ヲ編成イタシマスルニ當リマシテハ、努メテ經
費ノ節減竝ニ種々ナル整理ヲ致シマシテ出來得ル限り豫算ノ膨脹ヲ防グト云
フコトノ主義ハ私モ至極同感デゴザイマス、又現ニ其方針ヲ以チマシテ調査
ニ從事イタシテ居ルヤウナ次第デアリマス、其主義ノ一部分ハ既ニ昨年ニ於
テ實行イタシテ居ルモノモアリマス、又今年度ニ於キマシテモ、若干ハ實行
イタサウト考ヘテ居ルモノモアル、如何ナル程度ニ節減シ得ルヤ、如何ナル
程度ニ整理シ得ルヤト云フコトハ、今後十分ニ調査研究イタシタ上デアリマ
セヌケレバ、具體的ニハ申上ゲ兼ネマスルケレドモ、其趣意ヲ出來得ルダケ
實行イタスト云フコトハ、茲ニ申上ゲ得ルト信ズルノデアリマス、又燃料問
題ニ付マシテハ御話ノ通り大切な問題デアリマス、此問題ハ農商務其他ト、
目下攻究中ニ屬シテ居ルノデアリマシテ、御趣意ノアル所ヲ我ミモ十分努メ
テ出來得ルダケ速ニ確立シタル方法ヲ設ケタイト考ヘテ居ルノデアリマス、
何分問題ハムヅカシイ問題デアリマス、又複雜イタシタ問題デアリマス、種
種ナル事柄ニ影響イタス問題デアリマスルノデ、之ガ研究調査ヲ遂ゲマスル
ノニ、若干ノ時日ヲ要スルコトハ信ジテ居リマス、併ナガラ出來ルダケ早ク
御意見ノ如ク致シタイト云フ、希望ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キタ
イト思フノデアリマス、又此海權ト云フ問題ニ付テ縷々御意見ガアッタヤウデ
アリマス、今日此場合ニ於テ我ガ海軍ガ海權上、今日マテ執ツテ居ル所ノ方法
若クハ方針ヲ特ニ變更シナクテハナラナイト云フ感ジハ私ハ持ツテ居ナイノ
デアリマス、何等不安ノ狀態ニアルト云フコトヲ私ハ考ヘテ居リマセヌノデ、
新聞報ニ依リマスト云フト、英米ノ間ニ何等カノ協約ガ出來テ、英國ハ大西
洋、米國ハ太平洋ニ艦隊ヲ集中ヲスルト云フヤウナ新聞報ハアリマスルケレ
ドモ、斯様ナル事柄ハマダ何等公報ニハ接シナインデ、又米國ノ當事者ハ之
ヲ打消シテ居ルト云フ新聞報モアリマスルガ、私ハ此打消シタノヲ信ジテ居
ルノデ、斯様ナルコトハ今日ノ場合出現ハ致スマイト考ヘテ居ル、從ツテ海軍
ニ致シマシテハ海權上特ニ是マテ執リ來ツテ居ル所ノ方法方針、之ヲ變更スル
必要ハ認メナイノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 坂本男爵ハマダ御質問デスカ

○男爵坂本俊篤君 一言海軍大臣ノ辯明ニ對シテ言明ヲ致シテ置キタイト思
ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 質疑デナケレバ唯今御免ヲ願ヒタイト思ヒマス

ガ、質疑ノ繼續ナラバ御許シイタシマスガ、言明ト云フコトハ少シドウダラ
ウカト思ヒマス

○男爵坂本俊篤君 唯今チヨット……

○議長(公爵徳川家達君) 質疑ノ御繼續ナラ御許シイタシマス、サモナクテ
ハ御免ヲ蒙リタク存ジマス

○男爵坂本俊篤君 言明ト申シマスルノハ唯今海軍大臣ガ御辯明ニナリマシ
タガ、私ノ申シマシタ言葉ニ誤解ガゴザイマシタヤウデアリマスルカラ、ソ
レヲ明瞭ニ致シテ置キタイト存ジマス、究極私ノ質問ノ繼續ニナラウト存ジ
マス、御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 議長ハ坂本男爵ノ御趣意ヲ伺ヒ遠ヒマシタノデス
カラ、唯今御述ベニナツタヤウナコトナラ宜シウゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 唯今海軍大臣ハ私ガ不安ト申シマスルコトニ付テ誤解サ
レタヤウニ存ジマス、私ノ不安ト申シマスル言葉ハ此軍艦ノ形式ノ變更、即
チ大艦ヲ可トスルヤ、或ハ潜水艇ヲ可トスルヤ、或ハ軍備制限問題、又艦隊
ノ移動ト云フガ如キ考ガ、不安又ハ懷疑ニ落チテ居ルト云フ事柄ヨリ致シテ、
之ヲ極ク明瞭ニ致シテ置キタイト云フ考カラ、海軍大臣ノ辯明ヲ求メタノデ
アリマス、何等此ノ海權上ニ付テ不安ト云フコトヲ申シタノデハゴザイマセ
ス、其事柄ヲ言明イタシテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ニテ質疑ノ通告者ハ終リマシタ、此際休憩ヲ致
シマシテ午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス

正午十二時休憩

午後一時三十六分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、通告順ニ依リマシ
テ豫算案ニ對スル發言ヲ許シマス、橋本辰二郎君

〔橋本辰二郎君演壇ニ登ル〕

○橋本辰二郎君 私ハ豫算委員ノ一員ト致シマシテ他ノ委員諸君ト同一ノ歩
調ヲ取ルコトノ出來ナイコトヲ深ク遺憾トスル者デアリマス、殊ニ本豫算案
ニ付マシテハ既ニ各派ノ申合セモ出來マシタルヤウニ承ツテ居リマスルノデ、
假令私ノ茲ニ述ベマスルコトニ御同感デアラセラレルニ致シマシテモ、御贊
同ヲ得ルコトノ希望ハ到底出來ナイノニアリマス、ソレ故ニ私ガ如何ニ此壇

上ニ於キマシテ大聲疾呼イタシマシタ所ガ是ハ畢竟徒勞ニ屬スルノデゴザイ
マスルデ、私ハ成ベク低音ニ且ツ靜ニ話ヲ進メタイト考ヘマス、併ナガラ私ノ
期シマスル所ノモノハ單ニ多數諸君ノ御贊成ヲ希望スルト云フ意ヨリハ外ニ
アルノデアリマス、ソレハ私ハ帝國財政ノ前途ヲ非常ニ憂慮スル者デアリマ
スル、從ヒマシテ財政上幾多ノ危機ヲ抱擁スルカノ疑ノアル所ノ此豫算案ニ
贊成ヲスルト云フコトハ躊躇シナケレバナラナイノデゴザイマスル、私ハ先
程豫算委員長ノ此演壇ニ於ケル所ノ報告ヲ承リマシタ、其中ニ一分科ノ希
望決議ト云フモノガゴザイマシタガ、此一分科ノ希望決議ナルモノハ、私ノ
將ニ此席ニ於テ述ベムトスル所ノモノ、縮圖デアリ、又私ノ言ハムトスルモ
ノ、汎論デアルノデアリマス、私ハ此議員中ニ於キマシテモ、私ト同感ノ方
方ノ多數アルコトヲ非常ニ心強ク思フノデアリマス、大正十年度ノ一般會計
總豫算ハ、先程委員長モ御述ベニナリマシタル通り、無慮五億六千三百餘萬
圓ト云フ高ニ上ツテ居ルノデアリマスガ、此巨額且ツ厖大ナルニモ拘リマセ
ズ、委員長モ此席デ述べラレタ通り、現内閣ノ經綸、又ハ抱負トシテ認ムベ
キ何等ノ新規ナル計畫施設等ノ見ルベキモノハ何モノナイノデアリマス、殊ニ
政府當局者ガ隨時隨所ニ於テ發表セラレタ所ノ積極政策ノ如キモノハ殆ド
破産ニ瀕シマシテ、殊ニ此豫算ノ上ニ於キマシテハ、貧弱言フニ足ルベキモノ
ハナインデアリマス、唯放漫政策ノ結果ト致シマシテ、茲ニ物價ノ騰貴ヲ
招來イタシマシテ、其物價騰貴ヲ埋合セルガ爲ニ、殆ド他ヲ顧ミルニ違ガ
ナカツタカノヤウニ、私ハ考ヘルノデアリマスル、政府ハ豫算ノ編成ニ付テハ
少カラザル注意ヲシ、尙ホ將來ノ計畫ニ付テハ、慎重ナル考慮ヲ加ヘタト云
フコトヲ云ヒマスルガ、先日私ハ此壇上ニ於キマシテ是等ノ形跡ハ自分ハ認
ムルコトハ出來ナイト云フコトヲ申シマシタガ、今日ニ於キマシテモ、依然ト
シテ私ハ政府ノ言フ所ハ、徒ニ言葉ヲ飾ルニ過ギザルモノトヨリ外考ヘラレ
ヌノデアリマスル、此ノ物價騰貴ノ埋合セト致シマシテ、茲ニ不當ナル所ノ、
自然增收ヲ見込ミマシテ、又ハ歲計剩餘金ヲ繰入レマシテ、辛ウジテ一時ヲ
糊塗シ、僅ニ歲出入ノ辻棟ヲ合セマシテ、實ニ財政ノ行詰リヲ暴露シタ悲
慘ノ極ミデハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、世間デハ此總豫算ヲ稱シ
マシテ、恰モ物價騰貴ト剩餘金トノ取組相撲ノ如キモノデアルト云フコトヲ
言ウテ居リマス、抑豫算ニ大影響ヲ及ボシタル所ノ此ノ物價騰貴ナルモノ
ハ、如何ニシテ來リシカヲ、少シク論及スルノ必要ガアラウト思ヒマス、此

ノ物價騰貴ナルモノハ、一面ハ世界的デアルニ相違ナイノデアリマスガ、戰時中非常ニ我ガ物價ガ他ノ國ニ比較ノ出來ナイ程暴騰イタシマシタルモノハ、畢竟是ハ政府ノ放漫政策ガ之ヲ誘致シタモノト私ハ信ズルノデゴザイマスル、政府當局ハ物價ノ騰貴ヲ誘導シタコトハナイト云フコトヲ頻リト辯解セラレマスルガ、是ハ現内閣ノ與黨ノ外ハ、天下盡ク之ヲ認メテ居リマス、雷ニ我ガ識者ガ之ヲ認メルノミナラズ、亞米利加ノ準備銀行ノ總裁初メ、總テノ人ガ日本政府ノ物價ニ對スル所ノ政策ハ、實際放漫ヲ免レナカッタト云フコトヲ公言シテ居リマス、大藏大臣ハ常ニ物價ハ政策ニ依リ左右シ得ベキモノデナイト云フコトヲ言ハレマス、過日モ豫算委員會ニ於キマシテハ物價ハ政府ノ力、若クハ政策ニ依テ支配スルコトハ出來ナイモノデアル、又爲スベキモノニ非ズト云フコトヲ言ハレルノデアリマス、但シ鎖國時代ニ壓制的ニヤレバ出來ルカモ知レス、又歐洲交戰國ノ如ク國運ヲ賭シテ戰フ場合ニ於テハ其必要モアラウ、併ナガラ我國ノ狀態ハ、戰時中ト雖モ歐洲諸國トハ丸デ違ツテ居ルモノデアルト云フコトヲ仰セニナツテ居リマスル、此御意見ニ依リマスレバ、曩ニ寺内内閣ガ執リマシタ所ノ物價政策ハ、爲スペカラザル無謀ナルコトヲ爲シ、又其爲シタル事柄ハ何等ノ效果ガナカッタト言ハレタヤウニ私ハ受取リマスルガ、御承知ノ通リ寺内内閣ハ大正六年ノ八月ニ暴利取締令ヲ布キマシテ、之ニ依テ物價ヲ無制限ニ吊上げ、又ハ暴利ヲ貪ル手合ヲシテ、實ニ其心膽ヲ寒カラシメタノデゴザイマスル、次デ同年十月ニ船舶管理令ヲ緊急勅令ヲ以テ發布シタノデゴザイマスガ、此ノ事後承諾ヲ求ムルニ當リマシテ、時ノ遞信大臣ハ説明シテ曰ク、運賃ガ非常ニ暴騰シテ、而シテ直ニ此運賃ノ暴騰ハ延イテ物價ノ騰貴ヲ促シタノデアル、物價ノ騰貴ハ茲ニ國民ノ生活ヲ脅威シ、國民生活ノ脅威ハ國民ノ不安ヲ誘致シタノデアル、是ガ緊急勅令ノ必要ナル所以デアルト云フコトヲ述ベラレテ居リマス、但シ是ハ唯一ノ理由デハナカッタノデアリマスルガ、其主タル理由ノ一デアッタノデアリマス、即チ此ノ船舶管理令ノ如キモノモ、明カニ物價調節ノ意味ヲ以テ發布セラレタルモノデアルノデアリマス、更ニ寺内内閣ハ米價ノ無制限ニ底止スル所ナク暴騰スルヲ防ガムガ爲ニ、穀物收用令ヲ布カレタノデゴザイマスルガ、大藏大臣ノ意見ニ依リマスレバ、是等寺内内閣ノ執リタル物價政策ニハ全然御反対ノヤウニ承ルノデゴザイマスルガ、私共カラ見マスレバ此ノ寺内閣ノ執リマシタル物價政策ハ、決シテ失敗デハナカッタ、其當時ニ於キマシ

テ、ソレ相當ナル效果ガアリマシテ、尤モ一部ノ人士ハ之ヲ喜バナカッタノハ當然デアリマスガ、多數ノ國民ハ悉ク其恩典ニ浴シタモノト私ハ信ジマス、事實ハ明ニ之ヲ證明シテ居リマス、寺内内閣ノ時代ニハ、物價ハ二百八十ヨリ以上ニハ上ラナカッタノデアリマス、然ニ現内閣成立以來、寺内内閣ノ執リマシタル所ノ物價政策ヲ以チマシテ、傳家ノ寶刀トシテ之ヲ高閣ニ束ネテ用キナイノデアリマス、其結果トシテ市井ノ黃白是レ崇拜スル射倖者流ヲシテ、恣ニ跳梁跋扈セシメタルノミナラズ、現内閣ノ不注意不謹慎ナル言動バ、動モスレバ獎勵煽揚ノ如ク、國民ヲシテ、誤解セシメタノデアリマスル、是ガ爲ニ物價ハ日ニ月ニ騰貴ヲ致シマシテ、遂ニ倫敦ヤ紐育ヲ凌駕イタシマシテ、其指數ハ四百二十五ト云フコトニ上ツタノデゴザイマスル、即チ放漫政策ガ如何ニ物價ノ騰貴ヲ招來シ、適切ナル政策ハ以テ物價ヲ調節スルコトノ出來ルト云フコトハ、是デ明ニ私ハ證明ガ出來ルト考ヘマス、全體政府當局者ハ好景氣ト云フモノハ物價ノ騰貴ヲ意味シ、不景氣ハ物價ノ下落ヲ意味スルト云ス、現ニ當議會ニ於テ提出イタシテ居リマス幾多ノ救濟案ノ如キモノモ、其背後ヲ見マスレバ悉ク物價ヲ上ニ、即チ高價ニ導カムトスル所ノ政策ガ潜ンデ居ルト私ハ見ルノデゴザイマス、即チ此ノ物價騰貴ナルモノハ一面ハ政府ソレ自ラ招イタル所ノモノデアリマスルガ、ソレガ爲ニ遂ニハ此處ニ空前スルコトナク、只其騰貴ヲ熱望セラレタルヤウニ私共ハ見受ケルノデアリマス、現ニ當議會ニ於テ提出イタシテ居リマス幾多ノ救濟案ノ如キモノモ、其ノ豫算膨脹ヲ來シマシテ、其ノ埋合セニ忙殺セラレマシテ、將來ノ財政計畫モ顧慮スルノ違ナク且ツ其ノ一枚看板デアッタ所ノ積極政策モ抛棄セラレマシテ、目前ノ糊塗ニノミ焦心苦慮セラル、ト云フコトハ實ニ御氣ノ毒ノ至リデアリマス、是ヨリ本員ハ豫算ノ内容ニ瓦リマシテ、簡單ニ其ノ實行難ノ要領ヲ述ベタイト思ヒマスル、歲入歲出全般ニ瓦リマシテ巨細ニ論究スルト云フコトハ、時間ノ許サナイノミナラズ、皆サマニ御迷惑ヲ掛けル虞ガアリマスルデ、私ハ單ニ歲入ノ實行難ノ四五ヲ指摘イタシマシテ、私ノ論ヲ結ビタセラレタルモノデアルノデアリマス、更ニ寺内内閣ハ米價ノ無制限ニ底止スル所ナク暴騰スルヲ防ガムガ爲ニ、穀物收用令ヲ布カレタノデゴザイマスルガ、大藏大臣ノ意見ニ依リマスレバ、是等寺内内閣ノ執リタル物價政策ニハ全然御反対ノヤウニ承ルノデゴザイマスルガ、私共カラ見マスレバ此ノ寺内閣ノ執リマシタル物價政策ハ、決シテ失敗デハナカッタ、其當時ニ於キマシテ十三億ノ純益ガ生ズルノデゴザイマスルガ、是ハ留保ガ四億三千萬圓、配

當ガ八億千萬圓、賞與約六千萬圓ト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、諸君此ノ運用資金ト云フモノハ會社ノ資本金デハナイノデゴザイマス、積立金及ビ繰越金モ此内ニ包含セラレテ居ルノデゴザイマスガ、會社ノ決算報告ヲ御覽ニナツタ御方ハ皆御承知デゴザイマセウガ、何レノ會社ニ於キマシテモ、此積立金、繰越金ハ現金デ保有シテ居ルモノハナイノデゴザイマス、其大部分ハ機械工場、原料、製品、諸製品等ニ皆變ツテ居ルノデゴサイマス、然ニ今日ノ狀態ハ如何デアリマスルカ、機械ヤ工場ハ操業短縮ト云フ名目ノ下ニ、半バ休止シテ居ルノデゴザイマス、即チ此ノ運用資金ノ過半ト云フモノハ、全ク死シタト同様ニナツテ居ルノデアリマス、加フルニ原料、製品ナルモノハ日ニ月ニ下落ヲ致シマシテ、少ナクモ損失ヲ免カレルト云フコトノ希望茲ニ存セザルヤウナ有様デアリマスル、之ニ依リマシテ十三億ノ利益ノ生ズルト云フコトハ、如何ニ樂觀シテモ湧出ルモノデハナカラウト思ヒマスル、是ヨリ第三種ノ所得ハ九年度ノ實績ガ十八億七千萬圓アル、之ヲ五分引ニシテ此上ニ配當所得ヲ加ヘタルモノヲ基礎ト致シテ居ルノデゴザイマスガ、大正九年度ノ實績ノ十八億七千萬圓ノ五分引デ當年ハ止マルカドウカト云フコトハ皆サマノ御承知ノ通リデアラウト思ヒマスル、大藏大臣ハ銀行ノ拂込ガ大正八年ニハ十三億デアッタガ、大正九年ノ末ニハ二十一億八千萬圓ニ上ツタト云フコトデ、非常ニ樂觀ヲセラレテ居リマスルガ、此激増ナルモノハ、畢竟スルニ其業務ガ盛ンナルガ爲ニ、其必要ニ應ジテ拂込又ハ増資シタモノデハアリマセヌ、即チ所得稅ノ改正ヲ見越シマシテ、負擔ノ輕減ノ爲ニ此拂込ヲ爲シタノデアリマスルデ、之ニ依テ所得稅ハ減ズルトモ増スト云フコトハ殆ド望ミ難イノデアリマス、斯ノ如ク政府ノ見積リマシタモノニ付マシテハ、私等ハ全然同意ハ出來ナイノデアリマスル、大正十年度ノ所得稅總額デ二億六千八百餘萬圓ト云フコトニナツテ居リマスル、之ヲ九年度ノ實行豫算ニ比較イタシマスルニ、八千六百五十餘萬圓ノ增加デアリマス、更ニ之ヲ歐洲戰爭前ノ我ガ所得稅ニ比較イタシマスルト約八倍ニ當ルノデアリマスル、戰爭前ニ於ケル我國ノ所得稅ハ三千五百六十萬圓ニ過ギナカッタノデアリマス、即チ國民ハ所得稅ニ於テノミ戰爭前ニ比シマシテ八倍ノ負擔トナルノデアリマス、千圓ノ所得稅ヲ納メマスル者ハ、十年度ニ於キマシテハ八千圓ノ稅ヲ納ニ八倍セシト、歐洲戰亂ノ發生後、我國ニ收得イタシマシタルモノハ、人々

ノ見積方ハ色ニアリマスルガ、私ハ約三四十億内外ノモノデアラウト思ヒマス、是等ノモノハ私等ノ見ル所ニ依リマスレバ、我國ノ國富ノ一割内外ニ過ギナイノデアリマス、假ニ此戰爭中ニ獲得イタシマシタルモノガ全部其儘保存セラレマシテ、是ガ悉ク活動的資本ニ化シテ相當ノ利益ヲ擧ゲ得タリト假定イタシマシタ所ガ、八倍ノ負擔ト云フコトハ果シテ是ハ國民ノ堪ヘル所デアリマセウカ、況ヤ昨春財界ノ變動後戰時中ニ於ケル所ノ成金ハ歩ニ還リマス、而シテ大小ノ事業ハ慢性的萎縮病ニ罹リマシテ、今ヤ或者ハ重患ニ陥リ、或者ハ將ニ危篤ニ瀕スル者モ亦少カラヌノデアリマス、此處ニ二三ノ例ヲ申上グマスレバ、戰時中ニ於キマシテ、國民羨望ノ的トナリマシタ所ノ各種ノ事業ハ今日如何ナル狀態デアリマスルカ、個中ノ雄タリシ所ノ船舶業ハ今ヤ船腹ヲ充タスニ由ナク、繫船相次グト云フ有様デアリマス、而シテ偶ニ從事スル者モ得ル所ヲ以テ失フ所ヲ償フニ足ラヌノデアリマス、又未嘗有ノ成績ヲ舉グタル所ノ紡績業者ハ今日ハ如何ナル狀態デアリマスルカ、航海ニ從事スル者モ得ル所ヲ以テ失フ所ヲ償フニ足ラヌノデアリマス、又未嘗有ノ成績ヲ舉グタル所ノ紡績業者ハ今日ハ如何ナル狀態デアリマスルカ、七百圓ノ棉花ハ百五六十圓ニ暴落イタシマシテ、今後ノ維持ニ付マシテ少カラザル苦慮ヲ致シテ居ラウト思ヒマス、造船業、蠶絲業、製糖業、肥料業、燐寸業等モ是亦收支相償フ者ト云フノハ僅ニ指ヲ屈スルニ足ラナイノデアリマスル、其他幾多ノ事業悉ク氣息奄々トシテ將ニ瀕死ノ狀態ニ沈淪シテ居ルト言ハナケレバナリマセヌ、此ノ物價ノ下落ヲ迫リツツアル所ノ今日ノ我ガ經濟界ノ現況ノ下ニ於キマシテ、如何ナル事業ニ致シマシテモ收支相償フモノト云フモノハ殆ド無イノデアリマス、斯ノ如キ場合ニ於テ政府ハ如何ナル努力ヲ以テ如何ナル方法ノ下ニ徵稅ノ目的ヲ達成セムトスルカ、實ニ吾人ノ憂慮ニ堪ヘザル所ノ次第デアリマスル、私ハ十年度ノ財界ノ前途並ニ貿易額ノ見込ニ關シマシテ、大藏大臣ノ御豫測ヲ伺フコトガ出來マシタ、曰ク本邦ノ經濟界ハ今ヤ整理ノ時代デアル、或者ハ整理ヲ遂ゲ堅實ナル基礎ヲ確立スル者モアラウシ、其薄弱ナル者ニ至ツテハ或ハ倒壊スルモノモアラウト云フコトヲ言ハレテ居リマス、大藏大臣ノ御觀測ハ吾人モ亦同感デアリマシテ、是ハ異議ナイ所デアリマスル、全體整理ト云フモノハ事業ノ好況時代ニ於キマシテハ殆ド影ヲ潜メマシテ、唯悲況ノ場合ニ於キマシテノミ起ルベキ所ノモノメナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、誰カ言フ、國民ノ收入ハ戰爭前待スルト云フコトハ如何ニ樂觀イタシマシテモ私ハ出來ナイコトデアラウト

思ヒマス、況ヤ整理不能ニシテ倒産スル者ニ於テヲヤデアリマスル、尙ホ貿易額ニ付キマシテ大藏大臣ハ本年度ノ輸出入ノ合計ヲ約三十億萬圓内外ト御豫測ニナツテ居ラシヤルヤウデアリマスルガ、本年ノ一月末及ビ二月末ニ於ケル所ノ累計ヲ以チマシテ、之ヲ前年ニ比較イタシテ見マスレバ、實ニ激減驚クベキモノガアルノデアリマス、即チ一月ハ五割二分五厘、二月末ニ於キマシテハ五割四分五厘ノ大減額デアリマス、昨年ノ貿易總額ハ四十二億八千萬圓デアリマシタ、之ニ對シテ一月以後ノ實績減率ヲ乘ジマスレバ、本年中ノ貿易額ハ二十億圓内外ニ過ギヌヤウニ私ハ思ヒマスル、大藏大臣ノ御樂觀トハ大分差ガアルノデゴザイマス、斯ノ如ク二月末ノ實績ヲ見マシテ將來ヲ推シマスルナラバ、本年ノ貿易ト云フモノハ前途實ニ暗澹タルモノデアリマス、而モ此貿易品ニシテ輸出品ニシテ生産費ヲ償フモノハ殆ドナク、又輸出品ニシテ原價ヲ償フモノハ殆ドナイノデアリマス、所謂今日ノ貿易ハ單ニ貨物ヲ右ヨリ左ニ動カスニ過ギザル如キ有様デアリマス、斯ノ如キ現狀ノ下ニ於キマシテ、所得稅ノ負擔ニ堪ヘル者ハ果シテ幾ラアリマセウカ、凡ソ内地ノ貿易ナルモノハ普通ノ場合ニ於キマシテ、斯ノ如キ貿易ノ五倍乃至六倍ニ上ルモノデアリマスル、即チ本年ノ外國貿易ガ前ニ述べマシタヤウニ、昨年ノ半額ニモ達セヌト致シマシタナラバ、内地ノ商業モ勿論之ニ準ズルノデアリマスル、果シテサウデアリマスルトスレバ、昨年ニ於キマシテ二百五十億ノ内地ノ商業ガアリマシタモノガ、本年ハ是ガ百二十億位ニ激減スルダラウト思ヒマス、斯ノ如キ商業ノ有様、加フルニ物價下落ノ今日ニ於キマシテ、此影響ヨリシテ真ノ利益ヲ生ミ出スト云フコトハ、到底是ハ望ムベキコトデハナイノデアリマスル、斯ノ如ク我ガ貿易竝ニ財界ノ現狀ハ皆様御承知ノ通リデアリマルガ、此ノ失望的狀態ノ下ニ於キマシテ、好況ノ絶頂ニ達シマシタル大正七年、八年及び好況ノ惰力ガ未ダ衰ヘマセス所ノ九年度ノ實績ヲ標準ト致シマシテ、收入ヲ計上セラレタル所ノ十年度所得稅ノ負擔ト云フコトニ、商業ノ若クハ事業會社ニ當用スルニ至リマシテハ、結局誅求ニ終ルノ外其途ハナカルベシト云フコトヲ私ハ恐レルノデアリマス、第二ニハ營業稅デアリマス、十年度ノ營業稅ノ豫算額ハ四千八百六十七萬圓デ、之ヲ前年度ノ實行豫算ニ比シマスレバ、正ニ五百四十萬圓、更ニ八年度ノ調定額ニ比較致シマスレバ、四百三十萬圓ノ増加デアリマス、營業稅ハ御承知ノ通り、法規上年度ノ實額ニ依ルコトデアリマスレバ、其調定額ハ所得稅ホドニハ困難デナカラウト私ハ思

フノデアリマス、併ナガラ是ハ好況期ノ絶頂デアッタ所ノ大正七年、八年ノ實績以上ニ五百餘萬圓ノ增收ヲ見込ンデアル、是ハ全體無謀ト言ハナケレバナリマセヌ、本年度ノ營業稅ハ九年度ノ實績ニ依ルモノデアリマス、サウシテ既ニ財界ノ激變ノ後ヲ承ケタル所ノ九年ノ實績ハ、七年度八年度ニ比シマシテ、少カラザル減少ヲ來スト云フコトハ何人モ亦想像ニ難カラザル所デアラウト思ヒマス、然ニ拘ラズ大藏當局ハ、反對ニ五百餘萬圓ノ莫大ナル增收ヲ見込ンダノハ其眞意ヲ解スルニ苦シムノデアリマス、大藏大臣ハ株式ノ拂込ニシテ課稅物件ノ增加シタモノガアルト云フコトヲ言ハレマスガ、是ハ一方ニ拂込ガアリマスルト同時ニ、又他方ニハ整理ノ爲ニ資本ノ減額又ハ廢業スル者モ少カラヌノデアリマス、或者ハ窮迫ノ餘リ假裝的ノ拂込ヲ爲スモノモアリマセウシ、殊ニ物品販賣業、問屋業、請負業、製造業等ノ課稅標準ガ著シク激減スルト云フコトハ、是ハ爭フベカラザル所ノ事實デアリマス、果シテ然ラバ豫定ノ收入ノ上ニ於テ少カラザル違算ヲ生ズルコトハ殆ド疑フ餘地ハナイノデアリマス、政府ハ營業稅ニ付テハ當年ノ好況ヲ考慮シテ、相當ノ割引ヲ爲シタト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、大正八年度ノ現計以上ニ四百三十餘萬圓ノ增收ヲ見込マレタル如キ杜撰ナル編成ニ對シテ、私ハ是ハ信ヲ置クニ足ルノ價值ナシト思ヒマス、今ヤ營業稅ノ調查期ニ際シマシテ、各地ニ於キマシテ、苦情怨嗟ノ聲ガ少ナクナインハ、未ダ當局ノ耳朶ニハ達シナイノデアリマセウカ、況ヤ九年度ノ本稅ノ收入ノ歩合ハ著シク不成績ヲ示シテ居ルノデアリマス、十年度ノ收入ガ一層惡化スルト云フコトハ、是ハ疑ヲ容レナイノデアリマス、第三ニハ酒稅デアリマス、政府ハ三箇年ノ平均造石高ガ昨年同様一割ヲ減ジテ約四百三十萬石トシテ居ルト云フコトデアリマスルガ、增稅ノ翌年ハ造石高ガ激減スルト云フコトヲ是ハ度外視シテ居ラレルヤウデアリマスル、全體酒類ノ消費量ナルモノハ、世間ノ景氣ニ隨伴シテ消費額イタシマシテ、失職者ガ日ニ増加スルト云フガ如キ、此狀況ノ下ニ於キマシテ、如何ニシテ酒類ノ多分ニ賣レルト云フコトヲ想像スルコトガ出來マセウカ、此ノ前途ヲ達觀イタシマシタ所ノ全國ノ酒造業者ハ、例年ニ比シマシ

テ三四割方其仕込ヲ控ヘタト云フコトヲ聞イテ居リマス、米ノ下落イタシマシタノモ、酒造米ノ不捌ケガ一ノ原因デアルト云フコトニ私ハ承ハッテ居ルノデアリマス、然ニ政府當局ノ見込ガ今日此現實ノ大勢ニ反シマシテ樂觀スルト云フコトハ、是ハ私ハ無謀ノ極ミデアルト思ヒマス、又政府ハ麥酒其他燒酎ノ販キマシテモ約百萬圓ノ增收ヲ見込ンデ居リマスル、今日ノ麥酒其他燒酎ノ販賣高ノ激減シタルコトハ、一般ニ承知イタシテ居リマシタ、政府ノミ之ヲ知ラヌト云フコトハ實ニ是ハ驚ノ外ハナイノデアリマス、從ツテ本年度ノ酒稅ノ收入ノ激減スルト云フコトハ、是亦疑フノ餘地ハナイト思ヒマス、第四ハ關稅度ニアリマス、十年度ノ關稅ノ收入ノ豫算、約七千萬圓デアリマス、是ハ前年度ノ實行豫算ニ比ベマスレバ三百五十餘萬圓ノ增收ヲ見込ンデアリマス、然ニ本年二月末ニ於ケル輸入貿易ノ累計二億二千百七十萬圓ヲ、昨年ノ同期末ニ於ケル四億七千五百四十萬圓ト比較イタシマスレバ、實ニ其減額ノ歩合ハ五割三分五厘ト云フコトニナリマス、大藏大臣ノ御觀測ニ依リマシテモ、本年ノ輸入貿易ガ約八億萬圓ノ減少ヲ來スト云フ御想像デアリマス、前述ノ如ク其關稅收入ガ前年ニ比ベマシテ著シク減ズルト云フコトハ當然デアリス、假ニ大藏大臣ノ御豫想ヲ基礎ト致シマシテ、尙ホ其三分ノ一内外ノ減少ヲ免レヌヤウニ思ヒマスノデアリマス、然ニモ拘ラズ、却ツテ三百五十萬圓ノ増加ヲ見込マレルト云フコトハ、實ニ是ハ評シヤウガナイト思フノデアリマス、大藏大臣ノ關稅ノ增稅ハ免稅品ノ復活ニ俟タレルヤウデアリマスガ、例ヘバ米ヤ麥、綿糸、綿布類ノ免稅ヲ撤廢サレマシテモ、今日是等ノ品物ハ内地ニ於テ溢レテ居ル、停滞シテ其捌キ方ニ困厄シテ居リマス折柄デ、此等商品ニ依テ關稅ノ增收ヲ期待スルハ、是ハ畢竟一場ノ夢物語ヲ見ルニ過ギマセヌノデアリマス、第五ハ印紙收入デアリマス、本年度ノ印紙收入ハ九千餘萬圓デアリマシテ、是ハ戰爭前ノ大正三年頃ノ實收額二千八百萬圓ニ比較スレバ、正ニ六千五百萬圓、即チ三倍強ノ増加デアリマス、之ヲ前年度ノ實收額ニ对比イタシマシテモ、尙ホ二千四百萬圓ノ增收ヲ見込ンデ居リマス、實ニ是ハ驚クベキ樂觀的見込ト云ハナケレバナリマセヌ、元來印紙ノ收入ナルモノハ、最モ直接ニ且ツ銳敏ニ經濟界ノ影響ヲ受ケルモノノ一ツデアリマス、世界的景氣ノ惡化日ニ日ニ甚シキ此混亂ノ時機ニ於キマシテ、斯ノ如ク巨額ノ收入ヲ望ムト云フモノハ、尙ホ地下ノ寶ヲ算スルヤウナモノデアルト思ヒマス、印紙收入ノ主タルモノハ登錄稅デアリマス、一時沸騰點ニ迄上ボリ

マシタ、投機熱モ今ヤ冷却イタシテ水點以下ニ下ッテ居リマス、不動產船舶等ノ賣買ノ如キ著シク激減シテ居リマスル、增资又ハ新設會社等モ既ニ影ヲ潜メテ居ル今日ニ於キマシテ、何ヲ目標トシテ此巨大ナル富ノ收入ヲ期待セムトスルノデアリマセウカ、實ニ是ハ思ハザルノ甚シキモノト言ハナケレバナリマセヌ、第六ハ製鐵所ノ益金デアリマス、製鐵所ノ益金ハ三百五十萬圓ト云フモノヲ計上サレテ居リマスガ、本年度ニ於ケル所ノ製鐵所ノ鋼材ノ製造高ハ四十七萬噸デアリマス、政府者ハ一噸二百八圓ニ見積マスルガ、今日ノ時價ハ幾ラアルカト云フコトヲ尋ネマシタ所ガ、今日ノ時價ハ百五十圓ト云フコトデアルト云フコトヲ言ハレテ居リマス、サウスルト此間一噸ニ於キマシテ五十八圓ノ差ガアリマス、此鋼材ノ四十七萬噸ノ内、假ニ二十七萬噸ハ政府ノ御用品ト致シマシテモ、是ハ是非ニ高イ相場ハソレノ二百八圓デ契約ガ出來ルト致シマシテモ、其殘リノ二十萬噸ハ、是ハ民間ニ拂下ゲナケレバナラヌガ、民間ニ拂下ゲマシタ日ニハ何人モ之ヲ買フモノハナイノデアリマス、假ニ二十萬噸ニ致シマシテモ、五十八圓ノ差ガアレバ、千百六十萬圓ト云フ差ガ茲ニ生ズルノデアリマス、況ヤ此製品ハ日ミニ停滞イタシマシテ、製鐵所ハ借入金ヲ六千萬圓ト致シマシテ、尙ホ是ハ不足ヲ生ジテ本年度ニ於キマシテ約千萬圓ノ借入ノ計畫ヲ致シテ居ル所デアリマス、況ヤ米國ニ於キマシテ近來銑鐵ハ五十圓、鋼材ハ百圓ト云フコトヲ標榜シテ居リマスル、斯ノ如キ鐵ノ前途ヨリ見マシタナラバ、本年度ニ於テハ製鐵所ハ少カラザル所ノ損失ヲ招クデアラウト私ハ思フノデアリマス、專賣局ノ益金ノヤウナモノモ亦此不景氣ノ折柄ニ於キマシテハ、恰モ鐵道會計ノニノ舞ヲ踏ミヤセヌカト私ハ考ヘルノデアリマス、第七ハ公債ノ募集デアリマス、本年度ニ於ケル公債ノ募集額ハ二億八千二百萬圓デアリマス、專賣局ノ益金ノヤウナモノモ亦此不景氣ノ折柄ニ於キマシテハ、恰モ鐵道會計ノニノ舞ヲ踏ミヤセヌカト私ハ考ヘルノデアリマス、第七ハ公債ノ募集デアリマス、本年度ニ於ケル公債ノ募集額ハ一億八千百萬圓ヲ加ヘマスル時ハ、總額ハ四億六千三百萬圓ニ上ボルノデアリマス、此以外ニ債還期限ニ達シマスルモノハ二億二千萬圓アリマス、中一億五千萬圓ハ是ハ必ず債還ヲ要スルモノデアリマス、是等ノモノヲ合セマスト、約六億一千三百萬圓デアル、中々此巨額ノ公債ヲ既發ノ公債ニ何等ノ影響ヲ與ヘズ、金融界ヲ攪亂スルコトナク、民間事業資金ヲ壓迫スルコトナク、而シテ又物價騰貴ヲ誘發スルコトナクシテ、容易ニ募集ヲ全ウシ得ルヤ否ヤハ非常ニ疑問ノコトト私ハ思ヒマス、大藏大臣ハ昨年ノ募債計畫ハ順調ニ進行シテ目的ヲ達シタト言ハレテ居リマスガ、八年度、

九年度ノ募集ハ主トシテ是ハ借替デアリマス、新規ノ募集額ト云フモノハ總額ノ半ニモ達シテ居リマセヌ、甚シキニ至リマシテハ、英國政府ノ償還債ヲ取ツテ以テ内債ニ振替ヘ、一時ヲ凌ギタルモノスラアルノデアリマス、而シテ銀行定期預金年中ニ於ケル新規ノ募集ハ二億四千萬圓デアリマシテ、而シテ銀行定期預金ヨリモ高キ日歩二錢、即チ年利七分三厘ヲ以テ辛ウジテ目的ヲ達シタモノモアリマス、然ニ九年度ヨリ凡ソ二倍ノ公債ガ、果シテ十年度ニ於キマシテ順調ニ募集ヲ全ウスルコトガ出來マセウカ、大藏大臣ハ昨年來公債利用範圍ヲ非常ニ擴張セラレムガ爲ニ色々ノ手段ヲ講ゼラレテ居リマスルモノハ、自ラ其募集難ヲ感ジテ豫メ之ニ備ヘタルニアラザルカ、世間一部ノ人ニハ不景氣ニナリマスレバ公債ノ募集ハ容易ナリト云フコトヲ言フ人モアリマスガ、大藏大臣モ之ニ共鳴セラレテ居ルヤウデアリマス、併ナガラ是ハ全ク以テ程度ノ問題ニ過ギナイノデアリマス、大凡ソ資本家ノ投資ニ對スル心理狀態ト云フモノハ如何ト言ヘバ、公債ノ如キ彈力ニ乏シク、而シテ興味ノ薄キモノハ餘リ好ム所デアリマセヌ、現今ノ金融界ハ非常ニ緩漫ヲ極メテ居リマス、資金ハ市場ニ溢ル銀行家ハ多クノ遊資ヲ抱擁シテ居リマス而シテ專ラ有利ナル放資ヲ物色中ノ折柄デアルニ拘ラズ、先月二十二日七千萬圓ノ募集ヲ發表イタシマシタノデアリマス、稍、擡頭ノ機運ヲ辿リツ、アリシ株式市場ハ、之ガ爲ニ昂騰ノ勢ヲ一層阻止サレタヤウナ傾向ガアルノデアリマス、又近時金融緩漫ニ乘ジマシテ、頻々トシテ發表サレル社債ヲ御覽ナサイ、銀行利子ヨリ遙ニ高利ナルニ拘ラズ應募ノ成績甚ダ不良ナルハ、如何ニ投資家ノ心理狀態ヲ窺フニ足ラヌカト思ヒマス、大藏大臣ハ年々我ガ國民ニハ二十億ノ貯蓄ガアルカラ、一十三億ノ募債ハ容易ナリト言ハレマスケレドモ、世界的此大不況ノ慘澹タル財界ノ下ニ於キマシテ、二十億ハサテ措キ十億ノ貯蓄ハ、到底私ハ本年度ニ足ラヌカト思ヒマス、金融緩漫ノ今日ニ於キマシテハ年々七千萬圓ノ募債ハ縱令聊ニセヨ、市場取引ノ上ニ影響ヲ與ヘマシタトセバ、今後募債ノ益、困難ナルコトハ想像ニ難カラヌノデアリマス、假ニ資金ガ益、市場ニ横溢イタシマスル場合ニ於キマシテモ、此遊金ヲ奇貨トシテ公債ニ引上ゲルハ考慮ヲ要スルモノト思ヒマス、先づ以テ宜シク是等ノ遊資ヲ利導シ、事業資金ニ向ハシメ、景氣ノ回復ニ備フルヲ以テ急務ト致スノデアリマス、況ヤ今後金融界ト雖政府者ノ樂觀スルガ如キ現象ヲ呈スルヤ否ヤハ疑問デアリマス、吾人ハ何レノ方面ヨリ觀察イタシマシテモ、本年ノ募集ハ決シテ容易デ

ナイト云フコトヲ信ズルノデアリマス、第八ニハ剩餘金デアリマス、本年度ノ一般會計ニ繰込ミマシタル剩餘金ハ一億九千三百萬圓デアリマシテ、殆ド是ハ日露戰役前ノ總豫算ニ等シイノデゴザイマス、將來ノ財政ヲ考慮セズ、濫リニ剩餘金ヲ費消スルノ不可ナルコトハ、前回本員ノ詳述イタシテ置キマシタ、更ニ尙ホ繰返ス必要ハ認メマセヌ、一時的不確定ノ剩餘金ヲ以チマシテ、一般會計ニ繰入レ、之ヲ經常費ニ充當スルト云フコトハ實ニ危險ナル財政策デアル、十年度ニ於キマシテハ剩餘金ヲ見ルコトハサテ措キマシテ、恐ラク歲入ノ上ニ於キマシテ、多大ノ缺陷ヲ生ズルコトハ疑ノ餘地ガナイノデアリマス、然ラバ窮迫ノ餘リ後年度ニ備ヘテ置イタ九千餘萬圓ノ剩餘金モ、或ハ年内ニ於テ費消スルコトガアリハセヌカト私ハ恐レルノデアリマス、九年度ニ一億七千四百萬圓、十年度ニ約二億ヲ繰入レテ、宜シク辻棲ヲ合セラレタル財政計畫ハ、十年度以後剩餘金ガ皆無ニ至リマシタナラバ、茲ニ破綻ヲ生ズルハ疑ヒヲ容レナイノデアリマス、實ニ財政上危殆ニ瀕セル重大時機デアルト信ズルノデアリマス、大藏大臣ハ豫算ノ編成ニハ一定ノ方式アリ、標準アリト云フコトヲ仰セニナリマスガ、是ハ定メシ前數箇年ノ實蹟ヲ基準ト致シマシテ、之ニ或ハ五分ヲ増シ、或ハ一割ヲ減ズルト云フヤウナ精算方法ヲ指スモノト思ガラ單ニ一定ノ形式ニ拘泥シ、又ハ標準ニ因ハレテ編成スル豫算デアリマスハレマスガ、成程之ヲ日本バカリデナク、外國デモ此例ヲ採用スル國モアルノデアリマス、決シテ是ハ豫算編成上惡イコトハナイト私ハ信ジマスルガ、併ナガラ單ニ一定ノ形式ニ拘泥シ、又ハ標準ニ因ハレテ編成スル豫算デアリマスレバ、別段ニ大財政家タル高橋子爵ヲ要シナイノデアリマス、刀筆ノ吏デモ十分デアラウト思ヒマス、彼ノ戰時中ニ於キマス電信電話等ノ事務ノ澁滯ヲ來タシ、能率著シク低減シテ國民ニ多大ノ迷惑ヲ及ボシタルモ、徒ニ前年ノ形式ニ對シマシテ豫算ヲ切詰メタ結果デアルノデアリマス、即チ此形式ヲ趁ウタルニ於キマシテハ絶望デアラウト思ヒマス、彼ノ戰時中ニ於キマシテモ、然ニ大正十年度ノ豫算モ亦等シク主トシテ此形式ニ準據セルガ如キ觀アルハ吾人ノ大ニ遺憾トスル所デアリマス、租稅收入ニ於キマシテモ前來述ベマシタヤウ所ノ結果ハ徒ニ國民ニ少カラザル所ノ迷惑ヲ及ボシタノデアリマス、然ニ大正六年、七年、八年ノ未會有ナル好況ノ絶頂時代ヤ、其惰力ノ未だ衰ヘザル所ノ九年度ノ實績ヲ以テ、先づ最初ニ反動ノ大影響ヲ受ケナケレバナラヌニ大正六年、七年、八年ノ未會有ナル好況ノ絶頂時代ヤ、其惰力ノ未だ衰ヘザル所ノ運命ノ下ニアル、其大正十年度ヲ律スルト云フコトハ大ナル錯誤デアル、縱シ既往ノ慣例ニ準據スルニ致シマシテモ、前年ト明年トハ大ニ其算定ノ趣ヲ異ニシテ、大々的割引ヲ爲サナケレバナリマセヌノニ、反對ニ各種租稅收入

ノ上ニ歎カラザル割増ヲ行ヒタルガ如キハ、眞ニ沙汰ノ限リデアリマス、政府當局ハ大正七年八年ニハ其大ナル剩餘金ヲ生ジタデハナイカ、九年度ノ實績モ亦豫算ヲ超過シテ居ル實況デアル、十年度モ左程悲觀スルニ及バナイト云フコトヲ仰セニナルカモ知レマセヌガ、彼ト是トハ非常ニ譯ガ違フノデアリマス、七年八年ハ何人モ最早景氣ハ下リ坂デアル、落潮期ト考ヘタモノガ、恰モ外海ニ於ケル低氣壓ノ爲メ却ツテ逆潮ガ漲ツタト云フヤウナ次第デアリマス、事全ク意表ノ外ニ出タノデアリマス、故ニ七年八年ノ財界ノ狀況ト云フモノハ、政府國民共ニ其觀測ヲ誤タノデアリマス、九年ハ又其餘波デアリマス、然ニ今日ハ全ク其趣ヲ異ニシテ居リマス、内ハ昨春以來財界急變シ、益々暗雲ハ濃厚トナリ、外ハ歐米諸國ノ財界ノ動搖ヨリ、東洋各地ノ不況ノ現狀ニ鑑ミマスレバ、毫モ前途樂觀ノ途ヲ見出スコトガ出來ナイノデアリマス、況ヤ不況影響ヲ覗面ニ受ケテ鐵道豫算等ニ大ナル缺陷ヲ生ジ、運賃ヲ引上ゲタデハアリマセヌカ、政府當局ハ勤モスルト財界ハ安定スベシ、恢復スベシト唱ヘマスガ、事實ハ當局者ノ言ヲ裏切リマシテ、日ニ月ニ益、險惡ニ趣キツ、アルノデアリマス、此財界ノ落潮ノ時ニ際シマシテ、絶頂時代ト同一ノ收入ヲ強ヒテ舉ゲムト致シマシタナラバ、其ノ實行難ニ陷ルコトハ火ヲ見ルヨリモ明カデアリマス、財界ノ前途如上ノヤウデアリマス、租稅收入不確實デアリ、公債ノ募集亦容易ナラヌト致シマスレバ、十年度ノ歲計ヲ如何ニ案排スベキヤノ問題ガ起ラナケレバナラヌデアラウト私ハ思ヒマス、十年度ニ於テハ有ユル遭縁ト彌縫ヲ以テ辛ジテ一時ヲ糊塗スルコトガ出來マセウ、併ナガラ其餘殃ハ十一年度以後ノ歲計ノ上ニ激甚ナル影響ヲ及ボシテ、茲ニ財政上ノ危機ヲ將來セムコトハ殆ド疑フ餘地ハナイト思ヒマス、今ヤ財政上危急存亡ノ重大時期、前途ニ迫ラムトシテ居ル今日ハ是レ大改革ヲ施スノ秋デアリマス、未ダ雨フラザルニ牖戸ヲ綢繆スルノ時デアリマス、今ヤ我ガ國民ハ主トシテ我が上院へ深キ期待ヲ屬シテ居リマス、吾人ガ忌憚ナキ所見ヲ述ベマシテ、以テ政府者ニ大々的警告ヲ與ヘ其反省ヲ促スニアラズンバ、或ハ恐ル國民ヲ失望ノ地ニ陥レルノ極度ハ遂ニ我ガ議會政治ヲ疑フニ至ラム、既ニ議會ニ信ヲ置カズトシテ其次ニ來ルモノハ何デゴザイマセウ、私ハ思ウテ茲ニ至レバ實ニ寒心戰慄ノ至リニ堪ヘナイノデアリマス、曩ニ衆議院ノ同憂同感ノ士ガ此豫算ヲ以テ朽木ノ如ク將タ糞土ノ牆ノ如ク、殆ド手ヲ付クルコトガ出來ナイ、政府ニ返付スト試ミタルヲ以テ私ハ頗ル不穩當ノ舉措ナリト信ジタ譯デアリ

マス、然ニ今ニシテ之ヲ思ヒマスレバ又無理カラザル點ノアルコトヲ曉ルノデアルト云フコトヲ主張スルノデアリマス、之ト同時ニ此ノ實行難タル所ノ十年度ノ豫算ニ贊同イタシテ、政府ト共ニ其責任ヲ分擔スルト云フコトハ吾人ノ好マザル所デアリマス、即チ吾人ノ意見ヲ表明イタシテ本豫算ニ贊成スルコトノ出來ザル理由ヲ明カニ致シ、尙ホ終リニ臨ミマシラスノ如ク主張シ、斯ノ如キコトヲ述べムト云ヒマシテ、願クバ或動機ニ依リマシテ我ガ財界ガ世界的不況ノ圈外ニ超然トシテ復活改善セラレ、私等ノ心配ガ全ク杞憂ニ屬シテ、政府ノ豫期セル所ノ收入ガ順調ニ好成績ヲ舉ゲラレムコトヲ、我ガ財政前途ノ爲ニ衷心ヨリ致シテ希望スルモノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 仲小路廉君

〔仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○仲小路廉君 私ハ今朝御報告ニナリマシタ豫算委員長ノ報告ニ贊成ヲ致ス一人デアリマス、即チ大正十年度ノ豫算ニ對シテ贊成ノ意見ヲ申述べタイト思フノデアリマス、私共ハ本豫算ニ贊成ノ意ヲ表スル者デハゴイマスルガ、併ナガラ此ノ豫算案ニ對シマシテ心ヨリ進ンデ之ニ協贊イタスコトガ出來ルカドウカ、此點ニ付マシテハ唯今橋本君ヨリ仰セニナリマシタ如クニ、實ニ大正十年度ノ豫算ハ稀ニ見ル厖大ノ豫算、其費額ハ實ニ巨額ニ瓦ツテ居ルノデアリマス、而シテ其收入ノ見積リ其他ノ點ニ於キマシテ決シテ之ニ對シテ樂觀ヲ許サヌノデアリマス、我ガ財政ノ前途及ビ其ノ一般經濟社會ニ及ボシマス影響ハ、誠ニ憂慮イタスベキモノガ多々アルノデゴザイマス、故ニ我ニハ本豫算ニ協贊ヲ致スニ付マシテハ、實ハ種々ニ考慮ヲ致シ、又躊躇ヲ致シタノデアリマス、併ナガラ顧ミテ本豫算ヲ見マスルニ、其中ニハ我ガ國家ニ取テ重要ナル國防ノ關係、殊ニ國民生活一般國家ノ存立ノ上ニ於テ必要ナル、所謂物價騰貴ノ爲ニ避ケ難イ費額モ包容イタシテ居ルノデアリマス、是等ノ點ヨリ考ヘマスレバ誠ニ遺憾ノコトデハゴザイマスケレドモ、國家ノ進運上必要ナル豫算ハ之ヲ存立ゼシメナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、去ナガラ唯今申シマスル如クニ此豫算ニ對シテ絕對無條件、心ヨリ進ンデ協贊ガ出來ルカト申シマスレバ、ソレハ甚ダ我ニハ苦シムノデアリマス、是ニ於テ本豫算ヲ協贊イタシマスルニ付テ、我ニハ茲ニ附帶ノ決議ヲ致シタイノデアリマス、其決議ノ趣意ハ今朝委員長ヨリ極メテ詳細ニ而モ豫算委員會ニ於

ケル討議ノ狀況ヨリ提出ニ至ルマデノ徑路ニ付マシテ議場ノ光景マデモ手ニ取ル如クニ御説明ニナツタノデゴザイマス、唯私ハ此際其趣旨ヲ明カニ致シテ置キマシテ、深ク政府ノ考慮ヲ仰グコトハ當然ノコトト存ジマス、誠ニ申迄モナイコトデアリマスガ、立憲政治ノ上ニ於テハ、理義ヲ基トシテ總テノ事柄ハ公明正大ヲ必要トスル、之ト同時ニ國家ノ議政機關、行政ノ機關トハ各、其職責ヲ明カニ致シテ、決シテ之ガ濫用ニ瓦ルコトガアッテハ相成ラヌコトト存ジマス、ソレト同時ニ各官吏ヲ始メトシテ總テ公職ニ從事イタシテ居ル者、政務ヲ掌ル者、事務ノ衝ニ當ッテ居リマスモノハ各、其分域ヲ明カニシテ、茲ニ些ノ紛更ヲ來シテ相成ルベキモノデナイ、殊ニ必要ナルハ市町村ヲ始メトシテ各自治團體ニ對シマシテハ、各、其自治ノ機能ヲ發揮セシメテ、他ヨリ或ル威力勢力ノ下ニ之ヲ紛更セシムルコトガアッテハナラヌト存ジマス、斯ノ如クニ國家ノ各種ノ機關ハ各、完全ニ其職責ヲ發揮イタシテ、茲ニ國家ノ綱紀ハ始メテ其完キヲ得ル譯デアラウト存ジマス、然ニ近來ニ至リマシテ實ニ國家ノ綱紀ハ漸ク廢頽ニ傾カムトスル狀況ヲ見ルノデ、一度國家ノ綱紀紊レルニ至レバ良民ハ實ニ塗炭ニ苦シムノデアリマス、又其間ニ各種ノ弊害皆其間ニ胚胎イタシ、漸次助長スル結果ハ國家ニ取ッテ少カラヌ大害ヲ貽スノデアリマス、近來ノ情勢ハ誠ニ悲シムベキコトデアリマスガ、上下各利ヲ征シ私ヲ圖リ、清廉剛毅ノ氣風ハ漸次衰ヘ、義勇奉公ノ氣節將ニ萎靡セムト致シ、一面ニ國防ノ大切ヲ見テ我ミハ之ヲ協贊イタヌニ拘ラズ、萬々一二モ一般ノ人心ハ堅義勇奉公ノ氣節ヲ缺クニ至リマスレバ、此大切ナ國防モ殆ド其用ヲナサナクナル、況ヤ獨リ國防ノミナラズ、國家ノ產業各種ノ事業ノ發達ニ付マシテモ、其堅實ナル發達ヲ期セムトスルニ於キマシテハ、何處マデモ一般ノ人心ハ堅實ニシテ剛毅ノ思想ガナクテハナラヌト存ジマス、是等ノ氣風漸ク地ヲ掃ハムトスルニ至リ、又是等ノ氣節委靡スルコトニナリマシテハ實ニ國家ニ取リテ大患之ニ過グルモノハナイト信ズルノデアリマス、實ニ一般ノ情勢ニ於テ是ホド深憂イタスベキコトハナイト存ジマス、近來東京市ヲ始メ各地方ニ於キマシテ不祥事件ハ續出イタシ、殊ニ最モ憂フベキハ南滿洲地方ニ於ケル事柄デアリマス、併ナガラ我ミハ此際事實ヲ指摘イタス要ハナイト存ジマス、既ニ事ハ司法處分ニモ繫屬ヲ致シテ居ル以上ハ其事柄ハ自ラ司法權ノ發動ニ依リテ是非善惡ハ明瞭ニナルコトト存ジマス、是ハ總理大臣ニ於カレテモ、公明正大ノ處置ヲ執ルト明言ヲ致サレタ、又司法大臣ハ何處マデモ、勇往邁

進ヲシテ必ズ是非善惡ヲ明瞭ニシテ司法權ノ光輝ヲ發揮スルハ此時デアルト明言サレタノデアリマス、私ハ是等ノ言ヲ深ク信ジマスル、此上ハ何卒此時弊ヲ矯正セラレマシテ各種ノ政務ニ當リマシテハ十分ナル釐革ヲ遂ゲラレテ、總テノコトハ公明正大ヲ主トシ、人心ヲシテ倦怠ナカラシムルコトヲ期セラレマスコトガ、唯今ノ狀況ニ於キマシテ最モ大切ト存ジマス、政府ニ於カレマシテモ我ミノ此決議ノ趣旨ニハ嚴正ナル意義ノ包含イタシテ居リマスコトヲ十分御考慮ニナリマシテ、希クハ適切ノ途ニ依テ此時弊ヲ匡救セラレムコトヲ希望イタスノデアリマス、何卒滿場諸君ノ御賛成ヲ得マシテ本案ノ成立セムコトヲ希望イタシマス、茲ニ本案ニ對シテ賛成ノ意ヲ表シテ諸君ノ御賛成ヲ希望イタシマス

〔山脇玄君演壇ニ登ル〕

○山脇玄君 段々委員長ノ御説明、意見、論者ノ御説ヲ聽キマスルト云フト、私ニハ皆反対ト聽エルノデアリマス、私モ此豫算ニ付マシテ一二希望ヲ述べテ見タイト思フノデアリマス、大正十年度ノ歲出總豫算額ハ十五億六千二百餘萬圓、其内軍事費ハ七億六千餘萬圓、總歲出ノ殆ド五割ニ當ッテ居リマス、我國程過大ノ軍事費ヲ要スル國ハ文明諸國ニハ一モ見當ラヌノデアリマス、如何ニ過大ノ艶艶艦船ガアリマシタトテ、之ヲ出動運用スル財力ニ缺ケテ居リマシタナラバ、所謂寶ノ持腐レデ、生命ノ無人形ト同様デアリマスル、成程十年度財政方針ニ於テ説明シテアリマスルヤウニ、交通機關ノ擴張、河川港灣ノ修築等モ財力ノ發展上必要デハアルニ相違アリマセヌ、ケレドモ是ヨリヨリ緊要ナルモノハ生産上海外貿易ノ開拓發展デハアリマスマイカ、何人モ恐ラクハ是ニハ御異議ガ無イト信ジマスル、生產業ノ發展ヲ計リマスルニハ學術、資本、勞働、此三者ノ團結ヲ以テ第一要件ト致シマスル、然ニ我ガ國民ニ於キマシテハ是等三者ノ團結ドコロカ、資本ト勞働トノ聯絡サヘ取レテ居マセヌ、資本モ亦ナカナカ各國ト競争シ得ルダケノ大財團トナツテ居マセヌ、勞働者ノ境遇ハ向上發展ドコロカ、安定ノ位置ニモ達シテ居リマセヌ、勞働者ノ境遇ノ改善ニ付マシテハ、我國ノ如キハ文明各國ノヤウニ官憲ノ壓制時代、個人主義時代、社會政策時代ト云フ順序ヲ經テ居リマセヌ、急轉直果シテサウデアリマスレバ、政府ハ何ヲ措イテモ彼等ノ向上發展ヲ促スト共ニ、速ニ強制的勞働保險ヲ設ケテ、彼等ノ境遇ノ安定ヲ計テヤラネバナリマス、

スマイ、第四十二議會デアッタト思ヒマスルガ、總理大臣ハ華盛頓國際勞働會議ニ派遣シタ委員ノ報告ヲ參酌シテ勞働保險ヲ創定スル積リデアルト言明サレテ居リマス、然ニ今日ニ至リマスマデ何等音沙汰ナイノハ、ドウ云フ譯デアリマセウ、政府ハ勞働問題ノ眞意ヲ徹底的ニ理解サレテ居ナイデハナカラウカト疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、保險ニ續イテ今日無クテハナラナイノハ勞働組合法デアリマスル、其目的ハ保險ト同様デアリマスルガ、是ハ自助的、自立的ニ彼等ノ境遇ヲ安定シ、資本トノ聯絡ヲ取ル屈強ナ方法デアリマセウ、然ニ資本家ニ於キマシテハ是ガ却ツテ彼等ノ勢力ヲ增長シ、益々反抗ノ度ヲ高メル手段デアルト見テ、成ベク之ヲ排斥セムトスル如キハ大ナル誤解デアリマスル、論ヨリ證據英國ナドノ大同盟罷業ガ革命ニ變轉セズニ鎮靜スル狀況ニ見マシテモ明カデアリマスル、政府ハ資本家ノ反對ニ頓著ナク、速ニ組合法ヲ制定シテ、彼等ノ自助的自主的精神ヲ涵養スルコトニ努メルノガ賢キヤリ方デハアリマスマイカ、海外貿易ニ付マシテモ施政方針ニ言明サレテアリマスヤウニ當業者ノ一致協力ハ固ヨリ緊要デアリマスル、聞ク所ニ依リマスルト、英米ナドデハ、歐洲大陸ニ於ケル購買復活問題ニ多大ノ注意ヲ拂フニ至リマシタ、英國ハ政府ト當業者トノ間ニ輸出信用保險ノ計畫ガアルト申シマスル、其大體ノ方法ハ貸賣ヲ行ヒマシテ、其貸倒レトナッタ場合ニハ其損失ノ二割ハ輸出商人ノ負擔ニナリマスルシ、八割ハ政府、保險會社ガ連帶補償ヲナシト申シマスル、國際聯盟理事會ハ同一目的ノ下ニ金證券ト云フモノヲ發行スルト云フコトデゴザイマス、米國輸出金融會社ハ矢張同一目的ヲ以チマシテ盛ニ財界恢復策ヲ講ジテ居ルヤウデアリマスル、然ニ我ガ政府ハ當業者ノ協力團結ヲ力説スルバカリデ、自ラ進ンデ積極的政策ヲ立てヤウトシマセヌノハ、ドウ云フモノデアリマセウカ、我國ノ當業者ハ對外通商ノ訓練ニ乏シク、個々分立ノヤリ方デアリマス、精製品、粗製品、商品ノ不統一ハ申スニ及ビマセヌ、需要地ノ研究ガ甚ダ不足シテ居リマス、其二三ノ例ヲ舉ゲテ見マスルト、露國行ノ「トランク」ノ取手ガ小サクシテ、露人ノ手ヲ入レルコトガ出來ヌ、ソレ故ニ賣行皆無デアルト云フデハアリマセヌカ、日本ノ漆器ハ空氣乾燥セル米國デハ木地ニ却ツテ狂ヒヲ生ジテ、剝ゲテ落チテシマフト云フデハアリマセヌカ、名古屋製ノ「ヴァイオリン」ハ印度洋ヲ通ルト「ワニス」ガ溶ケテ損失ヲ生ズルト申スデハアリマセヌカ、斯ル自己的共倒レ的ナヤリ方デハ今後各國トノ競争ニ堪ヘ得ルデアリマセウカ、甚ダ覺束ナ

イ、斯ル狀況デアルトシマシタナラバ、之ヲ此儘ニ捨テ置ク譯ニハ行キマイ、ドウシテモ根本的ニ改善策ヲ講ゼネバナリマスマイ、ソレナラドウスレバ宜イカト云フニ、一言デ之ヲ蔽ヒマスレバ、政府ト當業者ノ精神改良策ニ歸著スルト思フ、政府ト當業者ノ精神改良策ニ外ナラナイト思ヒマス、兩者ガ、政府ト當業者ガ此精神ニ立脚シテ一致協力事ニ當リマシタナラバ、今日ノ難關ヲ切抜ケ得ルバカリデナク、將來ニ向ツテ海外貿易ニ付テノ國策ヲ樹立スルコトニナルニセズ、公利公益ヲ計ルヤウ心掛ケネバナリマスマイ、兩者ガ、政府ト當業者ガ此精神ニ立脚シテ一致協力事ニ當リマシタナラバ、隣國支那ニ付テ求メバナラナイト思ルト信ジテ疑ハヌノデアリマス、生產原料ノ輸入ハ今後暫ク歐洲米國ナドニ求メルコトハ困難デアリマセウカラ、隣國支那ニ付テ求メバナラナイト思ヒマス、ソニデ政府ハ進ンデ支那ニ向ツテ原料購入ノ便ヲ計ラネバナリマスマイ、政府ハ東洋方面ハ固ヨリ露國、巴爾幹諸島、北歐等ニ向ツテ新販路ノ開拓ニ盡力ヲ致サネバナリマスマイ、新聞ノ報ズル所ニ依リマスト云フト、流石ハ商業ニ銳敏ナル英國デアル、既ニ露國ト通商ヲ開始スル運ビトナリマシタサウデス、伊國、米國、白國、支那等モ著々其歩ヲ進メテ居ルヤウデアリマスル、我國モ遲詩ナガラ今ニ於テ其對策ヲ確立シ、其所望ニ向ツテ邁進セズニハ居ラレマスマイ、若シサウセナンダナラバ徒ニ列國ノ後塵ヲ拜スルニ止マリ、後日臍ヲ噛ムニ至ルヤウニハナリマスマイカ、政府ハ各國ノ需要供給ヲ絶エズ取調ベテ其詳細ヲ當業者ニ周知セシメネバナリマスマイ、茲ニ於テ或ハ政府ハ申サレルカ知レマセヌ、既ニ海外ニ領事モ居ル、今又商務官ヲ設ケルデハナイカ、成程サウデアリマセウ、ケレドモ聞ク所ニ依リマスト、領事ノ是マデノ報告ハ、新聞雜誌ナドノ拔書デアッテ、實地ノ調查ガ甚ダ不完全デアル所カラ、左迄役ニ立タナイトノコトデアリマス、商務官ニ致シマシテモ同様、十數年前ニ一度新設ヲシテ失敗シタ例モアリマスルカラ、一向ドウモ當ニハナラヌト思ヒマス、詰リ經費ノ不足、精神ノ入レ所ガ、間違ツテ居ルカラデアリマスノデ、原料ト販路トハ生產ノ礎デアリマス、柱石デアリマス、是ガ無ケレバ延イテ產業全體ガ成立チマセヌ、產業ガ成立チガ出來マセナシダナラバ日本ハ破滅スルヨリ外ハアリマセヌ、此三箇條ガ差當リ政府ノ協力經營スベキ主要ナル任務、職責デアルト言ツテ宜シイト思ヒマス、然ニ十年度豫算中ニ是等積極的設備ガ現然ト現ハレテ居ラヌヤウデアリマス、想フニ是

レ全ク餘リニ過大ノ財力ヲ軍事費ニ計上セネバナラヌ結果デアルト断ゼザル

ヲ得マセヌ、宜シク政府ハ斯ル世界無比ノ偏重偏輕ノアル財政ヲ整理サレテ、

外ハ列國ノ疑惑ヲ解キ、内ハ財力ノ充實ヲ計ラレテハドウデアリマセウカ、

前論者ハ豫算ノ方針ニ反対ハサレナガラ最後ニ御賛成ニナリマシタガ、私ハ

ドウモ結論ハ前論者トハ違ヒマシテ、斯ル不完全ナ豫算ニハドウモ賛成スル

意思ハ出マセヌカラ、矢張橋本君ニ御同意ヲ申ス譯デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 是ニテ發言ノ通告者ハ終リマシタ……別ニ發言モ無イト認メマスカラ豫算案ニ就テ採決ヲ致サウト存ジマス、御異存ガナケレバ先刻豫算委員長ノ報告セラレマシタ日程第三、第四、第五、豫算案全部ヲ一括シテ問題ト致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 全部原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第六、第七、第八ハ一括シテ委員長ノ報告ヲ煩ハシテ、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第六、第七、第八ハ一括シテ委員長ノ報告ヲ煩ハシテ、御異存ゴザイマセヌカ

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

一大正九年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

一大正九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十年三月二十二日

豫算委員長 子爵前田 利定

貴族院議長公爵德川家達殿
〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕

○子爵前田利定君 只今日程ニ上ボツテ居リマスル 大正九年度歲入歲出總豫算追加外二案ニ付マシテハ、豫算委員會ニ於キマシテハ、是亦衆議院議決案ノ通リニ可決相成リマシタ、本案ノ内容竝ニ數字ニ付マシテハ、先般此演壇ニ於キマシテ大藏大臣ヨリ 詳細ノ御演述ニナリマシタコトデアリマスルカラ、會期切迫ノ折柄之ヲ省略イタシマス、之ヲ要シマスルノニ此豫算諸案ニ載ツテ居リマス事柄ハ、物價騰貴ニ餘儀ナクサレマシタ所ノ人件費、物件費、需要增加ノ爲ノ増加經費デアルノデアリマス、豫算委員會ハ去ル三月二十日並ニ昨二十二日ニ兩度委員會ヲ開キマシテ、是ハ分科ニ移シマセヌデ、總會ニ於テ審議ヲ致シタノデアリマス、此三案ニ付マシテハ何等ノ委員中ヨリ御質問ノ事項ガゴザイマセヌデ、全部前述ノ通り可決ニ相成リマシタ、尙ホ此際申添ヘテ置キマスコトハ、追第二號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、是ハ未ダ質問繼續中デアリマシテ、一括シテ御付託ニナッタノデアリマスルガ、是ダケハ今日此ニ御報告スルコトガ出來ナイノハ甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、併ナガラ不日本案ニ付マシテモ御報告スル時機ガアラウト存ジマス、此段申添ヘテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマス、唯今前田豫算委員長ノ報告セラレマシタ日程第六、第七、第八、豫算案三案トモ一括シテ問題トシ、全部ニ付テ採決ヲ致シマス、御異存ゴザイマセヌカ

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第九、關稅定率法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔左ノ通牒文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

關稅定率法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十年三月二十二日

衆議院議長 奥 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

關稅定率法中改正法律案

關稅定率法中左ノ通改正ス

第二條 從價稅品ハ輸入ノ際ニ於ケル到着價格ニ依リテ課稅ス

第九條 輸入原料品ニシテ命令ヲ以テ指定シタル輸出品ノ製造ニ使用スル

モノニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ免除又ハ拂

戻ヲ爲スコトヲ得

輸入原料品ニシテ亞鉛華、厚〇、二五ミリメートルヲ超エサル亞鉛薄板又

ハ命令ヲ以テ指定シタル肥料ノ製造ニ使用スルモノニハ命令ノ定ムル所

ニ依リ其ノ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ免除又ハ拂戻ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ輸入稅ノ免除ヲ爲ス場合ニ於テハ輸入ノ際稅金ニ相

當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

詐欺其ノ他不正ノ行爲ヲ以テ第一項又ハ第二項ノ拂戻ヲ受ケ又ハ受ケム

トシタル者ハ關稅法第七十五條ノ例ニ依リ處分ス

第十條 船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用スル鐵鋼材、艦裝品、艦裝品部分品、

機關又ハ機關部分品ニシテ命令ヲ以テ指定シタルモノニハ命令ノ定ムル

所ニ依リ其ノ輸入稅ヲ免除スルコトヲ得

別表輸入稅表中左ノ如ク改ム

第二十九號ノ二中「及木藍」ヲ「木藍及甜菜」ニ改ム

第一百十號中「四、五〇」ヲ「一二、〇〇」ニ改ム

第一百十一號中「一、七〇」ヲ「五、〇〇」ニ改ム

第一百四號中「三、四五」ヲ「一二、〇〇」ニ改ム

第一百六十三號中「〇、七〇」ヲ「一、五〇」ニ改ム

第一百六十五號ヲ左ノ如ク改ム

一六五—曹達灰及天然曹達

第一百六十七號中「四、六〇」ヲ「一五、六〇」ニ改ム

第一百七十二號ノ次ニ左ノ如ク加フ

一七二ノ二 安息香酸曹達

同

同

三割五分

第二百十一號中「鹽酸コカイン及」ヲ削ル
第二百十一號ノニノ次ニ左ノ如ク加フ
二二一ノ三 鹽酸コカイン

二百五十九號ノ次ニ左ノ如ク加フ
二五九ノ二 石炭タル、瀝青又ハ土瀝青ノ製品

ニシテ道路修築用ノモノ

第四百十八號中「(白金粉ヲ有スルモノヲ含ム)」ヲ削ル

第四百六十二號第一項ヲ左ノ如ク改ム

一塊及錠(シートバー及テインバ
ーヲ含ム)

甲 銑鐵

乙 スピーゲルアイゼン、フェロマ
ンガニース其ノ他ノ不可鍛性

丙 鐵合金

丙 其ノ他

同號第二項中「每百斤」ヲ「同」ニ、「〇、六〇」ヲ「一割五分」ニ、第三項中「〇、
九〇」ヲ「一割五分」ニ改ム

同號第四項ヲ左ノ如ク改ム

四 板

甲 金屬ヲ鍍セサルモノ

甲ノ一 有紋ノモノ

甲ノ二 波形ノモノ

甲ノ三 其ノ他

イ 厚〇、七ミリメートルヲ

ロ 其ノ他

乙 卯金屬ヲ鍍シタルモノ
(葉鐵
及葉鐵)

乙ノ一 錫鍍シタルモノ (葉鐵

イ 尋常ノモノ

ロ 晶鍍、有紋其ノ他ノモノ

同 同

同 同

同 同

同 同

每百斤

○、一〇

從 價

一割二分

一割五分

一割五分

一割五分

一割五分

同

三割五分

無 稅

乙ノ二 電鍍シタルモノ（波形）
ト否トヲ別タス）

同號第五項ヲ左ノ如ク改ム

五 線

同 同
二 割
一割五分

同 同
二 割
一割五分

甲 金屬ヲ鍍セサルモノ
乙 卑金属ヲ鍍シタルモノ

乙ノ一 電鍍シタルモノ

乙ノ三 其ノ他

同 同
二 割
一割五分

同

同號第六項中「每百斤」ヲ「同」ニ、「一、八五」ヲ「一割五分」ニ、第五項中「從

五〇」ヲ「一割五分」ニ改ム

同號第八項ヲ左ノ如ク改ム

八帶（縫鐵）

同
一割五分

同號第九項中「每百斤」ヲ「同」ニ、「四、一〇」ヲ「一割五分」ニ、「從價」ヲ「同」

ニ、第十項中「每百斤」ヲ「同」ニ、「六、〇〇」ヲ「一割」ニ、第十一項中「一、二〇」ヲ「二割」ニ改ム

同號第十二項ヲ左ノ如ク改ム

十二筒及管（別號ニ掲ケサルモノ）

甲 金屬ヲ鍍セサルモノ

甲ノ一 エルボー及ジョイント
イ 不可鍍性ノモノ
ロ 其ノ他

同
一割五分
每百斤
從價

一、〇〇
一割五分
二 割

每百斤
從價

二 割

乙 卑金属ヲ鍍シタルモノ

イ 鑄タルモノ
ロ 其ノ他

同
一割五分
每百斤
從價

二 割

第四百六十七號中「〇、七〇」ヲ「三、〇〇」ニ、「一、九五」ヲ「三、三〇」ニ改ム

第四百七十七號中「一、二五」ヲ「一、九〇」ニ、「一、五五」ヲ「三、二〇」ニ、「四、五五」ヲ「五、六〇」ニ、「一、四〇」ヲ「一、二〇」ニ、「一、四五」ヲ「一、二〇」ニ改ム

第四百七十九號中「一三、五〇」ヲ「一四、四〇」ニ、「三、七〇」ヲ「四、七〇」ニ改ム

第四百八十二號第一項中「每百斤」ヲ「同」ニ、「一、八五」ヲ「一割五分」ニ、第二項中「一、八〇」ヲ「二割」ニ、第三項中「同」ヲ「每百斤」ニ、「一、五五」ヲ「三、五〇」ニ、第四項中「同」ヲ「從價」ニ、「一、一〇」ヲ「一割五分」ニ、第五項中「從

價」ヲ「同」ニ改ム

第四百八十三號第一項中「每百斤」ヲ「同」ニ、「一、九〇」ヲ「一割五分」ニ改ム

第四百八十四號中「一、九〇」ヲ「一、八〇」ニ改ム

第四百八十五號中「一、九五」ヲ「一、九〇」ニ改ム

第四百八十八號中「同」ヲ「從價」ニ、「一、九五」ヲ「一割五分」ニ改ム

第四百八十九號第一項中「從價」ヲ「同」ニ、第二項中「ギーアリングチエ

ン」ノ下ニ「自轉車用ノモノヲ含ム」ヲ加ヘ「一、〇〇」ヲ「三、八〇」ニ改ム

第四百九十三號中「六、四〇」ヲ「七、六〇」ニ改ム

第四百九十四號中「一二、二〇」ヲ「一二、四〇」ニ改ム

第四百九十六號第一項中「每百斤」ヲ「從價」ニ、「一、五五」ヲ「二割」ニ、第二

項中「四、〇〇」ヲ「二割」ニ、第三項中「同」ヲ「每百斤」ニ、「一二、六〇」ヲ「一

三、七〇」ニ、第四項中「一五、九〇」ヲ「一七、〇〇」ニ、第五項中「一二、一〇

ヲ「二三、三〇」ニ、第六項中「五、一五」ヲ「五、六〇」ニ、第七項中「二七、九〇

ヲ「三三、八〇」ニ、「一三、〇〇」ヲ「一八、九〇」ニ、「九、七〇」ヲ「一五、六〇

ニ、「八、五〇」ヲ「一四、四〇」ニ、第八項中「一二、五〇」ヲ「一四、一〇」ニ、第九項中「二〇、一〇」ヲ「二二、三〇」ニ、「第十項中「四、一〇」ヲ「五、〇〇」ニ、「二、一〇」ヲ「三、六〇」ニ改ム

第四百九十八號中「七、八〇」ヲ「八、二〇」ニ改ム

第四百九十九號中「四、六五」ヲ「五、〇〇」ニ改ム

第五百五號中「五〇、五〇」ヲ「五四、二〇」ニ改ム

第五百六號中「〇、一〇」ヲ「〇、一六」ニ改ム

第五百十六號中「八、八五」ヲ「九、七〇」ニ改ム

第五百二十四號中「一二、七〇」ヲ「一三、六〇」ニ、「一一、〇〇」ヲ「一三、〇〇

ニ、「七、五〇」ヲ「八、五〇」ニ、「五、〇〇」ヲ「六、〇〇」ニ改ム

第五百三十號中「一二、六〇」ヲ「一六、七〇」ニ改ム

第五百六十二號中「一、四〇」ヲ「三、三〇」ニ、「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ、「三、

〇〇」ヲ「五、〇〇」ニ改ム

第五百六十五號中「一六、〇〇」ヲ「一六、六〇」ニ改ム

第五百六十六號中「原動力機」ノ下ニ「及鍵」ヲ加ヘ、「鍵」ヲ削リ「一八、一

〇」ヲ「二一、〇〇」ニ、「三一、四〇」ヲ「三一、九〇」ニ、「九七、一〇」ヲ「九九、

五〇」ニ改ム

第五百六十九號中「三、七〇」ヲ「五、〇〇」ニ改ム

第五百七十號第二項ヲ左ノ如ク改ム

二 ヨルゲードボイラーファーネ
スチュープ

同號第三項ヲ左ノ如ク改ム

三 フランジドボイラーブレート

同 諸
二、四五

四 其ノ他

從 價
四、一〇

二割五分

第五百七十三號中「七、六〇」ヲ「九、〇〇」ニ、「九、二〇」ヲ「一〇、六〇」ニ改

ム
第五百七十四號中「ボータブルスチームエンジン」及スチームロードロー

ラー」ヲ「及ボータブルスチームエンジン」ニ、「五、二〇」ヲ「六、六〇」ニ改メ

同號ノ次ニ左ノ如ク加フ

五七四ノ二 スヂームロードローラー

同 五、九〇

五百八十三號中「四、二〇」ヲ「五、〇〇」ニ、「三、九〇」ヲ「四、七〇」ニ改ム

五百八十五號中「五、〇〇」ヲ「五、九〇」ニ改ム

五百九十八號中「二、四〇」ヲ「二、九〇」ニ改ム

第六百五號中「二八、四〇」ヲ「三六、〇〇」ニ、「一二、五〇」ヲ「一六、〇〇」ニ改ム

第六百十二號第一項丙中「每立方メートル」ヲ削リ「四、二〇」ヲ「無税」ニ改

ム
第六百十九號ノ次ニ左ノ如ク加フ

六一九ノ二 白金又ハ白金鹽類ヲ含ム媒觸劑

無 稅

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 關稅定率法中改正法律案提出ノ理由ヲ簡單ニ

説明ヲ致シマス、本案ノ第一ノ骨子ト致シテ居リマシテコトハ、製鐵竝ニ造船

事業ノ發達ヲ圖ル點デゴザリマシテ、之ニ付マシテハ政府ハ豫ネテ臨時財政

經濟調査會ニ諮詢ヲ致シテ居リマシタガ、最近ニ於テ其答申ヲ得マシタノデ、

ソレ等ヲ斟酌イタシマシテ、鐵ハ銑鐵ヲ除クノ外ハ大體ニ於テ從價一割五分

程度ノ課稅ヲ致スコトト致シ、之ニ伴ヒマシテ鐵ノ製品及ビ機械類等ノ稅率

ノ權衡上幾分ノ引上ゲヲ行ヒマシタ、又造船事業ノ獎勵ニ付マシテハ、嘗テ

ハ造船獎勵法ノ如キ制度ニ依テ獎勵ヲ致シテ居ツタノデアリマスルガ、此度ハ

之ニ加フルニ造船材料ノ輸入稅ヲ免除スルコトト致シタル次第アリマス、

次ニ曹達、亞鉛、其他三種ノ品物ニ付マシテ稅率ノ改正ヲ加ヘテ内地產業ノ

維持獎勵ヲ圖ルコトト致シマシタガ、其結果之ト關係ノアリマスル他ノ事業

ニ好マシカラザル影響ヲ及ボスコトガアリマスカラシテ、其點ニ付テハ特ニ

考慮ヲ拂ヒマシテ、例ヘバ亞鉛ノ如キ一般ニハ輸入稅ヲ引上ゲマシタガ、内

地ニ於テ亞鉛華及ビ亞鉛ノ薄板ヲ製造スル場合ノ原料ト致シテ輸入セラル

モノニ付マシテハ、殊ニ輸入稅ヲ免除又ハ拂戻シヲ爲スコトト致シマシタ、尙

ホ之ニ附隨イタシマシテ現在行ハレテ居リマスル戻稅ノ制度デアリマスル

ガ、是ハ手續上成ベク免稅ノ制度ニ改メル方ガ官民共ニ利便デアルト認メマ

シタノデ、此點ニ付テ改正ヲ加ヘマシタ、又從價稅品ハ從來輸入港ニ到着イ

タシタル時ノ價格ヲ標準トスルコトニナッテ居リマシタガ、貨物ガ輸入港ニ到

着イタシマシタル後ニ實際輸入セラルルニ至ル迄ニハ隨分月日ヲ要スルコト

ガアリマス、其間ニ相場ガ著シク變動スル場合等モアリマシテ、ソレ故ニ成

ベク其貨物ガ實際ニ輸入セラル、時ノ實況ニ依ルヲ適當ト認メマシテ、輸入

手續ヲ爲スニ至リタル時期ヲ標準トシテ、其際ニ於ケル貨物ノ到着價格ニ依

ルコトト改正ヲ致シタノデアリマス、尙ホ委細ハ委員會ニ於テ詳細ニ説明ヲ

致スコトト致シマスガ、何卒速ニ御審議ノ上協賛アラムコトヲ希望イタシマ

ス
○議長(公爵德川家達君) 通告ニ依リマシテ、東鄉男爵ニ質疑ヲ許シマス

〔男爵東鄉安君演壇ニ登ル〕

○男爵東鄉安君 唯今議案ニ上リマシタ關稅定率法ハ當議會ニ於キマシテ提

ツデアルト認メマス、從ツテ私ハ此機會ニ於キマシテ産業政策上是非共當局ノ態度方針ニ付テ承ハッテ置カナケレバナラヌ重要ナ點ニ項ヲ舉ゲテ當局ニ質問イタシタイト思フノデアリマス、第一ノ點ハ本案中ニ掲ゲテアリマス所ノ曹達工業ニ對スル保護ノ點デアリマス、曹達工業ガ化學工業ニ於キマスル位地ノ、如何ニ重要デアルカ重大デナイカト云フコトハ、今更此ニ申上ゲル迄モナイ次第デアルト思ヒマス、此「アルカリ」工業ハ、然ラバ果シテ何ヲ基礎トスルカ、何ガ根本ノ原料デアルカト申シマスレバ、諸君御承知ノ通リ鹽ガ其原料デアリマス、「アルカリ」工業ノ興廢ハ原料タル所ノ鹽ノ供給ノ便否、價ノ高下ニ依テ決スルノデアリマス、然ラバ我國ニ於ケル工業鹽ノ供給ノ狀態ハ如何デアルカ、今日是等ノ原料トシテ用ヒラレル所ノ青島鹽ハ百斤八十九錢ト云フ驚クベキ値段デアルノデアリマス、最近之ガ輸入ノ一便法トシマシテ直接輸入ノ方法ガ講ゼラレ、約七十四錢位デ輸入シ得ル程度ニハナリマシタケレドモ、是ハ今尙ホ非常ニ高價ナモノデアリマス、從ツテ我國ニ於ケル所ノ「アルカリ」工業ガ此點ニ付テ年來非常ナ困難ヲ來シ、經濟上不利益ナ地位ニ立チ、世界ノ曹達市場ニ對シテ十分ナル所ノ競爭力ヲ有シナカッタ云フコトガ是ハ戰時中最モ顯著ニ現ハレタ事實デアリマススカラ、諸君ニ於テモ定メシ御見聞ノコトデアラウト思フノデアリマス、今回政府ハ戰後ノ經營ノ箇條トシマシテ、此曹達工業、殊ニ戰時中勃興シマシタ所ノ「アルカリ」工業ヲ保護スル爲ニ曹達ニ對スル關稅ヲ上ゲマシタノデアリマス、即チ關稅ノ障壁ヲ幾分高クシテ、内地ノ曹達工業ヲ保護スルト云フ政策ヲ執ラレタノデアリマス、是ハ一應御尤ナ考デアリマスルガ、併ナガラ先刻申上ゲマシタ通り曹達工業ノ根本ハ工業鹽ノ供給ノ潤澤デアルト、價格ノ低廉デアルト云ブコトニ屬スルノデアリマスカラ、私ハ此點ヲ根本ヲ改正シナケレバ、假令少シク關稅ヲ上ゲタリシタ所デソレガ餘リ有效ナル保護方法ニハナラヌ、斯ウ思ハレルノデアリマス、又世界ニ於ケル「フラナモン」ノ如キ、亞米利加ノ有力ナル曹達會社ノ如キ、モウ日本ノ國境ヲ一步出マスレバ犇々ト有力ナル商品ガ來テ居ルノデバ彼ノ英國ニ於ケル「フラナモン」ノ如キ、亞米利加ノ有力ナル曹達會社ノデアリマス、デアリマスカラ唯今少シバカリノ關稅ヲ上ゲタ所デ此激甚ナル所ノ競争ニ果シテ對應シ得ルヤ否ヤト云フコトハ深ク疑問トシナケレバナラヌノデアリマス、何故ニ政府ハ此根本ニ蟠ル所ノ問題、即チ工業鹽ヲ安ク供

給スルト云フ所ノ方法ヲ執ラレナカッタノデアルカ、是ガ私ガ質問スル第一點デアリマス、恐ラク政府ハ御答ニナルデアリマセウ、鹽ノ根本政策ニ付テハ我ガ内地ノ所謂十州鹽田ニ於ケル生產品ハ勿論ノコト各植民地、青島、關東州等ノ產出スル所ノ鹽ノ產額、其他ヲ合シテ鹽ニ關スル根本政策ヲ目下臨時經濟調查會ノ議ニ付シテ居ル、從ツテ此結果ヲ見ナケレバ未ダ根本ノ政策ヲ定期スルコトガ出來ナイ、斯ウ御答辯ニナルダラウト思フ、私モ其點ニ付テハ了承イタシマス、併ナガラアノ委員會ガ如何ナル今日マデ審議ノ事實ヲ盡シテ居ツタノデアルカ、鐵其他ノ委員會ハ割合ニ委員諸君ガ勉強シテ今日マデ種種結果ヲ發表サレテ居リマスルガ、鹽ニ付テハ遺憾ナガラ私ハソレ等ノ委員諸君ノ努力ガ甚ダ足ラナイノデハナイカト云フコトヲ疑フノデアリマス、從ツテ財政經濟調查會ノ其委員會ノ「サボル」コトニ依テ我ミガ今日此關稅ヲ高クスルト云フコトノ協議ヲ政府カラ受ケナケレバナラヌ立場ニナツタトスルナラバ、財政經濟調查會ト云フノハ我ミニ曹達ノ負擔ヲサセル、斯ウ云フ風ナコトニナルノデアリマシテ、私ハ此點カラ見マシテモ同委員會ノ甚ダ不成績デアルト云フコトニ付テ深ク遺憾トスルノデアリマス、免ニ角此點ニ付マシテハ私ハ何故ニモット急速ニ鹽ニ對スル根本政策ヲ定メテ而シテ曹達ト云フモノガ關稅ヲ上ゲズトモ内地ノ供給ニ對シテ十分ナル生産額ヲ有スルノミニラズ、更ニ進ンデ海外ニ出シ得ルヤウナ計畫ヲナサラナカッタノデアルカ、此點ヲ伺フノデアリマス、第二點ハ鐵ニ關スル件デアリマス、鐵ノ使用料ガ文明國ニ於ケル所ノ「バロメーター」デアルト云フコトハ是ハ昔カラ申シテ居ル所アル、又鐵ニ關スル問題ガ如何ニ我ミノ經濟生活其他國防上種々ナ點ニ於テ重大ナル關係ヲ有ツテ居ルカト云フコトモ是亦申上ゲルマデモナイコトデアリマス、從ツテ鐵ノ問題ト云フモノハ非常ナ大キナ問題デアル、此大キナ問題ヲ會期切迫ノ今日ニ於テタツタ餘ス所二三日ノ此議會ニ提出セラレルコトハ甚ダ遺憾千萬ダト思フ、實ニ途轍モナイ話ダト信ズルノデアリマス、斯ノ如キ重要ナル案ヲ何故ニモット早ク御出シニナラナカッタノデアルカ、又國民モ左様デアル、斯ノ如キ重大ナルモノニ對シテ何故モット論議シテ囂々ノ說ヲ立テナイノデアルカ、單ニ一法案ヲ貴衆兩院ノ手ニミ委シテ彼等ガ全ク沒交渉デアルト云フコトハ、何等之ヲ目星シキ論議ヲ我ミノ目ニ致サナカッタト云フコトハ如何ニモ是等ガ實際生活ニ沒交渉デアル、無頓著デアルト云フコトヲ私ハ深ク遺憾トスルノデアリマス、ソレハサテ置キ今回提出サレマ

シタ鐵ニ關スル關稅ハ先般臨時經濟調查會ノ特別委員ノ審議セラレタ答申ニ基イテ政府ヨリ御提案ニナツタモノト存ジマスルガ、是ハ要スルニ鐵ニ關スル全政策ノ一片鱗ニ過ギナイノデアリマス、從フテ鐵ニ關スル此關稅ノ問題ヲ審議シ、研究シ、論及スル爲ニハ今日政府ハ如何ナル方針ヲ鐵ニ對シテ御持チニナルノデアルカ、鐵政策ト云フモノハ如何ニ御考ニナツテ居ルデアルカ、是ハ我國ニ於テハ最モ大キナ重大問題デアル、即チ事項ヲ舉ゲテ申シマスルナラバ、我國ニ於ケル所ノ鐵ノ原料ヲ如何ニシテ得ル積リデアルカ、燃料、即チ製鐵ニ要スル所ノ燃料ハ如何ニシテ之ヲ使用スルノデアルカ、又現存シテ居ル所ノ製鐵事業、即チ官營民營此兩者ヲ通ジテ製鐵業ヲ如何ニ按排シ、連繫シ、而シテ助長セシムル積リデアルカト云フヤウナ、種々ナ問題ガアルノデアリマス、是等ノ問題ヲ全般ニ付テ伺ハナケレバ此鐵ニ關スル關稅ト云フモソラ十分論議シ表裏共ニ了解スルコトハ不可能デアラウト思フ、從フテ此ノ會期切迫ノ際ニ拘ラズ私ハ諸君ノ清聽ヲ煩ハシマシテ、此二點ニ付テ政府當局ヨリ御所見ノアル所ヲ承リタイト思フノデアリマス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 產業政策ノコトデアリマスカラシテ私ヨリ御答ヲ致シマス、此「アルカリー」ノ此度稅ヲ増シマスニ付テ其一番ノ本トナルベキ鹽、之ニ付テハ如何ニモ今度高イガ、之ヲ捨テテ置イテハ甚ダ效力ガ乏シイモノデアルガ、之ニ付テハ如何ニスルカト云フ御質問デ、御尤デアリマシテ、丁度御察シノ如ク臨時經濟調查會ニ於キマシテ其會ニ此コトニ付マシテ諸問ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ鹽ノコトニ付マシテハ非常ナル錯雜ナル關係ヲ有フテ居リマシテ、唯一概ニ關東州ナラ關東州ノ鹽ガ安イカラシテ、ソレノミニ依ルト云フ譯ニモ參リマセズ、此鹽ノ製作ニ付テ根本的ニ又改良ヲ致サナケレバ此鹽ニ付テ安クスルト云フコトハ餘程困難ナコトデアリマス、ソレデ經濟調查會ニ於キマシテモ、問題トナツテ居リマスガ、ドウモ事柄ガ餘程錯雜ヲシテ、且ツ重大ナルコトデアリマスカラ、未ダ成案ヲ見ルニ至ラズ、今日デハソレゾレ此鹽ノ產地ニ參フテ尙ホ一層實際ノコトヲ調べ、然ル後ニ決スルト云フコトニナツテ居リマス、未ダニ此コトニ付テハ御諮詢ヲ申ス所迄參ツテ居リマセヌ、併シソレノ決スルノヲ待テ此「アルカリー」税ヲ、然ル後ニスルト云フヨリモ、寧口出來ルダケノモノカラ先ニ決メタガ宜カラウト云フ積リデ、此ノ關稅法案ヲ出シタル次第デアリマス、併シ必ズ

一方ニ付テモ確定的意見ヲ作ラナケレバナラヌコトト考ヘテ居リマス、ソレカラ鐵ノコトデアリマスガ、是ハ如何ニモ產業上、國防上、總テニ付テ必要ナルモノデアリマス、故ニ、何トカシテ矢張内地ニ於テソレゾレ供給ヲ遂ゲルト云フコトノ目的ヲ以チマシテ、ソレゾレ施設ヲシナケレバナラヌコト存ジテ居リマス、丁度戰爭前ニ於キマシテ、誠ニ鐵ノ業ハ微々タルモノデアリマシタガ、大戰爭ノ結果ヲ受ケマシテ、一方ハ需要ノ上ニ付テ一方ハヒドク必要ヲ感ジタ上ニ付マシテ、イロイロ政府ニ於テモ保護ヲ與ヘマシテ、既ニ其銑鐵、鋼材ニ於キマシテ、餘程進ミマシタシ、大正七年ニハ鋼鐵ニ於テ五十四萬噸、銑鐵ニ於テ六十萬噸ト云フモノヲ、内地及ビ朝鮮ニ於テ得ラレル所迄進ンデ參リマシテ、戰前ノ約二倍以上モ進ンダルヤウナル狀態デアリマス、併シ平和克復ニ相成リマシテ、非常ナル鐵ニ打擊ヲ受ケマシテ、今日デハ折角成立チマシタ製鐵業者ニ於テモ、ヒドク困難ヲ感ジテ居ルト云フヤウナ次第デアリマス、ソコディロイロ調査イタシマシタル所ニ依リマスルト、先ヅ内地、朝鮮、關東州ナドニ於キマシテ、五十「パーセント」以上ノ鐵ノ原料ガ埋藏セラレタ調べノ付イタモノガ一億二千萬噸程アルノデアリマス、ソレカラ又三十五「パーセント」以上ノモノハ内地及ビ、此砂鐵ナドヲ加ヘテ見マスルト約三億近クモアルト云フノデアリマシテ、相當ノ日本ニ於テ獨立ヲシ得ルダケノ材料ハアリ得ルノデアリマス、併ナガラ今申上ゲマスル如ク、貧礦ガ多イノデアリマス、ソコデアリマスル故ニ、ドウモ此支那、若クハ南洋方面ニ參リマシテ、矢張原料ヲ取ッテ來テ、サウシテ製鐵ノ業ヲシナケレバナラヌコトニナツテ居リマス、此製鐵ノ事業ニ付マシテモ、今日ノ計畫ヲソレゾレシマシタモノカラ近クノモノヲ考ヘテ見マスルト云フト、大正十二年、十三年、此十三年ノ頃ニナリマスト、今ノ設計ニ付テ段々進ンデ參リマスレバ、鋼鐵ニ於テ百四十萬噸、銑鐵ニ於キマシテ百三十萬噸、此位ハ製鐵シ得ル能力ガアルコトニナツテ居リマス、左様イタシマスレバ、先ヅ日本ニ於テ需要ヲ致シマスル其數量ノ鋼材ニ於テハ、約八割、銑鐵ニ於テ約七割位ノコトハ内地ノ力ニ依テ出來ヤウト云フ見込デアリマス、サウ云フヤウナコトデアリマスカラシテ、ドウシテモ此鐵ノ仕事ナルモノハ生産上ニ國防上カラ成立ノ途ヲ計ラナケレバナリマセヌガ、先ヅ差當リトシテハ、此從價稅一割五歩ト云フ關稅ヲ掛ケテ、一方デハ又内ノ事業ヲ獎勵スルト云フコトニナリ、一方デハ又造船事業ナドニ使ヒマスル鐵ノ獎勵金ヲ與ヘルト云フ如キ

途ニ依テ、内ノ鐵ヲ獎勵シタナラバ、相當ナル年數ノ間ニハ獨立ガ出來ルデ
アラウト云フ見込デ進ミツ、アル次第デアリマス

○内田嘉吉君 唯今議題ニナツテ居リマスル關稅定率法中改正法律案ニ於キ
マシテハ、先程大藏大臣ヨリ説明モアリマシタ通り、造船ニ對スル關稅ノ免
除ヲ御定メニナルト云フコトデアリマス、單純ニ關稅ノ免除ト云フコトノミ
ナラズ、此點ニ付マシテハ、造船ノ獎勵ニモ大ニ關係ノアルコトデアラウト
存ジマス、從前造船獎勵法ガ制定ニナリマシタ際ニハ、關稅ヲ免除スルカ、

○内田嘉吉君 尚ホ簡単ニモウ一言御尋致シマス、唯今私ハ此造船ニ對スル關稅ノ免除ニ依テ造船獎勵ノ效果ヲ奏スルヤ否ヤト云フコトヲ御尋致シマシタガ、ソレニ對シテハ御答ガゴザイマセヌ、何故ニ造船ノ材料ニ對シテ免除スルカ、即チ日本ノ造船事業ノ效果ヲ奏シタイ、造船ノ獎勵ヲシタイト云フニ外ナラヌノデアラウト思フノデゴザイマス、此ノ關稅免除ニ依リマシテ、ドノ位ナ船舶ノ製造ヲナルル御見込デアリマスカ、ソレヲ御答ヲ願ヒタウゴザイマス

〔國務大臣野田卯太郎君演壇ニ登ル〕

イマシテ、結局造船獎勵金ヲ交付スル方ガ效果ガ多イ、斯ウ云フコトデ獎勵金交付ノコトニ相成ツタヤウニ記憶イタシテ居リマス、造船獎勵法ハ戰爭中船舶ノ製造が非常ニ増加イタシマシテ、暫時休止スル意味ヲ以チマシテ、法律ヲ以テ是ガ施行ヲ停止イタシタノデゴザイマスルガ、政府ノ今日ノ御計畫デハ造船獎勵法ハ御實行ニナラヌト云フ御考デアリマスカ、果シテ然ラバ其理由ハ如何デアリマスカ、今回ノ關稅定率法ノ改正ニ依テ造船材料ノ關稅ヲ免除スルコトニ依リマシテ、造船獎勵ノ目的ヲ果シテ達シ得ルト云フ御考デアリマスカ、又聞ク所ニ依リマスレバ、別ニ優良船ノ造船ニ付マシテハ相當ノ保護デモ加ヘラレルヤウナ意見モアルヤウデアリマス、果シテソレニ對シマシテ政府ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居ルノデゴザイマセウカ、單純ニ關稅法ノ改正ニ止マラズ、日本ノ造船事業ニ付マシテハ、非常ニ重大ナ影響ヲ有ツ事業デアリマスルカラ、此點ニ付マシテハ遞信大臣ヨリ篤ト此議場ニ御説明アラムコトヲ希望イタシマス

國務大臣野田卯太郎君演壇ニ登ル

○國務大臣(野田卯太郎君)　内田君ニ御答シマス、造船獎勵ヲスルカセヌカ
ト云フ第一ノ御尋デゴザイマスガ、是ハ御承知ノ通り戦争中ニ既ニ停止ニ
ナツテ居リマシタ、ソレガ續イテ法律ハ消滅シタ次第ニナツテ居ツタ、其續キデ
更ニ今日財政上カラ考ヘマシテ、造船ノ獎勵ハシナイ積リデゴザイマスガ、
此鐵ノ輸入稅ヲ免除シテ造船ノ獎勵ヲシタイト斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、
優良船ノコトニナリマシテハ、是ハ特別ノ問題デアリマス、其優良船ノ必要
ヲ感ズル時ハ或ハ何カノ形ヲ以テ當局ハ其事モ致サウト思ツテ居リマスガ、何
等今日優良船ヲ獎勵シテ造ラウト云フ考ヲ持ツテ居リマセヌ、其必要ヲ感ジタ
時ノ問題トシテ考ヘテ居リマス

○國務大臣（野田卯太郎君）念ノ爲ニ確メテ置キマスガ、ドレ程ノ造船ヲ造ルト云ウテ目下ドレ程ノ造船ヲ造ラネバナラヌト云フコトハ思ツラ居リマセヌガ、ドウ云フ意味デセウ

ニ於テドレ程ノ船舶ヲ造リタイト云フ御考デアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○國務大臣（野田卯太郎君）御答シマス、今日ハ考ヘテ居リマセヌ、今日三百萬噸ハアリマセヌガ、二百六十四五萬噸ゴザイマス、此船舶ガドナタカノ演説ニモアリマシタ如ク、繫船センナラスト云フヤウナ場合ニナツテ居ル、又船舶ヲ賣ラムトシテモ、日本ガ一番高イデセウ、外國ガ安いデス、ソレデ内田君ハ今カラ日本ノ船舶ハ五百萬噸ニナスカ、四百萬噸マデ進メルカ、或ハ三百五十萬噸位要ル積リカト云フ御尋デヤラウト思フ、私が推測スルノニ……政府ハデス、八八艦隊トカ何トカ云フヤウニ造船ヲ何百萬噸マデ爲サナケレバナラヌトカ何トカ云フコトハ、今日ノ所考ヘテ居リマセヌ、目下船舶ヲ如何ニシテ使用セシムルカト云フコトニ心配シテ居ル位デアリマス

○内田嘉吉君 御説明ガ少々要領ヲ得マセヌノデ、重ネテ尙ホ御尋致シマス、唯今ハ日本ノ船舶ハ三百何萬噸アツテ、ソレヲ繫船ヲサセナケレバナラヌヤウナ次第デアルカラ、此改正ニ依テドレダケノ船ヲ造ルカト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラナイト云フ御話デゴザイマシタガ、サウ致シマスレバ、或ハ造船獎勵ヲ實行シテ關稅ノ免除ヲ致シマシテ、船ヲ唯今造ラセル必要ガナインデアル、從ツテ此改正法中ニ其關稅免除ノ規定ヲ御設ケニナル必要ハナイ、寧ロ是ハモウ暫ク御研究ニナツテ、サウシテ果シテ前ノ法律ノヤウニ造船獎勵法ヲ以テ造船ヲ獎勵スル方ガ宜イカ、又唯今ノ提案ノヤウニ關稅免除ノコトヲ取計フガ宜イカ、ソレヲ御研究ニナル方ガ宜シクハナイノデアリマスカ、

何故ニ今日必要デナイノニ此ノ造船材料ノ免除ヲ御提案ニナリマスカ、此理由ガ分ラナイノデアリマス、ソレヲ御説明ヲ願ヒタウゴザイマス

〔國務大臣野田卯太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(野田卯太郎君) 今日其船ヲ造ルニ政府ガ計畫ガナケレバ補助ハ無用デアル、造船材料ノ關稅免除ハ無用デアル、一隻造ッテモ稅ノ掛ルノト掛

ラヌノトハ獎勵ニナルコトハ申上グル迄モナイ話デ、今政府ガ何百萬噸マデ之ヲ造ルト云フ豫想ガナイカラ、稅ハ免除スルコトハ要ラヌチャナイカト云フコトハ、一向私ハ分ラヌノデス、海軍ノヤウニ豫算デモ取ッテ船ヲ造ルト云フナラバ、政府ニサウ云フ責任ガアルトカ何トカ言ハルルケレドモ、御承知ノ通リ此造船ト云フモノハ民間ノ事業デス、鐵ノ獎勵ヲスルナラバ鐵ハドレダケ造ルカ、又或ル品物ノ免稅ヲ定ムル時ニハ何程之ヲ入ルルカト云フヤウナ計畫ガナケレバ此關稅ヲ決メルコトガナラヌト云フ理窟ハ私ハ少シモナイト思フ、内田君ノ御尋ハ分ラヌト却ツテ思ウテ居ルノデス、是ダケ……

○内田嘉吉君 甚ダ恐縮デゴザイマスガ、私ニハ少シモ分リマセヌ、恐ラクハ滿場ノ諸君ニモ御理解相成ラヌト思フ、何トナレバ先程遞信大臣ハ唯今ノ海運界ハ船ヲ繫イデ居ル位デアルカラ造船ヲスル必要ガナイノデアリマス、ドノ位船ヲ造ルカト云フコトハ考ヘナイト云フ仰セガアツタノデアリマス、果シテ左様デアリマスルナラバ何モ今急イデ此ノ會期切迫ノ際ニ關稅定率法中改正法律案ヲ出シテ、サウシテ造船ノ材料ニ對スル關稅免除ヲ御計ヒニナル必要ガナイデハナイカ、斯ウ云フ御尋ヲシタノデアリマス、併ナガラ幾ラ御尋ヲシマシテモ、顧ミテ他ヲ言フト云フ御答デアリマシテハ、要領ヲ結局得マセヌノデアリマスカラ、是デ切ツテ置キマス

〔國務大臣野田卯太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(野田卯太郎君) 尚ホ一言申上ゲテ置キマス、私ノ言葉ガ惡カッタカモ知レヌ、抑、此問題ハドレダケ船ヲ造ルカト、斯ウ云フ御尋デアツタカラ、考ヘテ居リマセヌ、ト云フモノハ、今日ハ此船ガ動キガ出來ズシテ苦心ヲセネバナラヌヤウナ場合デアルカラ、考ヘテ居リマセヌ、又是ガ有事ノ日ト云フ時ハデス、サウ云フ場合モアラウト思ツテ居リマスルケレドモ、今日ハ考ヘテ居リマセヌ、唯ソレダケヲ取ッテ免稅ハ要セヌチャナイカト仰シヤルノハ少々酷イデヤラウト思ヒマス、内田君ニシテ、今日船ヲ何程造ラナケレバナラヌト云フ御尋ニナルノハ、私ハ酷イト思フ、今日ハ考ヘテ居リマセヌ、

二百六十萬噸ノ船ガ繫ガナケレバナラヌヤウナ時代デアリマス、賣ラムトスレバ他ガ安ウゴザイマスカラ、斯ウ云フ意味デ御話ヲシタノデアリマス、今船ヲ造ル必要ガナイカラ免稅シテ置クコトハ要セヌチャナイカト云フ御話ハ、私ハ酷イト思フカラ、サウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマスカラ、ドウゾ惡シカラズ……

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ此法案ハ此議會中デ唯一ノ積極的法案デアラウト思ヒマス、戰後ノ今日最モ必要ト思ヒマス、是非成立ヲ希望スルノデゴザイマスガ、如何ニモ會期ガ切迫ヲ致シ、而シテ此法案ニ付マシテハ、専門的知識ヲ要スルノデアリマシテ、餘程質問ニモ時間ヲ要スルコトト考ヘマス、政府ニ於テハ會期ヲ多少延長ナサルト云フ御考ガアリマセウカ、チヨツト伺ツテ置キマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 唯今阪谷君ヨリ會期ヲ延長スルカ、シナイカト云フ御尋デアリマスガ、會期ハ固ヨリ必要ノ場合ニ於テハ延長ヲ致サナケレバナラヌコトハ當然デアリマスガ、併シ今日尚ホ相當ノ審査ヲ仰グノニ……法案ニ依テハ固ヨリ達ヒマスケレドモ、時モアリマセウト考ヘマス、愈御審査ガ終ラズシテ尚ホ幾日カ之ヲ延長スレバ、審査ハ結了スルト云フ場合デアリマスレバ、是ハ延長スルヨリ外仕方ガアリマセヌ、併シ左様ナル場合ニ到著イタサヌ限りハ、成ベク延長シナイデ會期ヲ終リタイト考ヘルノデアリマス、又此關稅法ニ付テモ、成程段々會期モ切迫イタシタ場合ニ提出シタノハ遺憾ノ次第デアリマスケレドモ、隨分此鐵道並ニ造船ノコトニ付テハ、財政經濟調査會ニ於テモ、相當ニ時ヲ費シテ調ベタノデアリマシテ、其結果ニ依テ此法案ヲ産ミ出スノニ又多少ノ時ヲ要シテ自然遲レタノデアリマス、併シ委員會トナリマスレバ、或ハ御必要ガアレバ、財政經濟調査會ニ於テ餘程精シク調べマシタカラ、是等ノ材料ヲ提出スルコトモ出來マセウ、兎モ角モ重大ナル問題デアリマシテ、相當ノ知識經驗ノアル方々ガ御調查ニナリマシタナラバ、サウ長時日ヲ要セズシテ、何レカニ御決定ガ出來ルモノデアルマイカト思フノデアリマス、會期ヲ延長スル、シナイニ付テ、御答ヲ致ス旁、此コトヲ申シテ置ク次第デアリマス

○淺田德則君 此ノ關稅定率法中改正案ノ特別委員ノ數ハ十五名トシ、其氏名ハ議長ニ於テ指名セラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 淺田君ノ本案ノ特別委員ノ數ヲ十五名トシ、其委員ノ選定ハ議長ニ一任スルト云フ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

關稅定率法中改正法律案特別委員

伯爵柳澤保惠君	服部一三君	子爵前田利定君
男爵村上敬次郎君	黒岡帶刀君	荒井賢太郎君
男爵小早川四郎君	男爵船越光之丞君	男爵赤松範一君
男爵鄉誠之助君	加藤恆忠君	菅原通敬君
石橋謹二君	佐藤傳兵衛君	成清信愛君

○議長(公爵德川家達君) 日程第十、製鐵業獎勵法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十年三月二十二日

衆議院議長 奥繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

製鐵業獎勵法中改正法律案

第四條中「低燒銑鐵製造事業」ノ下ニ「及電氣製鐵事業」ヲ加フ

第七條ノ二 帝國內ニ於テ製造シタル鋼材カ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用セ

ラレタルトキハ政府ハ其ノ鋼材ノ製造者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得

第七條ノ三 詐欺ノ行爲ヲ以テ前條ノ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ金額ヲ償還セシム

前項ノ規定ニ依ル償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際電氣製鐵事業ヲ營ム者ニ付テハ第九條乃至第十一條ノ規定ヲ準用ス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 此改正案ノ要點ハ電氣製鐵事業ニ對シマスル免稅範圍ノ擴張ト、並ニ内地產ノ造船用鋼材ニ對スル獎勵金ヲ支給スルト云

フ、此二點デアリマス、第一ノ電氣製鐵事業ハ我國ニ於キマシテハ最近ノ發達ニ係ツテ居リマシテ、比較的小規模ノモノヲ以テ事業ノ經營ヲ爲スコトガ出

來ルノミナラズ、我國ニ於キマシテハ豐富ナル水力電氣ヲ使用シテ、石炭ノ節約ヲ圖リ得ルモノデアリマスルカラシテ、特ニ獎勵ノ値ガアルト認メマシタノデアリマス、故ニ財政調査會ノ決議モ酌量イタシマシテ、是マデ免稅シテ居リマスル低燒銑鐵ト同様、年產額二千五百噸以上ノ設備ヲ爲ス其會社ニ對シマシテハ、免稅ヲ行ハムトスルノデアリマス、第二ハ造船用ノ鋼材ニ付マシテハ、關稅定率法ノ改正ニ依リマシテ、其造船ニ用ヒマス鋼材ノ輸入稅ヲ免除スルコトニ相成リマシタ、ソレデ是ト權衡ヲ得セシムル爲ニ、内地デ製造イタシマスル鐵材ヲ造船ニ使用イタシマスル時ニ對シマシテハ、其使用シタ者ニ對シマシテ獎勵金ヲ與ヘムトスルノデアリマス、ソレハ丁度外國カラ參リマスル鋼材ニ付テ免稅ヲ致シマスルカラシテ、丁度其免稅ニ相應シタルモノヲ、内地ノ鋼鐵ヲ用フレバ獎勵金ヲ與ヘヤウト云フ精神デゴザイマス、此ニツガ要點ニナッテ居リマス、ドウカ御贊成アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質疑モ、御發言モナイト認メマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

製鐵業獎勵法中改正法律案特別委員

伯爵堀田正恒君 子爵西大路吉光君 淺田德則君

男爵斯波忠三郎君 男爵藤堂高成君 男爵島津健之助君

今井五介君 近岡理三郎君 秋山源兵衛君

○議長(公爵德川家達君) 日程第十一、第十二、第十三ハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ委員長ノ報告ハ三案束ネテ煩ハシタイト考ヘマス、御異存ゴ

「賛成」ト呼フ者アリ】

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十一、會計法改正法律案、第十二、明治三十九年法律第三十四號中改正法律案、第十三、臨時國庫證券法中改正法律案、

政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、林伯爵

會計法改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正十年三月二十二日

右特別委員長

伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

第十條

豫備金ヲ以テ支辨シタルモノハ其ノ第一豫備金支出ニ係ルモノハ

年度經過後其ノ第二豫備金支出ニ係ルモノハ次ノ常會ニ於テ帝國議會ニ

提出シ其ノ承諾ヲ求ムルコトヲ要ス

第三十一條 政府ニ於テ賣買貸借請負其ノ他ノ契約ヲ爲サムトスルトキハ

勅令ヲ以テ定メタル場合ヲ除クノ外總テ公告シテ競爭ニ付スヘン

國務大臣前項ノ方法ニ依リ契約ヲ爲スヲ不利ト認ムル場合ニ於テハ指名競争ニ付シ又ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ不動產賣拂ニ付テハ此ノ限り任ラス

〔特別委員ノ修正ニ係ル部分ノミナ印刷ス
小字ハ修正文、ハ同削除ノ符號ナリ〕

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十年三月二十二日

右特別委員長

伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

○

伯爵林博太郎君 唯今日程ニ上リマシタ會計法改正法律案外二件ノ委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス、一、會計法改正法律案、此改正ノ主ナル點ヲ簡

單ニ申上ダマス、一、從來政府ノ金ヲ金庫制度ニ依リマシテ日本銀行ニ保管シテアリマシタ、之ヲ政府ノ財政ト一般ノ金融トノ關係ニ鑑ミマシテ今回預金制度ニ改メルト云フコトニ相成リマシタ、即チ此改正法ノ第五條デアリマス、

第二ハ、第二豫備金支出ニ關スル事後承諾ト云フコトノ提出時期ヲ繰上ダタ點デアリマス、第一豫備金ノ支出ハ是ハ總テ豫算項目ニ掲ゲテアルモノデアッテ、其不足ニ對シマシテ補充スルト云フモノデアリマスルカラ、從前ノ通りニ此ノ年度經過後ノ帝國議會ニ提出スルト云フコトニ致シマシタ、此ニ第二豫備金ト云フコトヲ案出シテ、第二豫備金ノ支出ノ性質ハ是ハ第一豫備金トハ全然異ッテ居ル、全ク豫算外ノモノニナッテ居ル、此故ニ成ベク年度ノ經過ヲ待タナイデ最近ノ常會、即チ臨時議會デナイ帝國議會ニ提出シテ承諾ヲ求メルト云フコトニナッタノガ第二ノ改正ノ點デアリマス

〔副議長候爵黒田長成君議長席ニ著ク〕
即チ第十條デアリマス、三、決算提出時期ノ短縮、從來ハ翌々年ニナラナケ

本案ハ原案ノ通可決スヘキモノナリトス

明治三十九年法律第三十四號中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十年三月二十二日

右特別委員長

伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十年三月二十二日

右特別委員長

レバ決算ガ出ナクテ我ニ議員トシテモ隨分之ニ付テハ色ニ困難ヲ感ジタノデアリマスルガ、今回ハ會計検査院ノ制度ヲ改正シマシテ翌年ノ議會ニ提出スルト云フ敏捷ナ方法ヲ執ルコトニ改正シタ點デアリマス、四、隨意契約ト云フコトヲ加ヘタ點デアル、從來ハ競爭入札ト云フコトノミデ以テヤッテ居ツタノデアリマスルガ、此ノ競爭入札ト云フ點ニ付テハ隨分弊害ガ多イノデアリマスルカラシテ、少シク之ニ融通ノ途ヲ講ジタラ宜カラウ、却ツテ競爭入札ノ規定ニ依ル爲ニ、時ニハ國家ノ損失ヲ自然招クト云フコトデアル、此故ニ原則ハ競爭入札デアルケレドモ、此弊害ヲ防グ爲ニ各省大臣ハ之ヲ不利ト認メタ際ニハ、指名競爭若クハ隨意契約ニ依ルコトガ出來ルト云フヤウニ直シタノデアリマス、即チ三十一條デアリマス、五、時效ニ關シマシテハ從來ノ地位ヲ變更シマシテ、其ノ甚ダ不備ナル點ヲ補充シタノデアリマス、成ベク民法ノ規定ニ依ルト云フコトニ改メタ點デアリマス、六、日本銀行ハ此ノ國庫金出納、國債事務、政府ノ有價證券取扱ニ關シテ總テ會計検査院ノ検査ヲ受ケルト云フ規定ヲ設ケタノデアリマス、デ此預金制度採用ノ結果ト致シマシテ日本銀行ノ賠償責任ト云フモノガ從來ト違ツテ民事上ノ關係ニ變ツタノデアリマス、會計検査院ハ日本銀行ノ検査ヲ致シマスケレドモ、若シモ問題ガ起リ事ガ起ツタ際ニハ是ハ雙方民法關係ノ決定ニ待ツコトニ相成ツタ次第デアリマス、七ハ第十一條ノコトデアリマス、十一條ニ「政府ハ豫算ニ定ムルモノ及特ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タルモノヲ除クノ外災害事變其ノ他避クベカラザル事由アル場合ニ於テハ翌年度ニ瓦ル契約ヲ締結スルコトヲ得」ト云フコ

依リ契約ヲ爲スヲ不利ト認ムル場合ニ於テハ指名競争ニ付シ又ハ隨意契約ニ
依ルコトヲ得但シ不動産賣拂ニ付テハ此ノ限ニ在ラス」先ホド申上ゲマシタ
自由ノ此競争ニ依ラナイデ、其他ノ指名競争竝ニ隨意契約ニ依ルコトガ出來
ルト云フコトハ、隨分是ハ自由裁量ニ依ルコトデアッテ濫用ノ源ニナリハシナ
イカ、國務大臣其人ニモ依リマスルケレドモ、此規定アルガ爲ニ却ッテ濫用ヲ
ナル之ガ内規ヲ作リマシテ、之ニ依テ各國務大臣ガソレヲ標準トシテ取計フ
ト云フコトニスルコト、二、若シ此内規ニ依ルコトガ不利デアルト云フ際ガ
アレバ是ハ他ニモ例ガアルガ當該大臣ト大藏大臣トガ能ク相談ヲシテ之ニ對
シテ定メルト云フ内規ヲ作ル、即チ一ハ一般ノ内規、二ハ特殊ノ内規、之ニ依
リマシテ濫用ノ起ラヌヤウ、餘リ自由裁量ニ陷ラナイヤウニ統一ヲ圖ル方法
ヲ講ズルノデアルト云フコトヲ確メ得タノデアリマス、討論ノ際ニモ相當ニ
意見ハ出タノデアリマスルガ、是ハ省略ヲ致シマス、是レニ修正ノ動議ガ出タ
ノデアリマス、其ノ修正ノ動議ハ大體二ツノ點ニ歸著スルノデアリマス、ソレ
ハ第十條ニアリマスル所ノ「豫備金ヲ以テ支辨シタルモノハ其ノ第一豫備金
支出ニ係ルモノハ年度經過後其ノ第二豫備金支出ニ係ルモノハ次ノ常會ニ於
テ帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルコトヲ要ス」ト斯クリアリマス文字ノ中
デ「豫備金ヲ以テ支辨シタルモノハ」ト云フ所ノ下ノ「其ノ第一豫備金」云々カ
ラ丁度「豫備金支出ニ係ルモノハ」迄ヲ削リマシテ、サウシテ行カウト云フノ
ガ修正ノ一つノ要點、モウ一つハ此十條ノ中ノ「次ノ常會ニ於テ」トアルヲ「次

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕
即チ約五百萬圓以内ノ金ノコトデアリマスルガ、從來ハ例ヘバ三月ノ末ニ遞信
省ガ燒ケルト云フヤウナコトガアレバ、ソレハ追加豫算デ出スト云フコトニ
ナツテ居リマシタ、之ヲ恰モ今回十一條デ第三豫備金ト云フヤウナ風ノ款ノア
ル所ノ規定ガ出來マシテ、先ヅ裁量ニ依テ五百萬圓以内ノ金ヲ出スコトガ出
來ルト云フ融通ノ利イタ箇條ガ加ツタ次第デアリマス、大體此改正ノ骨子ト云
フモノハ其邊ノモノデアルト考ヘマス、精シイコトハ此速記録ヲ御覽ヲ願ヒ
マス、質問應答ハ隨分是ハ回數ヲ重ネテ致シタノデアリマスルガ、是モ省略
ヲ致シテ置キマス、デ討論ニ這入リマシテ一委員カラシテ此三十一條ノ第二
項ニ付マシテ總理大臣ニ質疑ヲ致シタノデアリマス、「國務大臣前項ノ方法ニ

徹底シナイカラシテ之ヲニツニ分ッタ方ガ宜イト云フ理由ニ依テ、此修正案ガ提出サレタノデアリマス、其動議ガ提出サレタノデアリマス、之ニ付テハ贊モアルコトデアリマスカラ、私ハ却テ省略シテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマス、探決イタシマシテ、其結果ハ四ニ付ニ多數ニ依リマシテ、修正案ガ可決ニ相成リマシタ次第デアリマス、此案ニ付マシテハ希望ガ出テ居リマス、第十一條即チ政府豫算ニ定ムルモノ及ビ特ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タルモノヲ除クノ外、災害事變其他避クベカラザル事由アル場合ニ於テハ翌年度ニ於テ契約ヲ締結スルコトヲ得、是ハ隨分國務大臣ノ遣リ方ニ依テハ不都合ナ弊ヲ生ジ易イノデアル、動モスレバ憲法ニ違反シ議會ノ協賛權ヲ侵スヤウナコトガアリ得ルノデアルカラシテ、本條ノ適用ニ付テハ、十分考慮注意シテ然ルベシト云フコトガ一ツデアリマス、ソレカラ、會計法ノ改正ノ結果トシテ日本銀行ノ負擔ガ非常ニ輕クナル譯デアル、此故ニ日本銀行ハ義務トシテ其餘力ノ綽々タル所ヲ以テ、一般經濟界ノ爲ニ、大ニ努力シテ貰ヒタイト云フ希望ガ出マシテ、是ハ特別委員會ノ一致ノ決議ヲ以テ希望ガ成立タ次第デアリマス、以上ガ此會計法ニ付マシテノ報告デゴザイマス、次ハ明治三十九年法律第四號中改正法律案、此委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス、是ハ會計法ノ改正ニ伴ヒマシテ、大藏省證券條例ヲ廢止スルト云フコトニ相成ッタノデアリマス、元來三十九年法律第三十四號ト云フモノハ國債ニ關スル法律デアルノデアリマス、其要領ヲ簡單ニ申シマスレバ、一、第二條ニ於キマシテ、國債ニ對シテハ無記名利札附證券ヲ發行ストアルノデアリマス、從來デモ割引債券トカ、或ハ無利子債券ト云フモノガ發行サレテ居ルノデアル、併シ第二條ノ爲ニ恰モ割引債券、無利子債券ト云フモノハ、國債デハナイヤウナ感ガアッタノデアリマス、此際改正ヲ致シマシテ、之ヲ包含シテ、序ニ此利札附ト云フモノヲ取除キ、割引債券モ無利子債券モ包含スルヤウニ、廣く規定ヲ定メタト云フコトガ改正案ノ第一、二ハ國債ノ登錄、即チ登錄償却ニ付マシテ、一率ニ一箇月間停止トナツテ居リマスノヲ事務ノ敏捷如何ニ依テ二日デモ一週間デモ一箇月以内ト云フコトニ改メタノデアリマス、三割引ノ方法デ發行シタ國債ノ消滅事項ハ五年ト致シタノデアリマス、併シ是ハ普通ハ一年以内ニヤツテ居ルノデアリマス、四、大藏省證券條例ヲ廢止スル、先程申シマシタ通り、廢止ト云フコトニ相成ッタト云フコトハ、法律第三十四號中ノ改正ノ最モ

が提出サレタノデアリマス、其動議ガ提出サレタノデアリマス、之ニ付テハ贊成モアリマシタシ、又反対意見モ述ベラレタノデアリマスガ、是ハ後ニ演説モアルコトデアリマスカラ、私ハ却ツテ省略シテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマス、採決イタシマシテ、其結果ハ四ニ付二ノ多數ニ依リマシテ、修正案ガ可決ニ相成リマシタ次第デアリマス、此案ニ付マシテハ希望ガ出テ居リマス、第十一條即チ政府豫算ニ定ムルモノ及ビ特ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タルモノヲ除クノ外、災害事變其他避クベカラザル事由アル場合ニ於テハ翌年度ニ於テ契約ヲ締結スルコトヲ得、是ハ隨分國務大臣ノ遣リ方ニ依テハ不都合ナ弊ヲ生ジ易イノデアル、動モスレバ憲法ニ違反シ議會ノ協賛權ヲ侵スヤウナコトガアリ得ルノデアルカラシテ、本條ノ適用ニ付テハ、十分考慮注意シテ然ルベシト云フコトガ一ツデアリマス、ソレカラ、會計法ノ改正ノ結果トシテ日本銀行ノ負擔ガ非常ニ輕クナル譯デアル、此故ニ日本銀行ハ義務トシテ其餘

主ナル要領デアリマス、是ハ討論採決ノ結果全會一致ヲ以テ原案通り可決ニ相成リマシタ、次ハ臨時國庫證券法中改正法律案、此委員會ノ經過ヲ終リニ御報告イタシマス、是ハ御手許ニアリマス法律案ノ中ニアル通リ、第三條ガ除カレタト云フ簡單ナ案デアリマス、第三條ト云フモノハドウ云フモノデアリマスカト云フト、臨時國庫證券割引ノ方法ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得トアル、然ニ是ハ唯今ノ三十九年ノ法律第三十四號ノ法律ノ中ニ此方ノ規定ガ出來マシタカラ、茲デ無用ナモノニナリマシタ、故ニ之ヲ除イタ、其他二項トシテ「前項ノ臨時國庫證券ニ關シマシテハ、大藏省證券條例第七號第四條、第二號第五條以下ノ規定ヲ準用ス」トアルノデアリマスガ、此臨時國庫證券ニ關シテ、先程申シタ通リ大藏省證券條例ト云フモノガ御廢止ニナリマシタ、一項モ二項モ無用ノ長物ニナリマシタ、依テ是ハ討論採決ノ結果全會一致ヲ以テ可決ニ相成ツタ次第アリマス、此段簡單ニ委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス

力ノ綽々タル所ヲ以テ、一般經濟界ノ爲ニ、大ニ努力シテ貰ヒタイト云フ希望ガ出マシテ、是ハ特別委員會ノ一致ノ決議ヲ以テ希望ガ成立ッタ次第デアリマス、以上ガ此會計法ニ付マシテノ報告デゴザイマス、次ハ明治三十九年法律第四號中改正法律案、此委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス、是ハ會計法ノ

〔江木翼君發言ノ許可ヲ求ム〕
○議長(公爵徳川家達君) 江木君ハ……
○江木翼君 唯今委員長ノ報告ニ關聯イタシテ、委員長ニ質問ヲ致シタイト
思ヒマス

改正ニ伴ヒマシテ、大藏省證券條例ヲ廢止スルト云フコトニ相成シタノデアリマス、元來三十九年法律第三十四號ト云フモノハ國債ニ關スル法律デアルノデアリマス、其要領ヲ簡單ニ申シマスレバ、一、第二條ニ於キマシテ、國債ニ對シテハ無記名利札附證券ヲ發行ストアルノデアリマス、從來デモ割引債券トカ、或ハ無利子債券ト云フモノガ發行サレテ居ルノデアル、併シ第二條

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス
○江木翼君 唯今會計法改正法律案ノ結果ニ付テ御報告ノ際ニ、四對二ト云
フ多數ヲ以テ修正案ガ可決シタ、斯ウ云フ報告デゴザイマシタガ、今朝程書
記官ヨリ朗讀サレマシタ如ク、會計法改正法律案ト委員會ニ於ケル所ノ少數
意見ト云フモノガ報告ニナツテ居ルノデアリマス、此報告ニ依テ見マスト、委

ノ爲ニ恰モ割引債券、無利子債券ト云フモノハ、國債デハナイヤウナ感ガアッタノデアリマス、此際改正ヲ致シマシテ、之ヲ包含シテ、序ニ此利札附ト云フモノヲ取除キ、割引債券モ無利子債券モ包含スルヤウニ、廣ク規定ヲ定メタト云フコトガ改正案ノ第一、二ハ國債ノ登録、即チ登録費即ニ付マシテ、

員長初メ四人ノ署名ガシテアルノデアリマス、唯今ノ御報告ト多少異ッテ居ルヤウニ感ジマスルノデゴザイマスガ、我ミノ手許ニ現ニ參ッテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、其點ハ如何ナモノデアリマスカ

一率ニ一箇月間停止トナツテ居リマスノヲ 事務ノ敏捷如何ニ依テ二日デモ一週間デモ一箇月以内ト云フコトニ改メタノデアリマス、三割引ノ方法デ發行シタ國債ノ消滅事項ハ五年ト致シタノデアリマス、併シ是ハ普通ハ一年以内

テ、修正案採決ノ際ハ四對二デアッタノデアリマス、少數意見ニ付テノ、四名ノ中ノ一名ハ是ハ入レナイノデアリマスカラ、是ハ取消シテ然ルベキモノト考ヘマス

ニヤツテ居ルノデアリマス、四、大藏省證券條例ヲ廢止スル、先程申シマシタ通
リ、舊文上ト云ノコトニ目成サト云フコトハ、法律第三十四號中ノ改正ノ最モ

○江木翼君 將來ノ先例ニナルコトデアルト思ヒマスガ故ニ、能ク確メテ置キタイト思ヒマスガ、議員ニ配付サレテアル所ノ、此報告ノ中ニアル

リマス、一員ノ名ハ間違ッタコトト承知シテ宣シイノデアリマスカ

○伯爵林博太郎君 左様デアリマス、一人ノ名前ハ間違ッタノデアリマス

ス

○江木翼君 更ニ伺ヒマスルガ、是コソ將來ノ先例ニナルコトト思フノデアリマスガ、委員長ハ可否同數ノ場合ニ此意見ヲ發表スルト云フコトガ、貴族院規則ニアル、然ニ委員長トシテ、可否同數ノ際ニ發表セラレタ所ノ、所謂表決權、又委員長ガ委員ノ一人トシテ、意見ヲ發表セラル、所ノ所謂投票、此ニツガ委員長ニハアルト云フコトデ、委員長ト云フモノノ名ガ此ニ書イテアルノデアリマセウカ、此點ハ規則ノ解釋ト致シマシテ、將來ノ先例ニモナルコトト思ヒマス故ニ一應此點ヲ伺ヒマス

○伯爵林博太郎君 唯今ノ江木君ノ御質問ハ委員長トシテ御答ヘスルヨリハ議長ヨリ御答ヘスル方ガ然ルベキモノト考ヘマス、仍テ議長ヨリ何レ御答ガアルコトト考ヘマス

○議長（公爵德川家達君） 江木翼君ノ唯今林特別委員長ヘノ御質問ハ、寧ロ議長カラ御答ヘシタガ適當デハナイカト考ヘマス、議長トシテ一向差支ナイト認メタノデアリマス

○江木翼君 果シテ然ラバ委員長ガ委員トシテ事實表決ヲ認メタカ否ヤ、若シ委員會ニ於テ表決ヲ認メナカッタ方ガ少數權者ノ中ニ其名ヲ列セラルト云フコトデアリマスト、事實ヲ偽ルト云フ結果ニナルト思フノデアリマス、唯今特別委員長ノ御報告ニ依リマスレバ、四對二ノ多數ヲ以テ修正案ガ可決シタ、斯ウ云フコトダケデ委員長ガ果シテ表決ノ數ニ加ハラレタルヤ否ヤト云フコトハ明確デアリマセヌガ、其ノ御報告ニ依リマスレバ、確ニ加ハッテ居ラレヌヤウニ拜聽イタシタノデアリマス、若シ左様デアルト致シマスレバ、委員長ハ投票權ヲ行使シナカッタト云ヘバ、殘ル所ハ二人ダケデアル、二人ダケノ意見デアリマシタナラバ、出席者ノ三分ノ一二ナツテ居ラヌ、斯ウ云フ結果ト致シマシテ少數意見トシテ成立シナイ結果ニナルト思フノデアリマス、此點ハ事實ニ關スルコトデアリマスルガ故ニ、委員長カラ其事實ヲ御述ベニナルコトガ然ルベキコトデアラウト思ヒマス

○議長（公爵徳川家達君） 江木君ニ申シマス、今ノハ議長ヘノ御質問デハナクシテ、特別委員長ヘノ御質問ニ途中デ變ッタヤウニ考ヘマス

○江木翼君 左様デアリマス

○伯爵林博太郎君 唯今江木君ヨリ申サレマシタ通リ四ニ對スルニデアリマスガ、委員長ハ其ノ表決ニハ加ッテ居ラナイノデアリマス、其他ノ點ニ付マシテ一名ノ委員ガ加ハッタト云フコトハ少シ違法デアルカモ知レマセヌガ、其他ノ條項ニ付テハ差支ナイト思ヒマス

○議長（公爵徳川家達君） 江木君ニ申シマスガ……

〔江木翼君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵徳川家達君） チヨット御待チヨト願ヒマス、貴族院規則ノ第四十二條ニ「常任委員會ニ於テ少數ヲ以テ廢棄セラレタル意見ヲ議院ニ提出セムト欲スル者、出席委員三分ノ一一及フ時ハ委員會ノ報告ト俱ニ其ノ意見ヲ提出スルコトヲ得」此明文ノアルコトハ江木君ニ於テ勿論御承知デアラウト思フ、委員長ハ矢張出席委員ト看做シ得ルト云フ解釋ヲ執ッテ居ルノデアリマス

〔江木翼君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵徳川家達君） ソレデ是ハ先例ハナイコトデアリマスガ、先例トモナルコトデアリマスカラ、唯今議長ノ解釋通リデ満場多數ノ諸君ガ御異存アルヤ否ヤヲ採決シテ置カウト存ジマス

○江木翼君 モウ一つ其事實ノ點ニ付テ私ハ申上ゲタイト思フノデアリマス、唯今林伯ノ御説明ニ依リマスルト、四對二ノ多數ヲ以テ修正案ガ決シタト云フコトデアリマス、而シテ委員長ハ投票權ヲ行ハナカッタ、即チ六人ト委員長ヲ加ヘマシテ七人デアリマス、七人ノ三分ノ一ト申シマスレバ、三人ノ人ガ居ラナケレバ少數意見ニナラヌノデ、二人デハ少數意見ニハナラヌノデアリマス、從ヒマシテ此四十二條ヲ準用イタシマシタル所ノ貴族院規則第五十一条ニ私ハ此報告ハ違反シテ居ルモノト私ハ思フノデアリマス、此點ニ付テ若シ委員長ニ於テ御辯明ガアリマスナラバ承リタイ

○議長（公爵徳川家達君） 今ノハ委員長ヘノ質問ト考ヘマス

○江木翼君 委員長ヨリ御辯明ガアツテ然ルベキコトト思ヒマス、私ハ議長ガ此問題ヲ決ニ御採リナサルベキ理由ガナイト思ヒマス、其點ヲ御聞キシタイ、事實ガ七人ノ出席ノ中二人シカ贊成者ガナイノデアリマスカラ……

〔江木翼君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) チヨット御待ヲ願ヒマス、今其先例ガアルヤウニ考ヘマスカラ今其先例ヲ調べテ居リマス

○江木翼君 是ハ此少數見ノ報告ガ出テ居リマスルノガ元ニナッテ居ルト思ヒマスガ、私ノ質問ノ元ニナッテ居ルノデアリマスガ、可ナリ此事實ヲ本ニシテ之ヲ決セラレルト云フコトニナリマスルト、重要ノ事デアルト思ヒマスガ、此案ノ議事ハ他日ニ廻サレルト云フコトハ出來ナイノデアリマセウカ、此點ヲ伺ヒマス

○藤田四郎君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 今ノハ動議デハゴザイマセヌ、唯今ノ江木君ノハ他日ニ延バシ得ルヤ否ヤ議長へ御尋ト考ヘマシテ、早速藤田四郎君ノ賛成ガゴザイマシタガ、今ノハ藤田君ノ誤解ト考ヘマス、他日ヨリハ暫時日程ノ變更ヲ致シタラドウデゴザイマセウ、其中ニ先例ヲ調べサセマスカラ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) ソレガ一番便利デハナイカト考ヘマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナケレバ日程第十一、十二、十三ハ暫時保留イタシマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十四、國有財產法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告 高橋琢也君

國有財產法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十年三月二十二日

右特別委員副委員長

高橋 琢也

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔高橋琢也君演壇ニ登ル〕

○高橋琢也君 國有財產法案ノ特別委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、此委員會ハ前後四回開會イタシマシテ、御承知モゴザイマスル通リ此法案ハ各省

ノ關係ノミナラズ植民地、北海道、樺太、朝鮮、臺灣ニ迄關係ヲ及ボシテ居リマスル、誠ニ廣イ法案デアリマスル故ニ、是ニ關係ヲ致シマシテ已ニ政府カラ參照トシテ諸君ノ御手許ニ參^ツテ居リマスル法律命令其他ノ條規、地種名稱區別其他ガ二十七モアルト云フ位ノモノデアリマシテ、是等ニ皆改廢ガ及シテ居リマス、故ニ此規則ヤ法律ニ關係イタシマシタダケデモ容易デゴザイマセヌノデ、各省ノ中カラ其主ナル關係ノ省、即チ大藏省、内務省、文部省、農商務省、此四省ノ政府委員ノ出席ヲ求メマシテ、各委員ヨリ精シイ御質問ガゴザイマシタ、政府委員モ丁寧ニ一々答辯ヲセラレマシタ、是等ヲ申上ゲマスルト非常ニ時間ガ掛リマスカラ、精シク申上ゲマセヌガ、其中デ一番重要ナ問題デゴザリマシタノハ、之ヲ凡テ國有財產ナルモノヲ其管理ヲ統一スルト云フノガ此法ノ精神ノヤウデゴザイマスシ、又是マデ關係ヲシテ居リマシタ今申上ゲル二十七箇ノ法規ガ改廢セラレマスル、之ヲ統一スル、斯ウ云フ此二ツノ事柄ガ此法ノ精神ト見エマス、ソレ故ニ御質問ノ中ニモ、殊ニ森林原野、是等ニ付マシテハ大分ヤカマシイ御質問ガゴザリマシタ、殊ニ大藏大臣ガ總體ニ管理ヲセラレテ、サウシテ其官有地若クハ所謂國有地デゴハ大藏大臣ガ之ヲ一般ニ管理セラル、ト云フコトニナリマスルト、遂ニ他ノ各省ノ方ハ委任管理ト云フヤウナコトニナリハセヌノデアラウカ、又大藏大臣ガ凡テノ國有財產ヲ管理セラル、トスウ云フコトニナルト、ドッヂモ各省ノ主管ト此責任ガドチラニ在ルモノデアルヤラ、斯ウ云フ疑モ生ジマシタヤウデアリマシタ、是等ニ付テモ隨分ヤカマシイ御質問ガゴザイマシタ、ソレカラ今一ツニハ御承知ノ如ク國有森林原野ハ非常ニ大キナモノデゴザイマスル、其經營ハ財政ノ主管タル大藏省デ若シ之ヲ管理セラル、トスウ云フヤウナ意味ガゴザイマスルト、矢張收利ノ方ニ傾キハシナイカ、サウスレバ森林經濟ノ運用ノ上ニ影響ヲ受ケハシマイカ、斯ウ云フ點ニ付テモ御質問ガアリマシタ、是等ニ向^ツテ政府委員ハ丁寧深切ニ一々答辯ヲセラレマシタ、其答辯説明ニ依リマシテ委員ハ皆疑點ヲ水解セラレタヤウデアリマス、唯茲ニ一ツ問題トナリマシタノハ、本法案ノ第五條ノ三項ニ「神社、寺院又ハ佛堂ノ合併シタル場合ニ於テ之ニ因リ其供用ヲ止メタル國有財產ヲ其ノ合併シタル神社、寺院又ハ佛堂ニ讓與スルトキ」是ガヤカマシイ問題ニナリマシテ、是マデ勅令デ是ハ實際ヤツテ居ラレル、今回茲ニ法律ガ規定セラレタノデゴザイマシ

テ、此法律ガ出ル以上ハ凡テ政府ハ大ニ之ヲ獎勵シハシマイカ、從來是ニハ非常ナル弊害ガアリト聞イテ居ルガ、ソレハ如何、斯ウ云フ點デゴザイマシタ、若シサウ云フコトニナルト、從來非常ニ弊害ノアッタモノデアル、之ニ向ツテハ政府ハドウ云フ意見デアルカト云フコトデゴザイマシタ、政府委員ハ丁寧ニ之ニ向ツテ答辯セラレマシタ、事ノ要旨ハ、政府ニ於テモ其弊害ノアッタコトハ認メテ居ル、故ニ大正七年地方官會議ニ於テ内務大臣カラ大ニ此合併ノコトニ付テハ注意ヲスルヤウニ、是マデ種々ノ弊害モアルカラシテ、其弊害ニ瓦ラヌヤウニト云フ厚イ注意條項ヲ達シテゴザイマスル、ソレヲ讀上ゲマスルト、長文デアリマスカラ、時間ヲ費ヤシマスカラ申上ゲマセヌ、又丁度大正九年マデ、明治三十一年カラ十五年間ニ瓦リマシテ、神社ノ合併セラレマシタノガ七萬四千九百三十七ゴザイマス、佛堂寺院ト云フ方ハ、大正四年ヨリ大正九年マデノ間ニ於テ三百四十四件シカゴザイマセヌ、至ツテ少ナウゴザイマス、神社ノ方ハ非常ニ多ウゴザイマス、然ニ初ハ年々一萬カラ一萬五千ト云フヤウナ數デゴザイマシタガ、昨今ハ四五千ト云フ數ニ減ジマシタ、ノミナラズ政府委員ノ申サレルニハ、今後ハ固ヨリ斯ウ云フ注意ヲスル位デアルカラ決シテ獎勵スルト云フヤウナ意味ヲ有ツテ居ラナイ、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、デ委員ノ一人ハソレナラバドウカ政府ニ於テ内務大臣ト文部大臣ト此ノ本議場ニ於テ之ヲ獎勵シナイト云フコトヲ言明シテ賛ヒタイ、斯ウ云フ希望ガ出マシタ、此希望ニ對シマシテハ委員會ハ全會一致ヲ以チマシテ此希望ヲ可決イタシマシタ、就キマシテハ此法案ハ此希望ノ外ハ總テ原案ノ通り、尤其原案ト申シマスル中ニ、政府ノ原案ニ對シマシテ本法案ノ第十三條ニ於テ境界調査ノコトデゴザイマスガ、隣接地ノ所有者ト云フ下ヘ「其他」ト云フ三字ガ這入リマス、ソレカラ境界査定ニ對シ不服アルトキハ、「トキハ」ハ不服アル「者ハ」トナリマスル、其下ニ「其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ六十日内ニ」ト云フ、斯ウ云フコトヲ行政裁判所ヘ出訴スルコトガ出來ル、是ハ他ノ方ニ既ニ規定ガアルニ依テ是ダケハ削ッタラ宜カラウ、斯ウ云フノガ衆議カラ、餘リ長クシテ質問ノコトヲ申上ゲル必要ハナカラウト存ジマスノデ、此段報告ニ及ビマス

〔國務大臣中橋德五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（中橋德五郎君）此際ニ唯今委員長ヨリノ報告ニ從ヒマシテ當局ヨリ言明ヲ致シテ置キマス、國有財產法第五條第三號ノ規定ハ現行ノ明治三十九年勅令第二百二十號ノ規定ヲ踏襲シタモノデアリマス、之ニ依テ寺院又ハ佛堂ノ合併ニ關係シマシテ、從來ノ方針ヲ變更シ濫リニ寺院佛堂ノ合併ヲ獎勵スルコトハ致シマセヌ、是ダケハ言明イタシテ置キマス

〔政府委員小橋一太君演壇ニ登ル〕

○政府委員（小橋一太君）大臣ガ出マシテ言明イタシマス都合デアリマシタガ、差支ガアリマスルノデ、私ガ代ツテ申上ゲマス、合併ヤ土地ノ讓渡ニ付マシテハ、神社ノ合併ノ場合ニ於キマシテモ、唯今文部大臣ヨリ言明イタシマシタト全ク同様ノ趣旨デゴザイマシテ、神社ノ合併ニ付マシテハ、輕々ニ致スベキモノデアリマセヌカラシテ、從來モ其合併ハ容易ニ致サセナイコトニ注意ヲ拂ツテ居ツタノデゴザイマス、此度從來ノ勅令ニ規定アッタノヲ法律ニ移ツタカラト申シマシテ、其ノ合併ヤ土地ノ處分ニ依テ合併ヲ獎勵スルコトハ少シモ致シマセヌ積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタウゴザイマス

〔男爵千秋季隆君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵德川家達君）千秋男爵ハドウ云フコトデゴザイマスカ
○男爵千秋季隆君 私ハ此際内務次官ヨリ内務大臣ノ代リトシテ御辯明ニナリマシタケレドモ、併ナガラ内務省ノ代表トシテ文部大臣ガ言明サレルコトト同一デアルト云フコトデアリマスレバ宜シウゴザイマスガ、私ガ實ハ此委員會ニ於キマシテ神社合併ト云フコトニ付テ、從來十數年以來今日ニ至ルマデ其數ハ餘程何萬ト云フ數ガ合併サレテ居ルノデアリマス、ソレニ付テ色々ハ其他ノ物質的ノ物ヲ合併スルガ如キコトガ、今日總理大臣トシテ御臨ミニナツテ居ル原内務大臣ノ場合等ニハ隨分多カツタノデアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ、寧ロ此佛堂ノ方、或ハ寺院ノ方ト云フコトノ僅ナ數ノ合併ノコトニ付テ、文部大臣ガ御言明ニナリマスヨリモ、其内務省ノ方ガ神社ノ合併ト云フコトハ誠ニ弊害ガ多カツタノデアリマス、斯様ナ次第デゴザイマスルカラ、内務次官ノ御言明ト國務大臣トシテノ御言明ト同ジコトデアルト云フコトニナリマスレバ宜シウゴザイマスルガ、左モゴザイマセヌケレバ、内務大臣ガ此點ヲ明カニ御辯明ニナルマデ此案ノ御審議ハ御延バシヲ願ヒタ

イト思フノデアリマス、是ハ私一己ノ意見デゴザイマセズシテ、委員會ノ全體ノ意見デアルノデアリマス、併ナガラ總理大臣ガ此處ニ御出席ニナッテ居リ

マスカラ、唯今内務次官ガ此處ニ御出席ニナッテ居リモダト云フコトヲ仰シヤツテ戴キマスレバ、ソレデ私ハ満足スル次第デ

レタモノダト云フコトヲ仰シヤツテ戴キマスレバ、ソレデ私ハ満足スル次第デアリマス、ソレダケノコトヲ申述ベタイト思ヒマシタノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 千秋男爵ニ確メマスガ、小橋内務次官ノ説明ガ國務大臣ノ言明ト同ジコトデアルト云フコトヲ戴キマスレバ、ソレデ私ハ満足スル次第デ

内務大臣ノ出席スルマデ日程第十四ノ法案ノ議事ハ延バシタイト云フ動議ト看做シテ宜シイノデスカ

○男爵千秋季隆君 左様デゴザイマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) ソレハ唯今ノ御質問デアリマスガ、内務次官ノ答辯ハ國務大臣ノ答辯ト看做スヤ否ヤト云フコトデアリマスルガ、是ハ内務大臣ガ差支ヘル爲ニ・代ツテ内務大臣ノ申シマスル意味ヲ内務次官ヨリ申シタノデアリマスカラ、國務大臣ノ言明ト同様ニ看做サレテ差支ナイノデアリマス、併シ尙ホソレ等ニ付テ御疑念ガアレバ、私ヨリ申シテ置キマスルガ、内務文部兩省ニ關係イタシテ居ルコトデアリマスカラ、代ル代ル辯明スル次第デアリマセウケレドモ、元ト神社合併ト云フコトハ無格社ノ、資格ノ無キ神社ガ方

方ニ散在イタシマシテ、却ツテ敬神ノ意志ニ背クト云フガ爲ニ合併ヲ許シタノデアリマス、無論合併ハ任意ニ合併スル場合ヲ許シタノデアリマス、然ル處

色ミノ弊害ヲ生ジ殊更ニ合併ヲ致シタト云フヤウナコトモ度々承ハッダノデアリマス、是ハ最初ノ合併ヲ許スベキ規定ヲ設ケタ趣意ニ反スルノデアリマス、故ニ今後ニ於キマシテ斯様ナコトヲ獎勵ハ致サヌ、併ナガラ法律ノ規定ニ依テ何等ノ弊害ナク、任意ニ合併スルモノハ許シテ宜シイノデアリマセウガ、殊更ニ之ヲ獎勵シテ、弊害ヲ生ジナイヤウニ致スト云フコトハ文部内務

ノ言明ノミナラズ、政府ニ於テ最初ヨリ左様ナ趣意デ規定シタノデアリマスルガ、其規定ガ即チ勅令ガ法律ニ變ハルノデアリマス、左様ナ趣意ト御了解下スツテ宜シイノデアリマス

○男爵千秋季隆君 唯今ノ總理大臣ノ御言明、竝ニ内務次官ガ内務大臣ノ代リニ言明サレタコト、竝ニ文部大臣ノ言明サレタコトニ依リマシテ、私ノ疑問ハ水解イタシマシタカラ、私トシテハ是デ尙ホ申上ゲマスコトハアリマセ

ヌ、満足イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言モナイト存ジマスカラ、本案ニ付テ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵松平頼壽君 贊成

○伯爵奥平昌恭君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵奥平昌恭君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、爰ニ諸君ニ御諮詢致シタイコトハ、日程第十五ハ會計法改正法律案ニ關聯シテ居ルト考ヘマスカラ、日程第十一、十二、十三ノ法案ノ會議ガ終リマシタ後デ致シタイト考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ日程第十六、第十七

兩案ハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、特別委員長ノ報告ハ兩案ヲ束ネテ煩ハシタイト考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 先刻議長カラ申スベキノヲ落シテ居リマシタガ、此際會議時間ノ延長ヲ宣告イタシマス、佐佐木侯爵ノ登壇ヲ望ミマス

貯蓄銀行法案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正十年三月二十二日

右特別委員長

侯爵佐佐木行忠

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔特別委員ノ修正ニ係ル部分ノミナ印刷ス
小字ハ修正文ハ同削除ノ符號ナリ〕

第九條 貯蓄銀行ハ第一條第一項及第五條第一號第五號ノ規定ニ依リ受入レタル金額ノ三分ノ一以上ノ金額ニ相當スル國債ヲ供託スヘシ但シ供託金額中受入金額ノ四分ノ一ヲ超ユル額ニ付テハ第十一條第一項第一號ノ有價證券ヲ以テ國債ニ代フルコトヲ得

前項ノ受入金額ハ毎半年末日現在ニ依リ之ヲ定ム

銀行條例中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十年三月二十二日

右特別委員長

侯爵佐佐木行忠

〔侯爵佐佐木行忠君演壇ニ登ル〕

貴族院議長公爵徳川家達殿

○侯爵佐佐木行忠君 時蓄銀行法案外一件特別委員會ノ經過、結果ヲ御報告申上ダマス、先づ結果ヲ申上ダマスレバ時蓄銀行法案ハ第九條中四分ノ一ヲ五分ノ一ト修正シ、他ハ原案通り可決イタシマシタ、銀行條例中改正法律案ハ可決イタシマシタ、次ニ經過ノ大體ヲ申上ダマス、委員會ハ三回開イタノ

ニアリマス、政府委員ノ説明ヲ求メ、次デ逐條質問等ヲ致シタノデアリマス、或ハ市營トスル、自治團體デ營ムコトトスル希望ハナイカト云フヤウナコト、又唯今申上ゲタ質問ニハ理想カラ云ヘバ國營モ宜イノデアルガ、現在ノ所デハ會社デヤツテ居ルノデアルカラ、之ヲ今一層確實ナモノトスル、斯ウ云フヤウナ答辯デアリマシタ、ソレカラ其他數個ノ質問ガアッタノデアリマスウナ答辯デアリマシタ、ソレカラ市町村ガ之ヲ營ムニ付テハ、未ダ考ヘテ居ラヌ、是ハ市町村ノ財政ガ未ダ確實デナイヤウデアルカラ、其時機デナイト云フヤウナ答辯デアリマシタ、ソレカラ其他數個ノ質問ガアッタノデアリマスガ、ソレハ省略イタシテ、逐條ニ這入リマシテハ、今回ノ改正案ニ依レバ、一回ノ預金金額ハ十圓未満トシタノデアリマシテ、現行法ニ依リマスト、是ハ五圓未満デアリマス、之ヲ二十圓トスル、或ハモット高クスルト云フヤウナ考ハナイカト云フヤウナコトデアリマシタガ、是ハ十圓ガ相當デアルト云フ答辯デアリマス、ソレカラ供託ニ付テ改正案ニ依レバ國債ト云フヤウナコトニナツテ居ルガ、之ニ地方債ヲ加ヘテハドウカト云フ質問ニ付マシテハ、是ハ地方債ハ其ノ處分ガ國債ニ比シテ困難デアル、供託ノ目的ニハ不適當デアルト云フヤウナ答辯デアリマス、ソレカラ此營業稅ヲ半分ニ減ズルト云フデアルガ、是ハ公益主義ヲ標榜スル改正案ニ於テハ不徹底ハナイカト云フヤウナ質問ガアリマシタガ、時蓄銀行ハ矢張株式會社ガスルノデアルカラ、幾分カハ營利ガ舍マレテ居ル、依テ幾分ノ營業稅ヲ取ルト云フヤウナ答辯デアリマス、大體ノ質問ハ左様ナコトデアリマスガ、次デ討論ニ這入リマシテ、修正意見ガ出タノデアリマス、修正條項ハ五ツホド出タノデアリマス、ソレヲ申上ゲマスレバツハ此經過ヲ申上ゲタ際ニ申上ゲタ四分ノ一ヲ五分ノ一ニシタ修正案ト、二ハ第九條ニ第三項ヲ加ヘテ「第一條第一項第三號、第四號受入金額ノ中、第十一條第一項第四號、第五號、五號ノ貸附ヲ爲シタル金額ハ供託ニ付テハ預金額ヨリ之ヲ控除スルコトヲ得」ト云フコトヲ加ヘルト云フ修正デアリマス、ソレカラ三ハ第十一條ニ八號ヲ加ヘ「米券及倉庫證券」ト云フモニヲ加ヘルト云フ修正案デ、ソレカラ四番目ニハ第二十二條中ニ「營業稅額ノ二分ノ一ヲ免除ス」ト云フノヲ「營業稅及時金通帳ノ印紙稅ヲ免除ス」斯ウ云フ修正ヲシタイト云フ意見デアリマス、ソレカラモウ一ツハ第二十二條ノ次ニ第五條第一項……間違ヒマシタ、第五條ノ第一號ノ定期預金ノ利子ニ對シテハ第三種所得稅ヲ免除スト、斯ウ云フノヲ加ヘタイト云フ修正案デアリ

マス、ソレデ其修正ノ意見ト致シマシテハ、第一ニ申上グタノハ即チ第九條
中ニアル四分ノ一ヲ五分ノ一ト改メルト云フ修正意見ハ、大體ニ於テ本案ハ
賛成デアル、併ナガラ餘リ貯蓄銀行ノ監督ヲ嚴重ニスルガ爲ニ銀行ノ存立ガ
危クナツテハ困ル、依テソレヲ緩和スル爲ニ修正ヲ加ヘルノデアル、斯ウ云フ
意見デアリマス、ソレカラニ番目ノ修正意見ハ、ソレハ皆茲ニ舉グタ條項ハ
既ニ預金ヲ擔保トシテ居ルカラ、二重ノ供託ヲスル必要ガナイノデ、斯ウ云
フ修正ヲ加ヘルト云フ意見デアリマス、ソレカラ三番目ニハ貯蓄銀行ノ預金
運用ノ範圍ヲ擴メル爲ニ米券及ビ倉庫證券ト云フモノヲ加ヘルト云フ意見デ
アリマス、ソレカラ四番目ノ營業稅ヲ免除スト云フコトハ、唯今ニ於テモ產業
組合等ニ於テハ既ニ營業稅並ニ所得稅ヲ免除シテ居リマスガ、公益ヲ主義ト
スル貯蓄銀行ニ於テモ同様ニ取扱ッテモ宜カラウ、從ツテ營業稅ヲ免除シ、並ニ
貯金通帳ノ印紙稅ヲ免除スト云フノガ相當デアラウト云フ意見デアリマス、
ソレカラ五番ノ意見ハ第三種所得稅ヲ免除スルノハ貯蓄預金ハ既ニ所得稅ヲ
免除サレテ居ルノデアルカラ、ソレト同ジ意味ニ依テ定期預金ノ所得稅ヲ免
除シタ方ガ穩當デアラウト云フ、斯ウ云フ意見デアリマス、右修正意見ニ付テ
ハ唯一ツ始メニ申上グタ修正案ガ成立ツタノミデアリマス、唯申上グテ置キマ
スコトハ、此四番目ニ申上グマシタ「營業稅及ヒ貯金通帳ノ印紙稅ヲ免除ス」
ト云フ修正案ハ委員會ニ於テハ賛成反對同數デアリマシタ、委員長ハ修正案
ニ反対デアリマシタ爲ニ成立シマセヌ、右ノ如キ次第ヲ以チマシテ貯蓄銀行
法案ハ修正可決イタシマシタ、右御報告申上グマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今佐佐木特別委員長ハ諸君ノ御同意ヲ得ラレマ
シテ、案ヲ束ネテ報告セラマレシタガ日程第十六、貯蓄銀行法案ニハ委員會
ニ於テ修正ガゴザイマスカラ、問題ト致シ採決イタスニハ、先づ以テ第十六
ノ貯蓄銀行法案ノミト御承知ヲ願ヒマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異
存ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵松平賴壽君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌ
カ

マス、ソレデ其修正ノ意見ト致シマシテハ、第一ニ申上グタノハ即チ第九條
中ニアル四分ノ一ヲ五分ノ一ト改メルト云フ修正意見ハ、大體ニ於テ本案ハ
賛成デアル、併ナガラ餘リ貯蓄銀行ノ監督ヲ嚴重ニスルガ爲ニ銀行ノ存立ガ
危クナツテハ困ル、依テソレヲ緩和スル爲ニ修正ヲ加ヘルノデアル、斯ウ云フ
意見デアリマス、ソレカラニ番目ノ修正意見ハ、ソレハ皆茲ニ舉グタ條項ハ
既ニ預金ヲ擔保トシテ居ルカラ、二重ノ供託ヲスル必要ガナイノデ、斯ウ云
フ修正ヲ加ヘルト云フ意見デアリマス、ソレカラ三番目ニハ貯蓄銀行ノ預金
運用ノ範圍ヲ擴メル爲ニ米券及ビ倉庫證券ト云フモノヲ加ヘルト云フ意見デ
アリマス、ソレカラ四番目ノ營業稅ヲ免除スト云フコトハ、唯今ニ於テモ產業
組合等ニ於テハ既ニ營業稅並ニ所得稅ヲ免除シテ居リマスガ、公益ヲ主義ト
スル貯蓄銀行ニ於テモ同様ニ取扱ッテモ宜カラウ、從ツテ營業稅ヲ免除シ、並ニ
貯金通帳ノ印紙稅ヲ免除スト云フノガ相當デアラウト云フ意見デアリマス、
ソレカラ五番ノ意見ハ第三種所得稅ヲ免除スルノハ貯蓄預金ハ既ニ所得稅ヲ
免除サレテ居ルノデアルカラ、ソレト同ジ意味ニ依テ定期預金ノ所得稅ヲ免
除シタ方ガ穩當デアラウト云フ、斯ウ云フ意見デアリマス、右修正意見ニ付テ
ハ唯一ツ始メニ申上グタ修正案ガ成立ツタノミデアリマス、唯申上グテ置キマ
スコトハ、此四番目ニ申上グマシタ「營業稅及ヒ貯金通帳ノ印紙稅ヲ免除ス」
ト云フ修正案ハ委員會ニ於テハ賛成反對同數デアリマシタ、委員長ハ修正案
ニ反対デアリマシタ爲ニ成立シマセヌ、右ノ如キ次第ヲ以チマシテ貯蓄銀行
法案ハ修正可決イタシマシタ、右御報告申上グマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案第九條ニ委員會ニ於ケル修正ガゴザイマスカ
ラ、最初ヨリ第九條ヲ除キマシテ、終リマデヲ先ヅ以テ問題ニ供シマス、唯
今問題ニ供シマシタル箇條ニ付テハ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ委員會ニ於テ修正セ
ラレマシタ第九條ヲ問題ニ供シマス、第九條ノ修正ニ御異存ゴザイマセヌカ
ラ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵松平賴壽君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌ
カ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ日程第十七、銀行條例中改正法律案ヲ問題ニ
供シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵八條隆正君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌ
カ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○仲小路廉君 贊成
○子爵稻垣太祥君 贊成
○男爵阪谷芳郎君 贊成
○議長 公爵徳川家達君 松浦伯爵ノ本案ノ讀會ヲ省略スルト云フ動議ニ同
意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ御異存ゴザイマ
セヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 先刻議事日程ノ變更ヲ願ヒマシタガ、此祭日程第
十一、第十二、十三ノ議事ニ移リマス、唯今江木翼君カラ少數意見ニ於テ委
員長ガ採決ニ加ハラザルニ拘ラズ、又意見ヲ發表セザルニ拘ラズ、署名セラレ
タノハ規則違反デアルト云フ御意見ガゴザイマシテ、先例ノ有無ヲ取調ベマ
シタガ、第十三回議會ニ、日本動産銀行法中改正法律案ノ特別委員會ノ報告
ニ對スル少數者意見ニハ、特別委員長久我侯爵ガ採決ニモ加ハラズ、意見モ
述ベラレマセヌデモ、少數意見ニ署名セラレテ居リマスカラ、是ガ適例ト考
ヘマス、ソレデ議長ニ於テハ、唯今申述べマシタノガ先例ガゴザイマスカラ、
差支ナイト考ヘマスガ、是ハ先例ニ相成ルコトデゴザイマスカラ、江木君ニ
於テハ反對ノ意ヲ表セラレルト想像イタシマス、本院規則第九十七條「凡ソ
議院規則ノ疑義ハ議長之ヲ決ス但シ議長ハ議院ニ諮詢ヒ之ヲ決スルコトヲ得」
此明文ニ依リマシテ議場ノ諸君ノ御意見ヲ伺ハウト考ヘマス

○江木翼君 唯今ノ御示シニニナリマシタ先例ニ付マシテ、事實ヲ確メテ置
キタイト思ヒマス、茲ニ起リマシタ會計法改正法律案ニ付マシテノ場合ハ、出席
席委員七人デアリマス、サウシテ四對ニデ決マッタノデアリマス、其委員長ガ數ニ加ハラナケレバ少數意
員長ハ可否ノ數ニ加ハラレヌ、意見ヲ發表シナカッタ、其委員長ノ意見ト云フ
モノガ吐カレナケレバ委員長ノ頭ノ中ニ如何ナル意見ヲ有ツタカト云フ
コトハ明確ニ分ラナイノデアリマス、其委員長ガ數ニ加ハラナケレバ少數意
見ト云フモノハ構成シナイノデアリマス、所ガ其先例ニナルモノハ委員長ガ

意見ヲ發表シヤウガシマイガ、其他ノ委員ノ數ニ依テ少數意見ヲ構成シ得ベ
キ場合デハナイカト私ハ想像イタシマスガ、左様デアルトシマシタナラバ、
ソレハ此場合ノ先例ニハナラヌト思フノデアリマス、如何デゴザイマスカ
ガ、既ニ、十三回議會ニ於テ委員長タル久我侯爵ガ署名サレテ居リマシテ、
何等異議ガナカッタノデアリマスカラ、異議ノナイ先例ト認ヌテ宜シカラウト
考ヘマス

○江木翼君 其場合ニ少數意見者ト云フモノガ委員長ヲ除イテ何人ニナッテ
居リマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 委員長ヲ除キマシテ三名、委員長ガ加ハラヌデモ
提出ガ出來タノデアリマス、併シ今議長ガ申上ゲマシタ如ク、此際何等委員
長ノ署名シタト云フコトニ付テ異議ハ出テ居リマセヌ、ソレデアルカラ、十
三回議會ニハ満場ノ諸君ガ適當ニ御認メニナツタト議長ハ認メテ居リマス

○江木翼君 ソレトハ少シ場合ガ違フト思フノデアリマス、兎ニ角少數者ノ
定足數ト云フモノハ充シテ居ル、唯不用ナ一名ノ名ガ加ツテ居ル、少數意見ヲ
提出シ得ルト云フコトハ規則ニ違ツテ居ラヌノデアリマス、委員長ノ名ガ加
ハツカ加ハラヌカト云フコトハ、ソレハ他ノ規則ニ違反シテ居ルカドウカト
云フ問題ガ起ルノデアリマスガ、此場合ハ委員長ノ名ガ加ハルト云フコトニ
於テ、初メテ少數意見者ノ論ガ成立スルノデアリマス、其少數者ナルモノハ、
若シ委員長ヲ除ケバ少數者ノ定足數ニ足ラヌノデアリマス、餘程場合ガ違フ
ト思ヒマスガ故ニ、此際私ハ是非十分ナ論議ヲ盡サル、方ガ必要デアラウト
思フノデゴザイマス

「男爵池田長康君發言ノ許可ヲ求ム」

○議長(公爵徳川家達君) 池田男爵ハドウ云フコトデスカ

○男爵池田長康君 唯今江木君カラ御話ガゴザイマシタガ、私ハチヨツト江木
君ノ御説ニ疑ヒガアル

○議長(公爵徳川家達君) 池田男爵ハ江木君ノ述ベラレタコトニ付テ質疑ヲ
ナツルノデアリマスカ

○男爵池田長康君 左様デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵池田長康君 貴族院規則ヲ見マスルト、第四十二條ヲ見マスト「出席

委員三分ノ一二及フ」トアリマスケレドモ、出席委員ノ中ニ委員長ハ加ヘナケレバナラヌト云フ御考デアリマセウカ、茲ニ第十五條ニゴザイマス「委員會ノ議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ委員長ノ決スル所ニ依ル」トアリマシテ、此ノ出席員ノ中ニハ委員長ハ加ハッテ居ラヌ、之ト之ヲ對照イタシテ見マヌト貴族院規則ニ書イテゴザイマス出席議員ト云フ場合ニハ、委員長ヲ加ヘナイ場合ガアリハシナイカ、斯ウ云フ疑ヒガ其所ニアリマス

○江木翼君 唯今池田男爵ノ御質問ハ私ハ疑ヲ容レヌコトダラウト思ヒマス、出席員ト言ヘバ議長ヨリ選バレマシタル所ノ委員全體ヲ指スモノデアルト云フコトハ極メテ明白ナルコトデアルト思フノデアリマス、今日迄ノ先例ガソレ等ニ付テハ何等ノ違ヒガ起ツテ居ラヌト思ヒマス

○男爵池田長康君 然ラバ第十五條ヲドウ云フ風ニ御解シニナリマスカ
○江木翼君 第十五條ノ規定ハ普通、憲法ナリ其他ノ規定ニアリマスト同様、全部ノ出席議員ノ過半數ヲ以テ決メル、是ハ總テノ議事規則ニヨリマス所ノ例デアリマシテ、矢張委員長ガ加ハルノデアリマス、今日特別委員會、九人若クハ十五人ノ委員會ガ斯ル場合ニ數ヲ計算スル時ニハ必ず委員長マデ加ヘテ決メル、定足數ヲ決メ、過半數モ決メルト斯ウ云フコトニナツテ居ルト思フノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 議長ハ前ニ申上ゲマシタ通り、貴族院規則第九十
七條ヲ適用スペキコトト存ジマスカラ、採決ヲ致シマス
○江木翼君 如何デゴザイマセウカ、論議ヲ多少交換サレマシタ方ガ宜シイ
デハナイカト思ヒマスガ、若シ此際許サレルナラバモウ少シ私ノ考ダケヲ述ベテ置キタイト思ヒマスガ宜シウゴザイマスカ
○議長(公爵德川家達君) 無論十分ニ論議ヲ盡サレムコトヲ望ミマスガ、他ニ御發言ガナイヤウニ認メマスカラ採決ヲ致サウト申シマシタ、江木君ニ於テ御説ヲ御述ベニナリタケレバ、喜ンデ拜聽イタシマス

〔江木翼君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ願ヒマス

○江木翼君 極メテ簡単デゴザイマスカラ……

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ願ヒマスト議長ハ申上ゲマシタ
〔江木翼君演壇ニ登ル〕

○江木翼君 此委員會ノ狀況ハ、先程委員長御報告ノ如ク七名ノ委員ノ出席ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ修正案ハ四對二ト云フ割合ヲ以テ可決ニ詰リ事實ノ全部デアリマス、ソコデ之ニ對スル法律問題ト云フモノハ私ハニツアラウト思フノデアリマス、第一ニ可否ノ意見ヲ發表シナイ所ノ、委員會ニ於テモ可否ノ意見ヲ發表シナイ人ガアリ得ルノデアリマス、其可否ノ意見ヲ發表シナイ所ノ人ヲ可否ノ數ノ中ヘ入レ得ルヤ否ヤ、頭ノ中ニ自分ハ此修正案ニ反對デアルトカ贊成デアルトカ云フコトヲ畫イテ居ルダケノ、唯心裡ニ存スル所ノ意見ヲバ恰モ可否ノ數ニ加ツタルモノトシテ之ヲ數ヘ得ルヤ否ヤト云フコトガ一つノ問題デアリマス、ソレカラ第二ノ問題ハ、抑、委員長ナルモノガ可否ノ場合ニ於テ表決スル權利ガアルト云フコトガ議事規則ノ示ス所デアリマスガ、此ノ表決權ノ外ニ委員長トシテノ投票權ト云フモノヲ有スルヤ否ヤ、是ガ問題デアリマスガ、第二ノ問題ハ私ハ此際論及スル必要ハナイト思フ、第一ノ問題デアル所ノ丸キリ可否ノ意見ヲ發表シナイ、全然可トモ、否トモ言ハナカツタ所ノ人ヲバ、是ハ反對デアル是ハ贊成デアルト云ウテ、或ハ多數ナリ少數者ナリノ方へ加ヘ得ルカ、是ガ出來マシタ時ニハ、私ハ議事規則ト云フモノハ根柢ヨリ壞ハレルト思フノデアリマス、委員ノ中ニ可否ノ數ニ加ハラヌ人ガ、或ハ一人アルカ、三人アルカ分リマスマイ、殊ニ多クノ場合ニ於テ、委員長ハ可否ノ數ニ加ハラヌノデアリマス、ソレガ恰モ加ツテ居ルモノノ如ク、而カモ、如何ナル場合ニ於テモ可否ノ意見ヲ發表シナカツタモノヲ議事ガ濟ンダ後ニ自分ハ少數者ノ意見ニ贊成シテ居ルト云フノデ、之ヲノ順序ト云フモノヲ根柢ヨリ壞スト云フコトニナリハシナイカト思フ、斯様ナ前提ノ下ニ此ノ事案ヲ判断ヲ致シマスレバ、委員長タル林伯爵ハ可否ノ數ニ加ハルベキモノデナ、從ツテ八條子爵ト、早川千吉郎君トガ少數者トシテ意見ヲ發表セラレタ、即チ二人ガ意見ヲ發表セラレタガ故ニ、此場合ニ於テ少數者意見ナルモノハナ、先程委員長ガ訂正セラレマシタルガ如ク、鎌田勝太郎君ハ少數者意見ノ方へ加ハラレタト云フコトハ事實ニ於テ相違シテ居ルト云フコトデアリマスカラ、二人ダケト云フコトニナル、斯様ナリマスト、私ハ此報告ヲ是認スルト云フコトハイカナイモノデアリマス故ニ、此意見ヲ茲ニ發表イタシマス

○上山滿之進君 チヨット伺ヒマスデスガ、少數意見ノ提出者四名ノ申デ鑑田君ノ削除ニナリマシタノデゴザイマスカ、如何デゴザイマスカ

○議長（公爵徳川家達君）此コトハ後デ申上グヤウト存ジテ居リマシタ、少數者意見提出者ノ記名中、當日出席ノ間ニ合ハザリシ委員ノ氏名ハ提出者ニ於テ之ヲ取消ス以上ハ差支ナイト存ジマシテ取消サレタモノト認メテ居リマス

○上山滿之進君 取消サレテ居ルノデゴザイマスカ

○議長（公爵徳川家達君）サウ認メテ居リマス

○上山滿之進君 私ハチヨット動議ヲ提出イタシマス、此問題ヲ御決定ニナルノハ、議長ノ御權限、其權限ニ依テ今議院ノ意見ヲ御問ヒニナツテ居リマス、殊ニ御鄭重ナル御扱ヒト思フ、ソレニ對シテ彼是申上グマスノハ如何ト思ヒマスケレドモ、實ハ重大ナル先例ニナルコトト思フ、御取出シニナリマシタ先例ト、唯今ノ場合ヲ比較イタシマスト、何ヤラ茲ニ違ッテ居ル點モアルヤウニモ考ヘラレル、誠ニ咄嗟ノ間ニ意見ヲ定メロト仰セニナリマスト甚ダ困ルノデアリマスガ、ドウカ此問題ハ我ニ議員ヲシテ一夜考ヘルダケノ猶豫ヲ御與ヘ下サルコトヲ希望イタシマス、此動議ヲ提出イタシマス

○阪本鉄之助君 上山君ノ動議ニ賛成イタシマス

○男爵阪谷芳郎君 本員モ此問題起ガ惡例ニナルト云フコトヲ甚ダ恐レルノデ、議長ノ御示シニナリマシタ前例ト、唯今ノトハ少シ違ヒマス、本員ハ此少數意見ノ出マシタコトハ少シモ異存ハナイノデス、又或ハ少數意見ノ御説ヲ聞イテソレニ賛成スルカモ分リマセヌ、ソレニハ何等異議ハナイ、併シ議院ノ慣例ニ惡例ヲ作ルト云フコトハ甚ダ面白クナイ、併ナガラ茲デ咄嗟ノ間ニ考ヘロト仰シヤイマスコトハ、今上山君ノ言ハレタ通り困ルノデ、ナラウコトナラ暫ク休憩セラレテ各派、能ク協議シテ見タイト考ヘマス、ドウカ休憩ニ願ヒマス

○伯爵林博太郎君 此問題ハ會期切迫ノ際ニ咄嗟ニ決メルト云フコトモ如何デスカト思ヒマス、且ツ大分問題ガ紛糾シテ來タ次第アリマスノデ、私ハ此際寧ロ少數意見書ヲ撤回スルノガ結構デアルト考ヘマスカラ、自分ハ左様ニ致シタイト考ヘマス

○子爵八條隆正君 私モ少數意見者ノ一人デアリマスルガ、林伯爵ノ御意見ニ同感ヲ持チマスルカラ撤回ヲスルト云フコトニ致シマス

○議長（公爵徳川家達君）諸君ニ御諮リヲ致シタイト考ヘマス、ソレハ貴族院規則ノ疑義ニ屬シマスノデ、議場ニ御諮リヲ致シテ決定イタシタイト存ジテ、將ニ採決ヲ致サムトスル際ニ、江木君ガ意見ヲ述べラレタイト云フコトデゴザイマシタカラ、御許シヲ致シマシタ、其後上山君ヨリ、是ハ重大ノ問題デアルカラ考ヘル爲ニ本日採決ハ見合ハシタラ宜カラウ、ソレニ阪本君ノ贊成條子爵ヨリ少數者意見ヲ撤回セラレルト云フコトデアリマス、少數者意見ヲ撤回セラレマシタ以上ニハ、上山君ノ動議ハ必要ガナイカト考ヘマス、上山君ニ伺ヒマス

○上山滿之進君 少數意見ノ提出者ガ初メ四人デアッテ、一人ハ消エタト云フ、三人ガ誰人ト誰人デアリマスカ、其三人ノ中ノ誰人ガ御取消シニナツタノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○議長（公爵徳川家達君）林伯爵ト八條子爵ガ取消サレマシテ、撤回セラレマシタ以上ハ、自然ニ少數意見ト云フモノハ消滅セラレタモノト考ヘマス

○上山滿之進君 今一人御アリナサル筈デゴザイマシタガ、其方ハ取消サナイデモ宜イノデアリマスカ、初メ四人ノ名前デゴザイマシタケレドモ二人取消シタカラ一人ノ人ハ此場合ニ多數決デ自分ノ意思ニ反シテモ取消スト云フコトニナルノデアリマスガ、其所ガ分リマセヌ

○議長（公爵徳川家達君）他ノ御一人ガ少數者意見ヲ御出シニナリタイト云フ御希望ガアッテモ、ソレコソ規則ニ反スルノデゴザイマスカラモウ別ニ必要ハナイト存ジマス

○上山滿之進君 大變コムヅカシイコトヲ申スヤウデ恐入リマスケレドモ、サウ云フ意味デハナイ、斯ウ云フコトハ先例ニナリマシテ、甚ダ面白クナイ、本來申シマスト、初メ少數意見書ヲ提出サル時モ少シ御考究ニナツタナラバ私共ハコンナ色ミナ混雜ヲ承ラナカツタノデアラウト思フ、併シ混雜シタ以上ハ其ノ結末ヲ明カニシテ置カナイト、イカナイト思フ、ソレデ私ハ申上ゲルノデアリマスガ、四人御提出ニナツタニ拘ラズ、口頭デ其中ノ數人が撤回スル、サウスルトソレハ全部ガ撤回サレタモノト見テ宣シイノデゴザイマセウカ、私分リマセヌカラ伺ツタノデス

○議長（公爵徳川家達君）提出前ニモ研究シタラ宜カラウト云フ問題ハ、別問題ト考ヘマス、其レハ署名者中ノ林伯爵、八條子爵ガ撤回セラレタ以上ハ、

早川千吉郎君ガ如何ニ提出セラレタイト思ハレテモ、規則ガ許サナイノデアリマスカラ、一向差支ナイト思ヒマス

○早川千吉郎君 大分揉メマシタヤウデアリマスカラ、私モ撤回イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 是レデ署名者ガ殘ラズ撤回セラレタノデアリマス、上山君ハ御満足デアラウト考ヘマス、然ル以上ハ上山君ノ御動議ハ自然採決イタヌデモ宜シイカト考ヘマス

○上山満之進君 宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 贊成者ノ阪本君モ無論御異存ハアルマイト考ヘマス

○阪本鉄之助君 誠ニ結構ナコトト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 是カラ少數意見者ノ御説ノ御發言ヲ御許シ致ス積リデゴザイマシタガ、少數者ノ提出ニ相成リマシタ意見ガ撤回ニ相成リマシタカラ、此際本案ニ付テ採決イタサウト考ヘマスガ、唯今委員長ノ報告セラレマシタノハ、日程第十一、十二、十三、三案トモ一括セラレマシタガ、日程第十一ノ法案ニ付テハ通告モゴザイマスカラ、此際ハ日程第十一ノ法案ノミヲ問題ニ供シテ宜カラウカト考ヘマス、念ノ爲メ諸君ニ伺ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵松平賴壽君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員會デハ第十條及ヒ第三十一條ニ修正ガゴザイマスカラ、此二箇條ヲ除キマシテ、會計法ト申ス所カラ終リ迄全部ヲ先づ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ニ問題ニ供シマスノハ、第十條及ビ第三十一條デゴザイマス、規則ニ依リマシテ反對者ノ方カラ發言ヲ許スベキモノト考ヘマス、故ニ八條子爵ノ發言ヲ許シマス

〔子爵八條隆正君演壇ニ登ル〕

○子爵八條隆正君 會計法改正案ニ付マシテハ、委員會ニ於キマシテ先刻特別委員長ヨリ御報告ニナリマシタル通り、唯今問題ニ供セラレマシタル第十二条第二十一條ニ對シテ修正ヲ加ヘラレマシタノデアリマス、本員ハ委員會ニテ提出イタシマシタル所、非常ナル問題ヲ起シマシテ、甚ダ恐縮デアリマスルガ、既ニ少數意見ハ取消シマシタ以上ハ、此際反對意見トシテ私ノ所信ヲ披瀝イタシマス、委員會ニ於テハ少數デ敗レマシタガ、本議場ニ於キマシテ多數諸君ノ御同感ヲ得マシテ、何卒イタシテ本案ノ原案通り可決サレムコトヲ希望イタスノデゴザイマス、時間モ過ギマシテ甚ダ恐縮デアリマスルガ、出來得ル限り簡單ニ意見ハ申述べタイト思ヒマスルガ、多少時間ヲ要シマスルコトデアリマスカラ、何卒暫クノ御辛抱ヲ願ヒマス、修正ヲ加ヘラレマシタル第一點ハ該案ノ第十條ニ關スルコトデアリマス、即チ豫備金支出ノ事後承諾ヲ帝國議會ニ求ムル爲ニ提出スル時期ニ關シマシテ、現行法ニ於キマシテハ年度經過後ノ帝國議會ト云フコトニナッテ居リマスルガ、今回ノ改正案ニ於キマシテハ、其豫備金ノ第一豫備金ト第二豫備金ニ付マシテハ、次ノ常會ニ於テ出スル、常會ニ提出スル、ソレカラ第二豫備金タルトニ因ツテ其提出ノ時期ヲ區別イタシマシテ、第一豫備金ハ現行法通り年度經過後ノ帝國議會ニ提出スル、斯様ニナッテ居ルノデアリマス、之ヲ修正セラレマシタノハ、第一豫備金第二豫備金ヲ區別スルコトナク、等シク次ノ帝國議會、而シテ其帝國議會ハ必ズシモ常會タルコトナク、或ハ衆議院解散後ノ特別議會デモ宜シ、又如何ナル場合ニ於ケル臨時議會デモ宜イ、兎ニ角次ノ帝國議會ニ提出スルト云フコトニ修正セラレマシタノデアリマス、此修正ニ付テ、御意見ヲ伺ヒマスルト、結局今回ノ改正ト云フモノハ決シテ改惡ハナイ、現在ニ於キマシテ豫備金支出ガ年度經過後ノ議會ニ提出スルト云フコトニナッテ居ルガ、是ハ甚ダ緩漫デアル、既ニ支出シタル以上ハ、其責任ヲ明カニスル爲ニ、成ベク早キ次ノ議會ニ於テ提出スルガ適當デアル、其點ニ於テ第二

豫備金ノ支出ニ付テハ次ノ常會ニ帝國議會ニ提出スル、必ズシモ年度經過後ヲ待タナイト云フコトニシタト云フコトハ是ハ確ニ一ノ進歩デアルト云フコトハ認メル、併ナガラ既ニ第二豫備金ニ付テ斯ク改正シタ以上ハ、一步ヲ進メテ第一豫備金ヲモ何故同時ニ速ニ提出シナイノデアルカ、第一豫備金、第二豫備金ト云フモノハ區別ハアルケレドモ、物ノ性質上ニ於テハ其間何等區別ハナイノデアル、ト云フ御說デアリマシタ、即チ第一豫備金ハ豫算ノ科ニアルモノニ付テ不足ガ生ジタル場合ニ於テ其不足タル當初豫期シナイモノ、豫期セザル必要ヲ生ジテ支山シタモノデアル、第二豫備金ハ豫算ノ科目ニハ計上ハアリマセヌデス、併ナガラ臨時ノ場合ニ於テ豫期セザル必要ヲ生ジテ支出シタモノデアル、即チ一ハ豫算ノ科目ニアル、一ハ豫算ノ科目ニハ認メルコトハ出來ヌモノデアルガ、併ナガラ等シク豫期シナイ所ノ必要ニ依テ支出シタト云フコトハ其間大差ガナイノデアル、既ニ其間ニ於テ大差ガナケレバ共ニ等シク同ジ次ノ議會ニ出スノガ至當デハナイカ、既ニ第二豫備金ニ付テ一ノ進歩ヲサシタ以上ハ、第一豫備金ヲモ之ト共ニ改正スルノガ宜イ、斯様ナ御說ニ拜聽イタシタノデアリマス、一應御尤ナヤウニ伺フノデアリマスガ、併ナガラ等シク豫備金ト言ヒナガラソコニ第一豫備金ト第二豫備金トノ區別ヲ致シタノデアリマスルカラ、其間ニハ全然相等シト云フコトハ是ハ認メルコトガ出來ナイ、其間ニ於テ大差ハナイト云フトヲ言ハレマシタヤウニ、大差ハナイガ尙ホ其間ニ多少ノ區別ハアルト云フコトハ認メヌケレバナルマイト思フノデアリマス、即チ第一豫備金ハ豫算ニアル科目ヲ計上シテアル、而シテ其豫算實行ニ當ツテ豫期シナイ所ノ必要ヲ生ジ、其豫算ノ科目ニ認メタル所ノ定額ニ對シテ不足ヲ生ジタル場合ニ於テ支出スルト云フダケノモノデアリマスルカラ、其支出タルヤ豫算ニ對シテ從屬的ノ關係ヲ有ツモノデアル、即チ議會ハ豫算ヲ協賛スル時ニ於テ既ニ其種類ノ支出ト云フモノハアルト云フコトヲ認メテ居ルノデアル、其事柄ニ對シテハ既ニ協賛ヲ與ヘテ居ルノデアル、唯其場合ニ於テ不足ヲ生ジ、議會ノ認メタル事柄デハ金額ニ於テ不足ヲ生ジタ、依テ之ヲ補充スル、其不足ヲ補フト云フノガ第一豫備金デアル、第二豫備金ニ於キマシテハ全然議會ガ豫算ヲ協賛スル時ニ於テハ豫算シナカツタ所ノ事柄デアル、即チ豫算ノ協賛ニ於テハ全然認メテ居ナカッタ所ノ事柄ニ付テ其後支出ヲ要スル必要ヲ生ジテ支出シタモノデアル、即チ豫算ノ性質ハ畧々剩餘金ノ性質ト稍似テ居ルノデアル、剩餘金支出ハ所謂剩餘金支

出デアリマスカラシテ豫備費ト云フモノデハナイ、國庫ノ剩餘金ヲ支出スルノデアル、併ナガラ第二豫備金ノ支出ハ第二豫備金カラ支出スルノデアル、其點ニ於キマシテ剩餘金支出トハ異ッテ居リマスルガ、併シ豫算ノ協賛ノ時ニ當ツテ豫期シナカツタモノデアルト云フ點ニ於キマシテハ略似寄ッタモノデアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、即チ豫算ニ對シテハ第二豫備金ノ支出ト云フモノハ獨立的ノ關係ヲ有ツテ居ルト云フ譯デアラウト思フノデアリマス、即チ斯ノ如ク第一豫備金ト第二豫備金トノ間に於キマシテハ多少ノ差異ガアルノデアル、即チ性質上ニ差異ガアル、即チ性質上異ツテ居ルノデアルト云フコトハ認メ得ラレルデアラウト思フノデアリマス、其性質上ノ差異カラ致シマシテ之ヲ取扱フ……豫備金支出ノ手續ヲ取扱フニ付マシテモ亦其間ニ區別ガアルノデアリマス、即チ第一豫備金ヲ支出シマスニ付テハ前年度年度ノ初メニ於テ勅令ヲ以テ第一豫備金ヲ以テ支出シ得ベキ科目ハ何ミデアルト云フコトヲ規定イタスノデアリマス、略、其科目ハ年々略、同ジ科目ヲ規定イタシテ居ルノデアリマスルガ、即チハ所謂補充科目デアリマシテ、例ヲ舉ゲテ見マスレバ退官賜金及死亡賜金デアルトカ、或ハ官吏ノ療治料デアルトカ、死傷手當、賠償及訴訟費、地所家屋ノ公課、外務本省在外公館及ビ關東都督ノ電信料、或ハ常設仲裁裁判所ノ費用分擔金ト云フヤウナモノデアリマシテ、補充科目ヲ認メルトハ言ヒナガラ、如何ナル科目ニ付テ、モ豫備金ヲ……第一豫備金ヲ……第一豫備金ヲ以テ支出シテモ宜イト云フ譯ノモノデハナイノデアリマス、即チ之ヲ支出スルノニハ已ムヲ得ザル事由ニ依テ支出ノ必要ヲ生ズルモノデアルト云フ如キモノヲ年度ノ初メニ於テ勅令ヲ以テ規定シテ居ル、其他ノ豫算ノ科目ニ付テハ支出スルコトハ得ナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、而シテ之ヲ支出スルニハ已ムヲ得ザル事由ニ依テ支出ノ必要ヲ生ズルモノデアルト云フ第一豫備金ノ支出来ニ至リマスルト云フト、ソレハ手續ガ異ツテ居ル、即チ豫算ニ全然科目ノナイ事柄ニ對シテ支出ヲ致スノデアリマスルカラシテ、是ハ豫算ヲ經テ支出スル、單ニ大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ止マルノデアリマス、然ニ第二豫備金ノ支出ニ至リマスルト云フト、ソレハ手續ガ異ツテ居ル、即チ豫算ニ全然科目ノナイ事柄ニ對シテ支出ヲ致スノデアリマスルカラシテ、是ハ豫算ヲ重クシテ一々勅裁ヲ經テ支出ヲ致ス、斯様ニナツテ居ルノデアリマシテ、取扱上ニ於キマシテモ第一豫備金ト第二豫備金トノ間に於テハ區別ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シテ更ニ翻ツテ考ヘテ見マスルト、之ヲ議會ノ承諾ヲ求メル爲ニ支出スルノニ成ベク速ナル時期ニ於テ議會ノ承諾ヲ求メヌケレバナラヌ、ト云フコトニナリマスト云フト、第一豫備金ノ如キハ日ト云

少シ語弊ガアルカモ知レマセメガ、度々支出ヲセヌケレバナラヌ、官吏ノ死亡賜金、或ハ退官賜金ト云フモノニ於キマシテハ、若シ豫算ニ不足ガアルバ官吏ノ死亡費、退官スル毎ニ豫備費ヲ以テ補充シ行カヌクレバナラヌ、即チ日々其支出ハ之ヲ致シテ行カヌケレバナラヌ、斯ウ云フ事柄ニナルノデアリマスルガ、又第二豫備金ノ方ニナリマスト云フト左様ナモノデハナクシテ、其事柄ガ起リマシタ時ニ出シテ行クト云フ譯ニナツテ行クノデアリマス、從ツテ若シ議論ノ決定ヲ求メマスナラバ第一豫備金ヲ速ニ近キ議會ニ提出スルト云フコトニナリマスレバ、例ヘバ議會開會中ノ如キハ時々其支出ヲ議會ニ提出シテ之ヲ求メヌケレバナラヌ、承諾ヲ求メヌケレバナラヌト云フヤウナル煩雜ナル事柄ニナツテ來ルノデアリマス、若シモ斯程マデニ議論ノ徹底ヲ求メマセヌデモ、其ノ計算書ヲ作リマスルニハ、凡ソ纏メテ之ヲ作ラナケレバナラヌ、例ヘバ第一豫備金ヲ支出イタシマシタナラバ其次ノ議會マデノ所デ以テ一段落ト致シ、ソレマデノ所ノ支出ノ計算書ヲ作ル、而シテ其議會ニ提出スル、其議會ノ開會ニナリマシタ以後ノ分ハ、又更ニ計算書ヲ作ツテ、其次ノ議會ニ提出スルト云フヤウナ事柄ニセヌケレバナラヌ、從ツテ之ヲ具體的ニ申スナラバ、四月一日會計年度ガ始マリマシテカラ、其冬ノ議會ガ開會ニナリマスルマデノ分ハ始メテ計算書ヲ作ツテ其議會ニ提出スル、而シテ十二月ノ二十五六日カラシテ三月三十一日マデニ至リマスルマデノ分ニ付テハ、又之ヲ翌年度ノ議會ニ提出セナケレバナラヌ、斯様ニ一年度ノ計算書ヲ二度ニ分ツテニツノ議會ニ提出セヌケレバナラヌト云フ煩雜ナル事柄ガ起ツテ來ルノデアリマス、第二豫備金ノ方ハ豫算ノ科目ニナイ事柄ニ付テ臨時に支出スルモノデアリマスカラ、四月一日會計年度ガ始マリマシテカラ、議會召集マデノ分ハ、一經メニシテ其議會ニ提出スル、而シテ凡ソ第二豫備金ノ支出ト云フモノ議會ノ協贊ヲ經レバ宜イ、左様ナ關係ニナツテ居リマスルカラ、實際ノ取扱上ハソレデ以テ畧、終ル、議會開會ニナツテ居リマスレバ、議會開會中ニ於テ必要ヲ生ジタル時ハ、追加豫算ヲ以テ其議會ニ提出スレバ宜イ、追加豫算ヲ以テ實際之ヲ承諾ヲ求ムルト云フ上ニ於キマシテ煩雜デアリヤ否ヤト云フコトノノ煩雜ト云フ點ガ餘程變ツテ來ルノデアリマスルカラシテ、第一豫備金第二豫備金ハ右様ノ如ク其性質上ニ於テモ區別ガアリ、取扱上ニ於テモ差異ガアリ、白クモナク、又理論上モ右様ナモノデナク、實際上モ甚ダ困難デアルト云フ區別ガソコニアルノデアリマスカラ、之ヲ同様ニ取扱フト云フコトハ甚ダ面

結果ニナルノデアラウト思フノデアリマス、或ハ言ハル、デアリマセウ、現ニ
委員會等ニ於テモ御意見ガアツタヤウデアリマスガ、今回ノ會計法ノ改正ニ於
キマシテハ先程委員長ヨリモ御報告ニナリマシタ通り、決算ノ提出時期ヲ一
年繰上ゲタ、即チ現在ニ於キマシテハ二年越シニナツテ決算ヲ提出シタモノ
ヲ、一年繰上ゲテ議會ニ提出スルト云フコトニナツタノデアリマス、其結果第
一豫備金ノ事後承諾ヲ求ムルモノヲ年度經過後ノ議會ト云フコトニ致シマス
ト、決算ノ提出ト同時ニナル、是ハ甚ダ面白クナイデハナイカト云フ御意見
モアリマス、併ナガラ決算ノ提出ト云フモノト、豫備金支出ノ事後承諾ト云
フモノトハ、其性質ガ異ッタモノデアリマスカラ、時ハ必シモ同一議會ニ同時
ニ提出スルト云フコトニナツテモ、少シモ差支ヘナイト云フ理窟ニナラウト存
ジマス、次ニ修正ハ常會ニ於テ帝國議會ニ提出スル、即チ事後承諾ヲ求ムル
爲ニ提出スル所ノ議會ハ常會デアルト云フコトニ改正案ハナツテ居ルノデア
リマスルガ、修正ハ此點ニ對シテ、其常會タルヲ要セナイ、臨時議會デモ宜
イデハナイカ、特別議會デモ宜イデハナイカト云フ御說デアリマスガ、併ナ
ガラ斯様ニナリマスト云フト、餘リニ窮屈ニナルノデアリマス、衆議院解散
後ノ特別議會デアリマシタナラバ、前例ニ依リマスト相當長期ノ議會デアリ
マスルカラ、敢テ差支ハナイカモ知レヌノデアリマスルガ、臨時議會ト云フ
コトニナレバ、隨分短期ノ議會モアルノデアリマス、或ハ戰爭事變等ノ爲ニ
召集セラレル議會ハ、一兩日ニシテ終ル場合モアリマセウ、又御大禮トカ或
ハ御大葬トカ云フヤウナル議會ニ於キマシテハ一日デ終ルヤウナ議會モアル
デアラウト思フノデアリマス、左様ナ場合ニ於キマシテ、豫備金ノ事後承諾
ト云フガ如キモノヲ提出イタスト云フコトハ果シテ事實上如何ナモノデアリ
マセウカ、餘程是ハ政府ニ於テモ、又議員ガ之ニ承諾ヲ與フベキヤ否ヤヲ審
査スル上ニ於キマシテモ、隨分困難ナル事柄デアラウト思フノデゴザイマス、
況ヤ第一豫備金ヲモ第二豫備金支出ト同様ニ次ノ議會ト云フコトニ致シマ
スト云フコトハ前述イタシタ如キ事柄モアルノデアリマスカラ、一層承服シ
難イ御議論デアルト思フノデゴザイマス、斯様ナ理由ニ依リマシテ、第十條
ノ御修正ニハ本員ハ反對イタシマシタノデアリマス、次ニ第三十一條第二項
ノ削除デアリマスルガ、是ハ所謂政府ノ契約ニ關スル事柄デアラウト思フノデゴザイマス、現行法
ノ下ニ於キマシテハ、政府ノ工事請負、物品ノ賣買、貸借等ハ總テ公入札ニ

依ル、而シテ其例外トシテ或ハ指名競争入札、或ハ隨意契約ニ依ルベキ場合ニ付テハ、法律又ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルト云フコトニ現行會計法第八條ニ規定イタシテ居ルノデアリマス、之ヲ今回ノ改正法案ニ於キマシテハ、原則ト致シマシテハ公入札ニ依ル、一般ノ競争入札ニ依ルト云フコトハ、現行法ト異ナル所ハナイノデアリマス、併ナガラ此ノ公入札ニ依ルト云フコトガ、國家ニ不利ト認ムル場合ニ於テハ、國務大臣ハ自己ノ責任ヲ以テ、隨意契約ニ依テモ宜イト云フ改正ヲ企テマシタノデアリマス、併ナガラ修正案ニ於キマシテハ、國務大臣ニ斯ル廣汎ナル權限ヲ付與スルト云フコトハ面白クナイ、寧ロ現行法ノ通リニ致シテ嚴重ニ取締ルノガ宜シイ、斯様ナ意見ヲ以テ第二項ノ國務大臣ガ國家ノ上カラ考ヘテ不利ト認ムル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得ルト云フ第二項ヲ削除イタシタノデアリマス、元來競争入札ナルモノハ一般ノ入札希望者ヲシテ契約締結ニ關スル條件ヲ提出イタサセマシテ、而シテ國ガ最モ利益ナリト認ムル所ノ條件ヲ提出イタシマシタル者ヲ以テ落札者ト致スト云フ譯ノモノデアリマシテ、誠ニ公平ナル、即チ公平ノ趣意カラ申セバ最モ宜イヤウデアリマス、從ツテ總テノ一般ノ入札希望者ガ入札ヲ合ニ於キマシテハ國家ニ對シテ有利ナルモノデアルト云フコトニナルノデアリマス、併ナガラ事實ハ之ヲ裏切リマシテ往々ニシテ、豫期シナカッタ所ノ不以テ相手方トシテ契約スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、概シテ多クノ場想通リニ行ハレルモノデアリマシタナラバ、最モ結構ナコトデアルノデアリマスガ、併ナガラ事實ハ之ヲ裏切リマシテ往々ニシテ、豫期シナカッタ所ノ不利益ナル結果ヲ齎ラスコトガアルノデアリマス、而モ其弊害タルヤ少カラヌノデアリマス、能ク例ヲ引クノデアリマスガ競争入札者ノ間ニ於ケル談合ナルモノデアリマス、即チ談合ト云ヘバ、入札希望者ガ御互ノ間ニ密カニ協議ヲ致シマシテ、落札者ヲ決メル、サウシテ其落札者ヲシテ一定ノ金額ヲ提供イタセマシテ、ソレヲ入札者間ニ於テ分配スルト云フヤウナル事柄ガ能ク時ニ行ハレルノデアリマス、其事柄ハ屢々行ハレルノデアリマシテ、別ニ不思議ナコトデハナイノデアリマスガ、一二ノ例ヲ舉ゲテ見マスレバ、嘗テ大正五年ノ頃ニ朝鮮總督府ニ於テ京釜線ノ鐵道ノ一部ヲ是ハ競争入札デハナク、指名競争入札デハアリマシタガ入札ニ付シタ所ガ、其一回ニ於テハ所謂談合ノ結果落札人ヨリ提供イタサセマシタ金額ガ十萬何千圓ト云フヤウナコトガア

ル、又同ジ年ノ四月頃ニ落札ニ付シマシタ時ニハ十二萬何千圓ト云フ巨額ノ金ヲ提出イタサセマシテ、之ヲ入札者間ニ於テ分配ヲ致シタ、其爲ニ刑事問題ヲ起シマシテ、ソレソレ處罰ヲサレタト云フヤウナ例モアルノデアリマス、又大正矢張五六ノ頃ニ亞リマスルガ、斯ノ如キコトガ臺灣等ニ於テモ行ハレタト云フ例モアル、斯様ナ譯ニアリマシテ、最モ理想的デアルベキ筈ノ競争入札ナルモノハ往々ニシテ國家ノ不利益ヲ齎ラスト云フコトハ屢々アルノデアリマス、競争入札ノ本來カラ申シマスレバ、廣ク入札者ヲ求メルト云フコトガ理想的デアルノデアリマスガ、事實ニ於テハサウデハナイノデアリマシテ、或官廳ガ契約ヲシヤウト云フ場合ニハ大抵其官廳ニ常ニ出入イタシテ居ル所ノ者ガ入札ヲスルト云フヤウナコトデアリマシテ、必ズシモ廣ク一般ノ人ガ入札ヲスルノデハナイ、比較的狭イ範圍ニ於テ入札ガ行ハレルノデアリマス、而シテ彼等モ真ニ其契約ヲ請負ハムトスルノデハナイノデアリマシテ、先程申上ゲマシタル如クニ談合ニ依ル不正ノ分配金ヲ得ヤウト云フ目的ノ爲ニ其入札ニ加入スル者モ少カラヌノデアリマス、又一旦落札ヲ致シマシテモ必ズシモ自分ガシマヒマデ其契約ヲ履行スルト云フ意思ガナイ、初メカラ其意思ガナクシテ落札ヲ致シ、而シテ其下請負人ガ……下請負ヲサセ、其間ノ差益ヲ儲ケルト云フヤウナコトモアルノデアリマス、其弊害モ隨分甚ダシイモノデアリマスカラシテ、眞面目ニ競争入札ニ加ハルト云フ人ハ少ナイ、少ナイト云フト語弊ガアリマスガ、真ニ其談合ニ加ハラズシテ入札ヲシヤウト云フ者ガアレバ、其談合ニ與スル者ハ皆ガ寄ツテ掛カッテ之ヲ排斥スル、脅迫ヲ加ヘルト云フヤウナ譯ニアリマスカラシテ、眞面目ナ人ハ全ク競争入札ニ加ハルコトヲ好マナイト云フ結果ヲ齎ラスノデアリマス、官吏ノ方モ契約ヲ致ス役人ノ方モ既ニ競争入札ニサヘ致シタナラバ自己ノ責任ハ濟ムノデアル、申譯ハ濟ムノデアル、ソレガ果シテ國家ノ爲ニ善イ結果ガ出來ナクテモ敢テ忠ナラムトスル念慮ガ乏シクナル、薄カラシムルト云フ結果ガ來ルノデアリマス、要スルニ競争入札ナルモノハ理想トシテハ誠ニ結構ナルモノデアリマスガ、必シモ其通り理想通り行ハレルモノデナク、然ラバ之ニ對シテハ何等力ノ救濟方法ガナクテハナラヌ、即チ救濟方法ト云フモノハ僅ニ競争入札ニ依ルト云フコトガ不利益デアルト認メル場合ニ於テハ纔ニ確實ナル相手方ヲ選

ンデ、其者ノ間ニ於テ入札ヲサセル、即チ指名競争ニ依ルカ、或ハ確實ナリト信ズル所ノ特定ノ相手方ヲ選ンデ、之ト契約ヲスル、即チ隨意契約ニ依ルト云フヨリ外ニ途ハナイ、斯様ナ趣旨ヲ以チマシテ改正案ニ於テハ其一般競争入札ニ依ル弊害ヲ緩和セムガ爲メ方法トシテ、國務大臣ニ隨意契約ヲ締結スルノ權限ヲ與ヘヤウト云フノデアリマス、然ニ修正案ヲ御主張ニナル方ハ此政府ノ改正案ヲ御採用ニナラヌ、國務大臣ノ責任ニ於テ隨意契約ニ依ルト云フコトハ弊害ヲ生ズル因デアルカラ、是ハ認ムルコトハ出來ナイト云フ御考カラシテ、第二項ヲ削除セラレタノデアリマス、併ナガラ委員會ニ於キマスル討論或ハ御質問中ニ於ケル御意見等ニ依テ察シマスルト、此修正案ヲ稱ヘラレル御方モ必シモ此改正ニ對シテハ御反対デハナカッタヤウニ思ハレタノデアリマス、即チ委員中ノ一人最モ御經驗ノアル若櫻君ハ自分モ嘗テハ此競争入札ナルモノノ弊ト云フモノノ甚ダシイコトヲ認メタノデアル、從ツテ或時代ニ於テハ此今回ノ改正ノ如ク何カ競争入札ノ弊ヲ去ル方法ヲ講ゼナケレバナラヌト云フコトヲ認メタノデアル、併ナガラ今日ノ場合ハ宜シクナイ、此修正入札ナルモノノ弊ト云フモノノ甚ダシイコトヲ認メタノデアル、從ツテ或今日ノ場合ニ於テ斯クノ如キ改正ヲ企テルト云フコトハ其時機ヲ得タモノデナイ、今日ハ誠ニ世間ニ於テ種々如何ハシキ事件ガ頻發スル際デアル、デアルカラシテ以前ヨリモ今日ノ方ガ社會ノ風紀ガ宜シイト云フ譯ナラバ、此改正モ宜カラウ、併ナガラ以前ト今日ト較ベルト、甚ダ遺憾ナルコトデハアルガ、ドウモ一般ニ官紀モ弛廢シテ居ル有様デアル、斯ル場合ニ於テ隨意契約ノ範圍ヲ擴ゲルト云フコトハ往々ニシテ弊害ヲ生ジ易イモノデアルカラシテ、今日ノ場合ニ於テハ之ヲ反対セザルヲ得ナイ、斯様ニ御主張ニナッタノデアリマス、自然其結果トシテ現行法ニ依ルト云フノガ宜シイ、現行法ニ依ルコトニナレバ隨意契約ニ依ル場合ハ一々勅令ヲ以テ規定スルノデアルカラシテ、大臣ノ任意ニ隨意契約ヲスルコトハ出來ナイノデアル、勅令デスルコトデアリマス、各國務大臣ハ若シ一般競争入札ニ依ルコトガ出來ナイ、隨意契約ニ依ルノ必要ガアルト認メタ場合ニ於テハ事情ヲ具シテ大藏大臣ニ相談ヲスル、大藏大臣ハ之ヲ審査シテ隨意契約ニ依ルノ已ムヲ得ナイト認メタ場合ニ於テハ勅令ヲ發布セラル手續ヲ執ルノデアル、即チ國務大臣一人ガ其場合ニ於テ是非ヲ判斷スルノデハナク、種々ノ機關ヲ經て慎重ニ審議セラル、ノデアルカラ、幾ツモノ機關ヲ通シテ行クノデアルカラシテ、其弊ヲ生ズルコトハ少ナイ、デアルカラシテ現行法ノ通リニ致シテ嚴重ニ取締ッタ方ガ宜シイ、斯ウ

云フ御意見デアッタト思ヒマス、洵ニ右ノ御意見ノ如ク今日ノ社會ノ狀況ヲ見マスルト洵ニ遺憾千萬ナコトデアリマス、近年ノ有様ヲ見マシテモ或ハ先ホド豫算委員長ノ御報告中ニ御演説ニナリマシタ如ク、稅務官吏ノ不正事件、官金費消ト云フヤウナコトモアリ、或ハ稅關吏ノ不正行為、之ヲ又東京市ニ於テ見マシテモ砂利喰ヒ事件トカ、洵ニ如何ハシイ事件ガ頻發シ、又最近ニ兩院ノ問題トナリ紛糾ヲ來シタ所ノ満鐵ノ問題、阿片ノ問題、満鐵ノ問題ハ果シテ如何ナル事情デアッタカト云フコトハ私ハ存ジマセヌガ、兎ニ角ニ世ニ疑惑ヲ起サシタト云フコトハ事實デアリマス、斯ノ如ク社會ノ風紀ノ弛廢ト云フモノハ我ニハ誠ニ之ヲ遺憾トスルノデアリマス、實ニ是ガ肅正ハ御互ニ努メスケレバナラヌト云フ感ジハ全ク御同感デアルノデアリマス、併ナガラ是ハ私ハ一時の現象デハナイカ、常ニ斯ノ如キ不正事件ガ續々出ルト云フ譯ノモノデハナイ、今日偶々斯ノ如キ事件ガ輻湊イタシタノデアル、若シモ致シスノ如キ不祥事ヲ匡正シナケレバナラヌ、此肅正ヲシナケレバナラヌト云フ考ヲ有ツノデアリマス、併ナガラ思フニ斯ノ如キコトハ一ツノ流行病ノガナイノデアリマス、我ニハ政府ト言ハズ議員ト言ハズ國民ト言ハズ協同一シタナラバ、豫防イタシマシタナラバ遂ニ猖獗ヲ極メタ所ノ流行病モ或ル時機ニハ終熄スルニ至ルモノデアラウト思フノデアリマス、又左様ニ致サセシタナラバ、豫防イタシマシタナラバ遂ニ猖獗ヲ極メタ所ノ流行病モ或ル時計法制定以來三十年程ニモナリマス、其間隨分久シキ間ノ經驗ニ依リマシテ競争入札ノ如キ弊害モ當局者ハ感ジテ居ツタノデアリマスルガ、扱之ヲ改正セシムト致シマスレバ憲法附屬ノ法律トモ謂フベキ重大ナル法律デアリマスルカラシテ、容易ニ此一點ノ爲ニ改正ヲ企テルト云フコトガ出來ナカッタ、遂ニ今日ニ至ツテ預金制度ノ採用デアルトカ、是ガ其眼目デモアリマセウガ、ソレニ連レテ種々ノ點ニ改正ヲ加ヘラレル、其序ニ漸クニシテ此契約ニ關スルナコトニナルカモ知レヌト思フノデアリマス、ノミナラズ修正論者ハ現行法ノ規定ヲ以テ最モ能ク競争入札ノ弊害ヲ防ギ得ルモノデアル、又隨意契約ニ依テ亂雜ニナルト云フコトヲ防ギ得ルモノデアル、即チ今回ノ改正案ノ契約

ニ關スル點ヲ削除シテ現行法通リニサヘヤレバ最モ理想的ニ又差支ナク行ハ
レルモノデアルト云フヤウナ御考デアルカモ知レヌト思フノデアリマスガ、
決シテ現行法ト雖完全ナルモノデハナイ、我々ハ現行法通リニ行ケバ完全
デアルト云フコトハ決シテ言ヒ得ナイノダラウト思フノデアリマス、即チ現
行法ノ制度ニ依リマスルト云フト一々隨意契約ニ依ル場合ハ勅令ヲ以テ定ム
ルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、其勅令ハ既ニ百十内外ノ多數ニ
上ツテ居ルノデアリマス、勅令ノ數ハ百有餘ニ達シテ居ルノデアリマス、而シ
テ其百有餘ノ勅令ハ色々隨意契約ニ依ル場合ノ廣イ狹イノ區別ハアリマス
ガ、兎ニ角勅令デアリマスルカラシテ、一々個々ノ契約ト云フモノヲ勅令ニ
依テ定メタモノデアリマス、勅令ノ數ハ百有餘ニ達シテ居ルノデアリマス、而シ
テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得ト云フ規定ニナッテ居ルノデアリマシテ、其間ニ
是ガ國家ノ爲ニ不利ナ結果ヲ來スト云フ場合ニ限テ云フヤウナ條件ハナ
イ、斯クスクノ場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得ト云フコトニナッテ居ル
ノデアリマスカラシテ、其場合ニ該當スルトキニ於テハ必シモ利不利ノ判断
ヲ致サズシテ、總テ隨意契約ニ依ルト云フ實際ノ有様デアルノデアリマス、
而モ其隨意契約ニ依リ得ルト云フコトヲ規定シタ所ノ勅令ハ、其一二ノモノ
ハ隨分狭イモノモアリマスルガ、比較的廣ク規定イタサレテ居ルノデアリマ
ス、例ヘバ朝鮮總督府デアルトカ、或ハ臺灣總督府デアルトカ、樺太デアル
トカ、或ハ鐵道會計等ニ於テハ非常ニ廣キ範圍ニ於テ隨意契約ヲ許シテ居ル
ノデアリマス、例ヘバ鐵道會計ニ於キマシテハ簡單デアリマスルカラシテ朗
讀ヲ致シテ見マスルガ、鐵道會計規則ニ依リマスレバ、其第三十一條ニ於テ
「左ニ掲タル場合ニ於テハ所管大臣ノ定ムル所ニ從ヒ隨意契約ニ依ルコトヲ
得、一、土工、橋梁、隧道、軌道、停車場、倉庫、機械工場、船舶及旅館ニ關
スル工事ヲ請負ニ付スルトキ、二、鐵道事業用ノ諸材料、車輛、船舶、器具、
機械、機械運轉用品、被服及船舶、旅館ノ營業用ノ物品ヲ賣買スルトキ、
隨意契約ニ依リ得ルト云フヤウナ規定ニナッテ居ル、又朝鮮、又ハ臺灣ニ於ケ
ル政府ノ工事及物件ノ買入借入ニ關スル件ト云フ勅令ヲ見マスト、朝鮮又ハ
臺灣ニ於ケル政府ノ工事及、千五百圓ヲ超エザル物件ノ買入借入ハ競爭ニ付
セザル隨意契約ニ依ルコト、即チ政府ノ工事ハ悉ク隨意契約ニ依テ宜シイト

云フコトニナッテ居ル、樺太ニ於テモ殆ド之ト同様ナル規定ガアル、斯様ナ譯
デアリマシテ必ズシモ勅令ニサヘ依レバ、嚴重ニ取締得ルト云フノデハナ
上ツテ居ルノデアリマス、況ヤ勅令ニハ、多クノ場合、殆ド總テデアリマセウガ、
不利デアルヤ否ヤト云フ條件ハナイノデアル、斯ノ如キ場合ニ於テハ、隨意
契約ニ依リ得、斯様ニ規定イタシテ居ルノデアリマス、殆ド此勅令ノアル場
合ニ於テハ、其ノ隨意契約ニ依リ得ル範圍ト云フモノガ、極メテ廣汎ナルモ
ノデアリト云フコトガ言ヘルノデアリマス、デアリマスルカラシテ、現行法
ニ於キマシテハ、勅令ノアル場合ニハ、斯ノ如キ廣イ範圍ノ隨意契約ガ認メ
ラレテ居ル、勅令ノナイ場合ニ於テハ、全然隨意契約ガ出來ナイノデアリマ
スカラシテ、一般競争ノ入札ニ依ラナケレバナラヌ、一般競争入札ノ弊ニ堪
ヘナイ、非常ニ苦シイ思ヲ致シテ居ル、即チ其間ニ於テ、寛嚴宜シキヲ得ナ
イト云フ結果ニナルダラウト思フノデアリマス、即チ現行法ニ依リマシタト
テモ、決シテ安心デアルト言フコトハ出來ナイ、ソコニ非常ナ大キナ抜穴ガ出
來テ居ルト云フコトヲ感ズルノデアリマス、而シテ今回改正案ガ通過イタシ
マシテ發布ニナリマシタナラバ、政府委員ノ説明ニ依リマスト、斯ノ如キ多
數ノ勅令ハ大部分之ヲ廢止シテ仕舞フト云フコトデアルノデアリマス、而シ
テ是ニ依テ勅令ノ整理ヲスルト云フノデアリマス、デアリマスカラシテ、寧
ロ改正案ニ於キマシテハ唯今勅令ニ依テ、廣ク許サレテ居ル隨意契約ハ、著
シク之ヲ狭バメラレテ、其適用ノ範圍ハ、僅ニ國務大臣ガ一般競争入札ニ依
ルコトヲ不利ト認ムル場合ト云フコトニ限ラレルト云フ譯ニナルノデアリマ
ス、ソレデアリマスルカラシテ、改正案ニ依タカラ甚グ不安心デアルト云フコ
トハ言ヒ得ナイデアラウト思フノデアリマスノミナラズ、今度ノ改正案ニ依
リマスレバ、國務大臣ニ非常ニ廣イ範圍ノ隨意契約ヲ認メテ居ルノデアリマ
スルガ、之ニ對シテハ相當取締ノ方法ガ付テ居ルノデアリマス、即チ先ツ以
テ其競爭ハ唯今ノ現行法ノ隨意契約ノ如クニ無條件ニ之ヲ許シテ居ルモノデ
ハナイ、即チ公入札ガ不利益トスル場合ト云フ條件ガ付テ居ルノデアリマス、
而シテ其條件ナルモノハ、不利デアルヤ否ヤト云フコトハ、各個ノ契約ニ付
テ見マスレバ、何人ト雖常識デ以テ判断シ得ルノデアル、國務大臣ガ契約
ヲ致シ、ソレヲ不利デアルト見タナラバ、其責任ヲ問フノ途ハアルノデアリ
マス、ノミナラズ此ノ國務大臣ガ隨意契約ヲナシタル場合ニ於テハ一々其ノ
都度會計検査院ニ對シテ其ノ隨意契約ニ依ラネバナラヌト云フ事由ヲ詳カニ

申シテ、検査院ニ通知スルト云フコトニナッテ居ル、即チ此通知ヲ受ケタル會計検査院ハ其ノ隨意契約ノ果シテ當ヲ得タルモノデアルヤ否ヤア、監視ノ機會ガ與ヘラレテ居ルノデアリマス、此點ニ付マシテハ、本案ヲ起草セラレル時ニ、非公式デハアツタサウデアリマスガ、會計検査院ノ職員モ矢張此起草ニ參加シテ、是デ差支ガナイト云フコトニ認メテ居ツタモノデアルサウデアリマスカラシテ、此點ニ付テハ相當ニ監督ノ途ハ付カウト思ウテ居リマス、ノミナラズ今回ノ會計検査院法ヲ改正セラレ、其組織ヲ變更シ定員ヲ増加シテ、一層會計検査ノ效ヲ擧ゲヤウト云フコトヲ企テラレテ居ルノデアリマス、即チ此ノ檢査院ノ職員ノ增加ト云フモノハ單ニ此契約ニ關スル監督ノ爲メノミデハアリマセヌ、固ヨリ決算ノ提出ノ時期ヲ早メルト云フヤウナコトモ、亦其ノ定員増加ノ一理由デアリマス、又其他ノ點ニ付テモ定員増加ノ理由ニナッテ居ルノデアリマスガ、此點モ亦増員ノ一理由デアルノデアリマス、デアリマスカラシテ検査院ノ検査ノ周到ト云フコトハ、相當ニ實效ヲ擧ゲ得ルモノデアラウト思ハレルノデアリマス、今回會計法ノ改正ニ依リマシラ決算ノ提出ノ時期ヲ早メラレルノデアリマス、從來ヨリモ一年決算ノ提出期ガ早クナッタノデアリマス、デアリマスカラシテ此契約ノ結果ト云フモノモ、一年早ク議會ニ提出セラレマシテ、議會ガ之ヲ審査スルノ機會ヲ得ル譯デアリマス、即チ餘リ契約ト遠カラザル時期ニ於テ審査ノ機會ヲ得ルト云フコトニモナルノデアリマス、以上ノ如ク此ノ隨意契約ニ對シマシテハ、事後ノ監督ナルモノハ周到ニ盡ス途ガアラウト思フノデアリマスガ、事前ニ於キマシテモ不取締ニ流ル、コトヲ取締ル途ガアルノデアリマス、即チ先刻委員長ヨリ報告ニナリマシタル通り、委員會ニ於キマシテ、今回ノ改正ノ結果隨意契約ノ範圍ガ廣クナッタガ、之ニ付テ其ノ監督方法ハ如何ニナサレルカ、又各省ノ間ニ於キシテ、或ハ不利ナル條件ヲ嚴ニ解釋シ、或ハ寛ニ解釋スル、其間ニ寛嚴ノ差ヲ生ズル、不統一ニ付テハ何カ御取締ノ方法ガアルカト云フコトヲ、私ヨリ總理大臣ニ質問ヲ致シマシタ所ガ、總理大臣ハ其點ニ付テハ閣議決定ヲ以テ内規ヲ定メテ斯ミノ場合ニ依テハ、隨意契約ニ依テモ宜イト云フコトヲ定メル、而シテ又左様ナコトヲ一般的ノ標準ヲ定メルコトノ出來ナイ場合ニシテハ、隨意契約ヲ必要トスル時期ニ於テ、一々各省大臣ヨリ大藏大臣ニ相談ヲスル、其承認ヲ求メルコトニシテ、各省ノ間ニ於テ統一ヲ破ルコトヲ定メル、又監督ヲモ嚴重ニシテ濫リニナラヌヤウニ、防ぐ方法ヲ講ズ

〔若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○若槻禮次郎君 私ハ委員會ノ修正案ニ賛成スルモノデアリマス、本日ハ總豫算ノ會議、追加豫算ノ會議並ニ重要ナル法案ノ討議ガ是迄アリマシテ、諸

ル積リデアル、斯様ニ言明イタサレタノデアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ、私ハ現行法ヲ見マスルト云フト、一方ニ於テハ競爭入札ヲ墨守スル結果非常ニ其弊ニ堪ヘナイ、又他方ニ於テハ百有餘ノ勅令ノアリマスガ爲ニ、非常ニ其間ニ於テ煩雜ニナル、又不取締ニナリ易イト云フヤウナル缺點ガアルノデアリマスルシ、又修正論者ノ御意見ノ如ク、時弊ニ付テノ御心配ニナルナラバアルト云フコトハ決シテ言ヒ得ナイノデアリマス、即チ如何ナル制度ヲ採リマシテモ、其間ニ於テハ弊害ハアリ得ルノデアリマス、而シテ改正案ハ現行法ノ下ニ於テモ亦少カラヌノデアリマス、今日ノ弊害ヲ御心配ニナルナラバアルト云フコトハ決シテ言ヒ得ナイノデアリマス、即チ如何ナル制度ヲ採リマシテモ、其間ニ於テハ弊害ハアリ得ルノデアリマス、而シテ改正案ハ現行法ノ下ニ於テモ不安心デアルト言ハネバナラヌ、現行法ニ依レバ安心デアルト云フヤウナコトモ、亦ハスノ如キ廣キ隨意契約ヲ許スト云フコトハ外國ノ立法例ヲ見テモ餘リナインコトデル、日本ノミガ之ヲ寛ニ取扱フト云フコトハ如何ナモノデアルカト云フヤウナ御意見デアルカモ知レヌト思フノデアリマスガ、外國ノ立法例ニヨリマシテモ全然ナイコトモナイヤウデアリマス、一二ノ例ハナキニシモアラルト思フノデアリマス、泥棒ノ多イ所デハ戸締ヲ嚴重ニシナケレバナラヌ、又質朴ナル田舎ニ於テハ必ズシモ戸締ヲシナクテモ安ンジテ眠ルコトが出来ル、又泥棒ノ多イ所デアツテモ警察ノ設備ガ完備シテ居ルナラバ必ズシモ戸締ヲセヌデモ泥棒ガ這入ルト限ツタモノデハナイ、即チ各國情ニ依テ違フノデアリマスカラ、外國ノ立法例ノ有無ニ依テ我國ノ立法ヲ如何ニスルカト云フコトヲ決スベキ問題デハナイト思フノデアリマス、大體右様ノ趣意ニシテ、私ハ寧ロ修正案ヨリモ政府ノ原案ヲ以テ可ナリト致シマスルノ依リマシテ、私ハ寧ロ修正案ヨリモ政府ノ原案ヲ以テ可ナリト致シマスルノト云フコトヲ決スベキ問題デハナイト思フノデアリマス、大體右様ノ趣意ニシテ、或ハ不利ナル條件ヲ嚴ニ解釋シ、或ハ寛ニ解釋スル、其間ニ寛嚴ノ差ヲ生ズル、不統一ニ付テハ何カ御取締ノ方法ガアルカト云フコトヲ、私ヨリ總理大臣ニ質問ヲ致シマシタ所ガ、總理大臣ハ其點ニ付テハ閣議決定ヲ以シタ次第デアリマスルガ、何卒多數諸君ノ御賛成ヲ得テ本案ハ本議場ニ於テモ政府原案通リ可決セラレムコトヲ偏ニ希望イタス次第デアリマス

君ハ大分御疲レニナツテ居ラセラレルヤウデアリマス、斯様ナ時ニ此ノ法律案ヲ討議セラレルト云フコトハ私ハ誠ニ之ヲ遺憾トスルモノデアリマス、會計法ハ御承知ノ通リ憲法附屬ノ法律デアリマス、誠ニ重要ナル法律デアリマス、此重要ナル法律ノ全部改正ヲ行ハレル場合ニ疲レタト申シテハ相濟ミマセヌガ、御亘ニ外ノ議案ニ依テ餘程頭ヲ惱マシメタ其後デ、茲デ討議スルト云フコトハ、私ハ誠ニ之ヲ遺憾トスルモノデアリマス、併ナガラ今ヤ是ガ最後ノ決定ヲセラレ掛ケテ居ルノデアリマスカラ、ドウシテモ一通り私ガ委員會ノ修正案ニ賛成スル所以ノコトヲ申上ゲテ、是非御賛成ヲ願フト同時ニ御判断ヲ仰ガナケレバナラスト思フノデアリマス、委員長ノ御報告ニナリマシタ通り今回ノ會計法ノ改正ノ眼目タルモノハ金庫制度ヲ改メテ預金制度ニスルト云フ事柄デアリマス、此事柄ハ私共豫テヨリサウアリタイト思ツテ居タコトデアリマス、又私ノミナラズ世間ニモ大變希望シテ居タコトデ、衆議院ナドデハ屢々建議ノアッタ問題デアリマス、此問題ガ今日其議ヲ容レラレテ茲ニ改正案トナツテ出マシタト云フ事柄ハ、私ノ誠ニ喜ブ所デアリマシテ、茲ニ至リマシタ事柄ニ付マシテハ、高橋大藏大臣ノ努力ヲ大ニ多トスルモノデアリマス、ノミナラズ其他ノ改正條項モ此度ノ改正案ハ大體ハ誠ニ結構デアリマス、其事柄ハ委員長ガ先程述べラレタ通りデアリマス、ソレデアリマスカラ、私共ハ此ノ會計法ノ改正法律案ハ成ベク速ニ通過シテ、折角善良アル改正ヲ企テラレタコトデアリマスカラ、是ニ一日モ速ニ實行力ヲ有タシメタイト希望スルノデアリマスガ、唯今問題ニナツテ居リマスルニ箇條ナルモノハ、是ハ全體カラ申シマスレバ、ドッヂカト云ヒマスルト、重要ナル程度ガ左程大キイモノデハナイノデアリマス、併シ折角立派ナル會計法ノ改正ヲナサレルモノナラバ、一步ヲ進メテ委員會ノ修正案ノ如キコトニナリマシタナラバ、一段良クナルノデアリマス、折角出來ルモノデアルナラバ、委員會デモ斯ノ如キ案が出來テ居リマスカラ、此儘デ委員會ノ修正ヲ御認メニナレバ如何ニモ立派ナ會計法ガ出來ルノデアリマスカラ、此意味ニ於テ御疲レニナツテ居リマセウケレドモ、ドウシテモ一通り御聽キニ入レナケレバナラヌ、又初メノ點ノ、即チ十條ノ改正修正案ハ、豫備金ヲ支出シタ場合ニ、何時議會ノ承諾ヲ受ケルカト云フコトデアリマス、誠ニ簡單ナコトデアリマス、憲法ニ於テハ豫算ノ款項ニ不足ガアツタ場合、並ニ豫算以外ニ於テ支出ヲ要スル場合ニハ豫備費ヲ拵ヘヨ

法ガ之ヲ與ヘテ居ルノデアル、憲法ハ別ニ豫備金ニ付テ第一豫備金トモ第二豫備金トモ言ツテハ居ナイモノヲ、必要ガアッテ支出スル場合、兩方共ノ爲ニ豫備金ヲ設ケロ、而シテ豫備金ヲ支出シタナラバ事後承諾ヲ議會ニ向ッテ求メヨト言ツテ居リマス、憲法ガ此ニツノモノヲ取扱フコトハ兩者ニ於テ何等異ナル所ハアリマセヌ、唯今八條君ハ第一豫備金ト第二豫備金ハ性質ガ大ニ違フト言ハレル、人シタ違ヒハナイノデアリマス、唯偶然豫算ノ上ニ項目ガアッテ、其不足ノ分ト、豫算ニ項目ガナイ其場合出スト云フ違ヒダケデアル、例ヘバ茲ニ傳染病豫防費ト云フモノガ十萬圓アル、非常ニ「ペスト」ガ流行ツテ來タカラ百萬圓ヲ要スルト云フノデ、百萬圓ヲ第一豫備金カラ出シタト云フノモ、豫算ニハ傳染病豫防費ト云フモノガナカッタ、然ニ突然「ペスト」ガ發生シテ來タカラ第二豫備金カラ百萬圓ヲ支出シタト云フノモ、何モ大シタ違ヒハナイノデアリマス、議會ガ協賛シナイモノヲ政府限リデ支出シタノデアル、ソレニ付テハ後カラ承諾ヲ求メロ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、第一豫備金ト第二豫備金トハ大變性質ガ違ツテ居ツテ、一二ハ悠ツクリ求メテ宜イケレドモ、一ツハサウデナイト云フ程區別ノアルモノデハナイノデアリマス、而シテ議會ノ協賛ヲ經タモノヲ出スノデアリマスカラ、而シテ憲法ハ成ベク早クサウ云フ場合ニハ議會ニ後カラ承諾ヲ受ケロ、斯ウ云ウテ居ル、此憲法ノ精神ヲ汲ンデ見マスレバ、議會ノ知ラヌ費用ヲ出シタ以上ハ成ベク早ク議會ニ出シテ、斯ウ云フ費用ヲ出シマシタガドウゾ承諾シテ下サイト云フヤウニセイト云フノガ、是ガ憲法ノ趣意デアリマス、是ハ其意味ニ於テ第一豫備金モ第二豫備金モ異ル所ハナイノデアリマス、改正ガナケレバ免ニ角今迄ノヤウニ豫備金ヲ出シ置イテカラ、二年モ經ツテカラ、初メテ承諾ヲ求メルト云フヤウナ實ニ憲法ノ精神ヲ失ツタヤウナヤリ方ヲシテ居ルナラバ、ソレハ別問題デアリマス、既ニ法律ヲ改正シテ、ソレデハイケヌカラ成ベク議會ノ承諾ヲ早ク求メヨト云フ精神カラナサレタ以上ハ、ソレナラバ第一豫備金ト第二豫備金ト區別ヲセラルル必要ハ一モナインデアリマス何レモ成ベク早ク求メラルルガ宜シイ、而シテ議會ノ承諾ハ斯ウ云フ費用ノ爲ニ斯ウ云フ金ヲ出シタト云フコトノ承諾ヲ求メルノデアル、出シ方、金ノ使ヒ方ガ法律ニ違反シテ居ナカッタカドウカト云フヤウナ其計算ヲ調ベルノハ、ソレハ決算ノ時ニ至ツテ調ベルノデアッテ、議會ノ承諾ヲ受ケルノハ其決算ノ承諾ヲ受ケ

ルノデハナイ、斯ウ云フモノヲ出サウト云フコトヲ決定シタト云フ事柄ニ付テ、議會ノ承諾ヲ受ケルト云フコトデアリマスカラ、是ニ至ッテハ第一豫備金ト第二豫備金ハ一向異ナルコトハナイノデアル、唯今八條サンノ議論ニ依リマスト云フト、計算書ヲ作ルノガ面倒ダナント言ハレルガ、計算書ヲ作ルノデハナイノデアル、計算書ヲ作ルノハ其決算ニ付テ議會ノ承認ヲ求メル時ニ計算書ヲ作レバ宜イ、豫備金事後承諾ニ計算書ハ何ソニモ要ラヌノデアル、事項事項デ事柄ヲ書イテ、幾ラ／＼出サウト云フコトヲ政府デ決メタ、唯ソレダケ書イテ、斯ウヤリマスカラ承諾ヲシテ吳レト云フノデアリマスカラ、第一豫備金デアラウガ第二豫備金デアラウガ、寔ニ簡單デアリマス、是ガ億劫ナモノノヤウニ考ヘテ、第一豫備金ハ非常ナ億劫ナモノダ、第二豫備金ハ左程デナイカラ、一ツハ早ク出スケレドモ、一ツハ遅ク出スト云フヤウナ御論旨デアッタヤウデアリマスケレドモ、決シテサウ云フモノデヤアリマセヌ、計算書ヲ作ルト云フコトハ必ズ今日實際實行シテ居ラレルヤウナモノデアリマスト、是ハ中々面倒デアリマス、容易ニ出來惡イト云フコトニナル、ソレハ既ニ第二豫備金ニ付テハ、此度ノ改正案デ改メテ居ラル、事項ニ付テ承諾ヲ求メル方針ガ掲ゲテ居ラル、其處マデ政府ガ氣ガ付イタナラバ、第一豫備金ニ付テモ、矢張同様ニナサレバ寔ニ簡單ニ出來ルコトデアル、私共ハ殊ニ政府ニ難キヲ求メル爲ニ之ヲ言フノデハアリマセヌ、何デモナク、一舉手一投足メル方針ガ掲ゲテ居ラル、其處マデ政府ガ氣ガ付イタナラバ、第一豫備金ニ精神デ憲法モ出來テ居レバ、此度ノ改正モ出來テ居ルノデアリマス、折角ソレダケノ議會ノ協賛權ヲ重ンズルト云フ精神デ憲法モ出來テ居レバ、第一豫備金、第二豫備金共ニ議會ノ協賛權ヲ重ンジテ、成ベク速ニ議會ノ承諾ヲ求メズ、ソレ位ニ今度ノ改正案ハ善キ改正案ダト思テ居ル、是ガ當然デアリマス、ソレ故ニ私ハ政府ノ會計法中改正案ニ付テ反對ドコロデナイ、前申シマスル通り高橋大藏大臣ニ、彰徳表ヲ上ツテ居ルノデアリマス、ソレ位ニ今度ノ改正案ハ善キ改正案ダト思テ居ル、其ノ改正案ガ今一步進メテ、私ガ申スヤウナ即チ委員會ノ修正案ノヤウニナサルレバ、一層會計法ガ良クナルカラ、サウナスッタラ宜カラウト云フノデアリマス、ソレカラ次ノ議會ト云フヤウナコトヲ言テアル、ソレヲ常會ト云フコトニナッテ居ルノハ、次ノ議會トナレバ、ソレデハ短イ議會ナドノ時ニ困ル、斯ウ云フコト

ヲ言ハレルノデアリマス、所ガ臨時議會ノ開ケマシタコトハ恰モ日清戰爭ノ時ノ廣島ノ臨時議會トカ、寔ニ畏入ッタコトデアリマスケレドモ、御大葬費ヲ議シタ時ノ臨時議會トカ、斯ウ云フヤウナ事柄ハ、何十年ニ一遍、何百年ニ一遍到來スルコトデアリマス、サウ云フ時ノ事ヲ考ヘテ議會ノ協賛權ヲ重ンズルト云フ精神ヲ輕ンズルト云フコトハ、私ハ何ト云フコトデアル、現ニ昨年七月茲デ臨時議會ガ開ケテ居ルノデアリマス、ソレ迄ニ豫備金ノ支出ガ大變アッタ、其時ノ豫備金ノ支出ハ出サルレバ出サレタ儘デ、寔ニ新シイ記憶ガアリ、又政府ノヤリ方ガ善イカ惡イカト云フコトヲ判斷スルノニ大變宜イ、活キタ仕事ガ出來ル、此時ニ於テ出サンデ置イテ、此常會、今日ノ議會ニ至テ出サレルト、餘程熱ガ冷メタ時ニ出テ來ル、私ハ之ヲ論ジマスノハ豫備金ノコトヲ言テ居リマスケレドモ、剩餘金支出ト云フコトガ同様ニナルノデアリマス、曾テ先達此議場ニ於テ、大藏大臣ニ向ッテ私ハ質問ヲ致シマシタ、剩餘金支出ニ付テハドウナサレルカト云フコトヲ申シタノデアリマス、剩餘金支出ト云フコトハ、是ハ憲法モ會計法モ認メテ居ナイモノデアリマス、認メテ居ナイモノダカラ、法規ノ上ニ斯ウスルト云フ規定ノシヤウガアリマセヌ、ソレナラバ是カラ後ニ政府ハ責任支出ト云フコトハ絕對ニシナイカト云フト、ソレハイケマイ、國家一日存在シテ居ル以上ハ豫算ニ於テ豫見シナイヤウナ大事件ガ起ツテ、一日モ措クコトガ出來ヌト云フコトダッタラ、政治家ガ責任ヲ帶ビテ剩餘金ノ支出ヲスルト云フコトハ從前モ例ガアッタノデアリマスカラ、今後モ必ズ此例ヲ追ハルルコトト思フ、其例ヲ追ハレタナラバ、成ベク早ク議會ノ承諾ヲ求メルト云フノガ當然デアル、豫備金デスラモ速ニ承諾ヲ求メルト云フノデアルカラ、憲法モ認メズ、會計法モ認メナイ責任支出ニ付テハ、成ベク速ニ承諾ヲ求メルノガ當然デアリマス、ソレガ昨年ノヤウナ七月ニ臨時議會ガ開イテ居ツテモ承諾ヲ求メズ、今日此議場ニ於テ問題ニナッテ居ル外米買入レニ付テハ、隨分委員會デ議論ガ起ツテ居ルト云フ話ヲ私ハ傳聞シテ居ルノデアリマス、是ハ大ニ議論ノアルベキコトデアリマス、外節ノ目的ハ達セラレナカッタト言ハナケレバナラヌ、而シテ今日ハ外米ガ澤山餘ツテ、米穀法案ノ委員會ナドデハ剩ツタ外米モ今日ハ食糧ニ堪ヘヌヤウニナッテ居ルト云フ話デアリマス、五十萬圓バカリ……斯ウ云フ狀態ヲ側ラヘ置イテ、サウシテ國庫ニ對シテ五六十萬圓ノ損ヲサシテ居ルト云フ事柄デアリマ

ス、サウ云フヤウナ責任支出ヲシテ居ルノガ、モウ七月ノ臨時議會ノ時ニアツタモノデアリマス、其時ニ承諾ヲ受ケラレ、バ、寔ニ活キテ居ル問題ヲ捉マヘテ、政府ニ向ツテ十分糾斯コトガ出來タ、ソレヲ其時ニ出サンデ今日出テ居ル、今日デサヘ委員會デハ非常ナ議論ガアツテ、是ハ承認スベキモノカ、承認スベカラザルモノカト云フ非常ナ意見ガアルト云フコトデアリマス、其ノ位ノ問題デアリマス、此處デ一ツ何處へ出スカト云フコトヲ決メルト云フト、ソレガ例ニナッテ剩餘金支出モヤハリ其通ニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ豫備金支出ニ付テモ、成ベク速ニ議會ニ出シテ事後承諾ヲ求メルノガ當然デアル、ソレガ爲ニハ會計法ニ規定スベキ第二豫備金、第一豫備金ニ付テモ、次ノ議會ト云フコトハ、其次ノ常會マデ待タナイヤウニスルノガ當然デアルト云フノガ委員會ノ修正案デアルノデアリマス、サウスルト云フト、臨時議會ノ短イ時ニ困ルトスウ仰シヤル、廣島ノ臨時議會ノ如キ一時間カ二時間デ終ツタ時ガアル、サウ云フ時ニ事後承諾ヲ求メルト云フノハ無理ダト云フコトデアリマス、此法律ハ事後ノ承諾ヲスベシト云フ法律デヤナインデアリマス、承諾ヲ求ムベシト云フノデアリマスカラ、政府ガ案ヲ出シサヘスレバ、ソレデ政府ノ側ハ宜イノデアリマス、議會モ案ガ出タラバ成ベク議ヲ盡シテ審議シテ、承諾スベシトカ、或ハ承諾ヲ與ヘスト云フコトヲ決定スルノガ宜シイノデアリマス、併シ時日ガナクテ審査ノ時間ガナケレバ、ソレハ審査未了ニナリマス、審査未了ニナレバ次ノ議會ニ同ジ案ヲ出シテ、ドウシテモ一遍承諾ヲ求メナケレバナラヌ、ダカラ短イ臨時議會ニハ唯出シサヘスレバ宜シイ、審議ガ出來ナカッタラ次ノ議會ニヤレバ宜イ、長イ臨時議會ナラバ其處デ大ニ審査ヲシテ、承諾ヲ與ヘルカ與ヘナイカト云フコトヲ決定スルバ宜シイ、何モ議會ガ短イカラト云ウテ、ソレモ其短イ議會、何モ百年ニ一遍カ五十年ニ一遍到來スルコトヲ想像シテ、議會ノ協賛權ヲ重ンズルト云フ此ノ委員會ノ修正案ニ反對ヲセラル、ト云フ事柄ハ、私ハドウ云フコトデアリマセウカ、貴族院衆議院、各豫算協賛權ヲ有ツテ居ルノデアリマス、其ノ協賛權ヲ十分行ツテ居ナイ者ガアツテ、政府限リヤツテ居ルヤウナコトヲ、是ニ事後承諾ヲ求メル、ソレハ憲法ガサウセヨト言ツテ命ジテ居ル憲法ノ精神ニ據ツテ、委員會ハ此度成ベク短イ期限ニ於テ議會ノ承諾ヲ求メルヤウニセヨト云フ修正案ヲ作ラレタト云フ事柄ハ、私ハ實ニ當ヲ得タ修正案デアル、高橋大藏大臣ノ努力ニ依テ成タ此立派ナル會計法改正案ハ更ニ錦上花ヲ添ヘ

ルモノデアルト私ハ思ツテ居ルノデアリマスガ、若シ原案ニ戻ルヤウナコトガアツタナラバ折角議會ノ協賛權ヲ重ンズル精神ニ依テ出來タモノガ潰レルコトニナリマスカラ、是ハ餘ホド能ク御熟慮ニナッテ御判断ニナリタイト思フノデアリマス、ソレカラ第二點、三十一條ノ改正、即チ政府ガ物品ヲ購入シタリ又事ヲサセタリスル場合ニ約束ノ仕方ノコトデアリマス、現行法ニ依リマスト政府デ斯様ナ契約ハ總テ公入札ニ依ランデ随意契約ヲ結ブガ宜イト思フ事居リマス、其原則ニ對シテ公入札ニ依ランデ随意契約ヲ結ブガ宜イト思フ事柄ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メヨ、勅令デ決メタコトダケハ随意契約デヤツテ宜イト云フノガ現行法デアリマス、固ヨリ會計法ノ中ニ随意契約デヤツテ宜イト云フ箇條ガ數箇舉ゲテアリマスケレドモ、ソレハ勅令ヲ以テ随意契約ガ出來ルヤウニナッテ居リマスカラ、法律ニ特ニ書ク必要ハアリマセヌカラ此三十一條ノ第一項ハ即チ現行法ノ通リデアルトスウ申上ゲテ宜イ、原則ハ競争入札ニ依ルベシ、併シ場合ニ依テハ勅令ヲ出シテ随意契約ニシテ宜イト云フノガ是ガ現行法ノ改正法デアリマス、又今回ノ改正案第一項デハサウナッテ居リマス、即チ第二項ニ至ツテ國務大臣ハ公入札デヤルコトヲ不利ト認メタナラバ隨意契約ニ依テ宜イトナッテ居ル原則ヲ定メテ其原則ノ不便ナ場合ハ勅令デ例外ヲ爲スコトガ出來ルト云フ所マデ便利ナ途ヲ開イテアル、ソレニマダ満足セズ第二項ニ不利ト認メタナラバ隨意契約デヤツテ宜イト云フ條項ヲ置キマスト、第一項ハマルデ崩シテ仕舞フノデアル、原則ハマルデ無クナッテ仕舞フ、國務大臣ハ苟モ公入札ヲ不利ト認メタラ何時デモ随意契約ニ依ルコトガ出來ル、不利ト認メルト書イテアルカラ是ハ非常ナ支障ガアツテ不利ト認メタケレバスウハセヌト仰シヤルガ、不利ト認メタラ何時デモ随意契約ニ依ルコトガ出來ル、隨意獎約ヲナサツタガト云フト何時デモ随意契約ハ不利ト認メタカラ斯ウヤツト何時デモ言ヒ逃レルノデアル、會計法ハ何ノ爲ニ作ルノデアルカ、モノガ亂雜ニナラヌ爲ニチヤント縊ガ出來ル爲ニ作ルモノデ、其必要ガナケレバ會計法ナドハ要リマセヌ、正直ナ者ガ金ヲ拂フニ受取ヲ取ランデ拂ッテモ支ナイト云フ條文ヲ設ケテ、是デ大變結構ナ改正ダト云フコトハ私共ハ何所カラ出ルカ分ラヌノデアル、固ヨリ今日ハ公入札ニ於テモ入札者ガ團結シテ價ヲ高クスルト云フコトハ唯今八條子爵ガ述ベラレタヤウナコトガアリマ

ス、又入札スル日ニナレバ直グ契約ガ出來ンデ一週間モ十日モ延ビルト云フコト、役所ハ不便ヲ感ズルコトガアリマス、不便ノナイヤウニスルナラ取締規則ガ無イ方ガ宜イケレドモ取締規則ガナカツタラドウナリマスカ、非常ニ亂雜ニナリ會計紊亂ニナル、又會計紊亂ヲ避ケムトスレバ幾ラカ不便ハ忍バナケレバナラヌ、ソレガ現行法デアルノデアリス、唯今外國ノ例ヲ引カレタノデアリマスガ、英吉利デモ佛蘭西デモ白耳義デモ、凡ソ進歩シタ國ノ會計法ハ何處ニ於テモ國務大臣ガ認メマシタナラバ隨意契約デヤッテ宜イナドト云フ契約ハアリマセヌノデアリマス、私ハ世界ノ何處ニモナイト言ヒタイ先進國ハ…併ナガラ政府ガ參考書トシテ見セテ吳レタノハ戰前ノ獨逸ニ於テハ斯様ナコトガアッタ云々テ見セテ居ル、併シ私ハ法文ノ全部ヲ讀ンデ居リマセヌカラ模様ハ能ク分リマセヌガ、今日提出セラレタヤウナ國務大臣ガ公入札ヲ不利ト認メタラ隨意契約デヤッテ宜イト云フヤウナ、ソンナ取締ノナイヤウナコトハ獨逸アタリノ法ニモナイト思ヒマス、會計ガ紊亂シテモドウナッテモ宜イト云ヘバ是ハ別問題デアル、會計法ハ取締ヲ付ケル爲ニ之ヲ設ケルモノデアルカラ、幾ラカノ不便ヲ忍バナケレバナラヌ、幾ラカ物ハ高クナル、幾ラカ期日モ遅レルカラ誠ニ不便ダトスウ仰シヤル、ソレハ此ノ隨意契約、自由ト云フコトニナレバ、ソレハ除カレマス、除カレマスガ隨意契約ト云フコトハ自由ト云フコトニシテ、情實ニ依テ契約ト云フモノガ行ハレルヤウニナル、物品ノ買入レ工事ノ請負モ情實ノ運動ガ行ハレマスト實際ニ於テ其間ニ不正ノコトハ縱シ無イト云フコトニ致シマシテモ情實ニ依テ是レガ行ハレ醜怪ナコトガ起ルノデアリマス、價ハ幾ラ安クテモ出來ルカモ知レマセヌ、公入札ハ隨意契約ヨリ幾ラカ價ガ宜イカモ知レマセヌ、幾ラカ政府ガ安イ物ヲ買フ方ガ宜イカ、會計ヲ素リ、會計ヲ素ル所ノ話デナク、官紀ガ紊亂スルト云フ所謂綱紀ガ弛ムト云フコトヲ認メル方ハマダ宜シイガ、綱紀ガ弛ムト云フコトハ國家ノ基礎ニ動搖ヲ與ヘルモノデアリマス、此ノ國家ノ基礎ニ動搖ヲ與ヘルコトガナイヤウニト云フ爲ニハ幾分カ物ガ高クナッタ所ガ幾分カ手數ガ掛ツタ所ガソレ位ナコトヲ顧慮シテ居ルコトハ到底出來ナイコトデアル、ソレモ公入札ハ是ハ常ニ物ガ高イ、公入札ノモノハ非常ニ不便ト云フケレドモ、是ハ百ノ中デ十トカ或ハ五ツトカハアラウガ公入札ノ方ガ公平

デ、公入札ノ方ガ總テ物ガ安イ、偶ニハ百ノ中ニ五ツヤ十ノ不便ナコトガアッテモ百分ノ九十ガ宜ケレバ寧ロ之ニ據ラナケレバナラヌ、況ヤ殊ニ勅令ヲ以テ除外例ヲ設ケルコトヲ既ニ許シテアルノデアリマス、ソコ迄行シテ居ル、其以上ニ國務大臣ニ自由ノ手腕ヲ與ヘル必要ガ何所ニアリマスカ、何所ノ國ニモ左様ナ亂雜ナ會計法ヲ拵ヘテ居ル所ハナイノデアリマス唯今八條君ハ若槻ナゾハ嘗テ斯ウ云フコトヲ考ヘタコトガアッタ、今日モ其意見ヲ有ツテ居ルカト云フコトヲ仰セニナッタ、ソレハ私ハ委員會デモサウ申シタ、ソレハ公入札ハ唯今モ申上ゲル通リ團結シテズット價ヲ高クスル弊ガアルノデアリマス、ソレデアリマスカラサウ云フコトハ何ト力除キタイ、ソレヲ除カムトスルニハ何カ方法ガアルナラバ一ツ講ジタイモノダガ、幾ラカ其ノ隨意契約ノヤウナモノヲ認メルコトニ依テ其弊ヲ除クコトガ出來ルナラサウアリタイト云フコトヲ考ヘタコトガアリマシタ、併ナガラ唯今八條サンカラ述ベラレマシタ通り今日ハ豫算會議ニ於テ我ミハ一ノ附帶希望ヲ述べテ居ルノデアリマス、今タノデアリマス、委員達ナゾト國家ノ深憂デアルト言ツマデ我ミハ慨嘆シガ現ニアルト云フコトヲ認メタノデアリマス、綱紀ノ紊亂シテ居ルコトヲ認メタノデアリマス、ソウ云フヤウナ所ヘ情實自由次第ト云フ規定ヲ持ツテ行クト云フコトハ私ハ是ハ矛盾ダト思フノデアリマス、今日ハサウ云フコトハ出來ヌノデアリマス、今タノデアリマス、サウ云フヤウナ所ヘ情實自由次第ト云フ規定ヲ設ケテ國務大臣ハ何デモ宜イ、自由ニナサイト云フ規定ヲ持ツテ行クト云フコトハ私ハ是ハ矛盾ダト思フノデアリマス、今日ハサウ云フコトハ出來ヌノデアリマス、今タノデアリマス、サウ云フヤウナ所ヘ情實自由次第ト云フ規定ヲ設ケテ國務大臣ハ之ニ基イテ命令ヲ作ルノデアリマス、又市町村ハ之ニ基イテ市町村條例ヲ作ルノデアル、國ノ會計法ガ變ハルト府縣モ市町村モ皆其會計ノ規定ガ變ラス、今度ハ市町村長ニ自由ニ隨意契約ヲシテ宜イト云フ規定ガ出來ルノデアルト云フ所謂綱紀ガ弛ムト云フコトヲ認メル方ハマダ宜シイガ、綱紀ガ弛ムト云フコトハ國家ノ基礎ニ動搖ヲ與ヘルモノデアリマス、此ノ國家ノ基礎ニ動搖ヲ與ヘルコトガナイヤウニト云フ爲ニハ幾分カ物ガ高クナッタ所ガ幾分カ手數ガ掛ツタ所ガソレ位ナコトヲ顧慮シテ居ルコトハ到底出來ナイコトセウ、私共ハ今日ノ時代ニ決シテ斯ウ云フヤウナ自由ナコトヲ爲スベキ時代デナク、會計ト云フモノハ物ノ縛リヲスル爲ノ會計法デアル、ソレデハ窮屈一偏デ何モヤリヤウガナイト云フナラバ、實際イケヌ時ニハ勅令ヲ出シテ隨意契約ヲスルコトガ出來ルト云フ途ガ布カレテ居ルノデアル、其上ニ今日ノ如ク綱紀ガ弛シダ、サウ云フ時ニ斯様ナ情實ノ行ハル、ヤウナ法規ヲ作ルト云

フコトハ、是ハ誠ニ私ハ之ヲ一度許シタラバ、ドンナ弊害ガ之ニ付テ起ルカ
心配ニ堪ヘナイ次第デアリマス、ソレ故ニ委員會ガ此折角立派ナル會計法ヲ
改正ノ上、議會ノ協賛權ヲ重ンズルガ爲ニ豫備金ノ事後承諾ハ成ベク早ク議
會ニ出サシメルト云フヤウナ修正ヲ加ヘ、會計ノ紊亂ヲ防グ、殊ニ今日ノ如
ク綱紀ノ弛シダ所へ持テ來テ斯様ナコトヲシテ弊害ヲ助長スルヤウナコト
ガアツテハナラヌト云フコトヲ考慮シテ、茲ニ契約ノ場合ノ取締ヲ相當嚴重
ニスルト云フ修正ヲ致シマシタ以上ハ、委員會ノ修正ハ私ハ極メテ妥當ナル、
今日ノ時勢ニ於テハ最モ適シタモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、私ハ
此意味ニ於テ委員會ノ修正ヲ以テ完璧デアルト考ヘテ居リマスル、故ニ諸君
ニ向テ此場合是非委員長報告通リニ御賛成アラムコトヲ切ニ祈ル次第デア
リマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ發言モ無イト認メマスカラ、討論ハ終局シタ
モノト認メマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒ
マス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌ
カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌ
カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、兩案第二讀會ノ決議通り
デ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、茲ニ諸君ニ御諮詢致シ
マスガ、大分時間モ經チマシタカラ、殘リノ法案ノ議事ハ他日ニ讓リタイト
考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、明後日ノ議事日程ハ決定
ヲ一括シテ問題ト致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセ
ヌ

又カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌ
カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、兩案全部ヲ問題ニ供シマ
ス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌ
カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、兩案第二讀會ノ決議通り
デ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、茲ニ諸君ニ御諮詢致シ
マスガ、大分時間モ經チマシタカラ、殘リノ法案ノ議事ハ他日ニ讓リタイト
考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、明後日ノ議事日程ハ決定
ヲ一括シテ問題ト致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセ
ヌ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、本日ハ是ニテ散會

午後六時五十五分散會

大正十年三月二十三日

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵八條隆正君 賛成

○議長（公爵德川家達君） 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長（公爵德川家達君） 日程第十八、水道條例中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

水道條例中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十年三月二十二日

右特別委員長

伯爵松浦厚

厚

貴族院議長公爵德川家達殿
〔伯爵松浦厚君演壇ニ登ル〕

○伯爵松浦厚君 水道條例中改正法律案ノ委員會ノ御報告ヲ申上ゲマス、此條例ハ極メテ簡單ナル條項ノ改正デゴザイマシテ、一回委員會ヲ開キマシテ、即坐ニ此案ヲ決シマシタノデアリマス、詰リ今マデノ條例ハ發布以來三十有二年ニナリマシテ、段々時勢ノ進運竝ニ水道敷設ノ進歩發達ヲ來タシマシタニ付マシテ、今日マデ此條例ノ施行後ニ付テ實績ヲ擧ゲルコトガ顯著デゴザイマス、併シ今日マデ之ヲ一切内務大臣ノ管轄範圍ニ限ッテゴザイマシタケレ

ドモ、是カラ先ハ臨時ニ地方長官ニ於テ致サセル、委任スルコトニナッタノガ、即チ此改正ノ精神デゴザイマス、此内ニ條例中ノ改正ノ箇條ハ、或ハ官廳トカ、或ハ北海道ノコトヲ區制ニ改メルトカ云フヤウナ文句ノ改正ガ重テアリマシテ、其内ニ一箇條、第十一條ノ改正ガ先ツ最モ重要ナル點ト考ヘマスル、ソレハ如何ト申シマスレバ、唯今ノ所デハ重ニ水道本支管ノ布設ヲ致スニ付マシテハ、總テ町村ノ所定シタル所ニ依リマシテ、家主ガ之ヲ實費ヲ拂ッテ居ルト云フコトニナッテ居リマスガ、是カラ先キハ場合ニ依テ町村ノ財政ノ狀態ノ都合ニ依テ町村デ之ヲ支拂フト云フヤウナ箇條モゴザイマス、其他總テ簡單ナル條項デゴザイマスカラ、別段會期切迫ノ際デアリマシテ、速記者モ居ラヌト云フコトデ速記ナシニ政府委員ノ説明ヲ聽キマシテ、即坐ニ是ハ滿場一致可決イタシマシタ次第デアリマス、付マシテハ、讀會ヲ省略シテ、ドウゾ此案ハ御通過ニナラムコトヲ御願イタシマス

〔讀會省略ニ賛成」ト呼フ者アリ〕

○子爵青木信光君 讀會省略ニ賛成イタシマス

○阪本彰之助君 賛成

○男爵佐竹義準君 賛成

○子爵前田利定君 賛成

○子爵伊集院兼知君 賛成

○子爵西大路吉光君 賛成

○子爵柳澤保惠君 賛成

○子爵吉田清風君 賛成

○子爵萬里小路通房君 賛成

○子爵敷篤麿君 賛成

○伯爵柳澤保惠君 賛成

○子爵八條隆正君 賛成

○子爵堤雄長君 賛成

○子爵池田政時君 賛成

○伯爵松平頼壽君 賛成

○子爵立花種忠君 賛成

○子爵京極高義君 賛成

○高橋琢也君 賛成